NTT docomo

GALAXY S II

SC-02C
取扱説明書

はじめに

SC-02Cをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

本端末のご使用にあたって

- SC-02Cは、W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。

- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され、不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上、ご利用ください。
- 本書は、ドコモUIMカードをご使用の場合で記載しています。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

本書についての最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

- 「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
  http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

eトリセツ（取扱説明書）を利用するには、ホーム画面で「アプリ」→「取扱説明書」をタップします。

操作手順の表記について

本書では、メニュー操作など連続する操作手順を省略して以下のように記載しています。

- タップとは、本端末のディスプレイを指で軽く触れて行う操作です（P.67）。

（例）ディスプレイのホーム画面から、（アプリアイコン）、（検索アイコン）を続けてタップする場合は、以下のように記載しています。

1 ホーム画面で「アプリ」→「検索」

- 本書の操作手順や画面は、主にお買い上げ時の状態に従って記載しています。本端末は、お客様が利用するサービスやインストールするアプリケーションによって、メニューの操作手順や画面の表示内容などが変わる場合があります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、複数の操作方法が可能な機能や設定は、主に操作手順がわかりやすい方法について説明しています。
- 本書では、「SC-02C」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

本体付属品および主なオプション品

■ 本体付属品

SC-02C
（リアカバー SC03、
保証書含む）

クイックスタートガイド

電池パック SC03

FOMA 充電microUSB
変換アダプタ SC01

■ 試供品

microSDカード（1GB）
（取扱説明書付き）

マイク付
ステレオヘッドセット
（取扱説明書付き）

PC接続用USBケーブル
（取扱説明書付き）

■ 主なオプション品

FOMA ACアダプタ 01／02（保証書・取扱説明書付き）

HDMI変換ケーブル SC01（取扱説明書付き）

ジャケット型電池パック SC01（保証書・取扱説明書付き）

卓上ホルダ SC01（取扱説明書付き）

その他オプション品について→P.425

目次

付録／索引

本端末のご利用にあたっての注意事項

- 本端末は、ｉモードのサイト（番組）への接続やｉアプリなどには対応しておりません。
- お客様の電話番号（自局電話番号）は以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「端末情報」→「ステータス」をタップします。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本端末では、マナーモード中でも、着信音や各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生など）は消音されません。
- 本端末は、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップにより機能が追加されたり、操作方法が変更になったりすることがあります。機能の追加や操作方法の変更などに関する最新情報は、ドコモのホームページでご確認ください。
- OSをバージョンアップすると、古いバージョンのOSで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。

- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスやFacebook、Twitter、mixiを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera UおよびビジネスmoperaインターネットHere以外のプロバイダはサポートしておりません。
- FOMAカード（青色）をお使いの場合、海外で本端末を利用することはできません。FOMAカード（青色）をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ご利用の料金プランにより、テザリング利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスへのご加入を強くおすすめします。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要となります。
- テザリングの初期設定では、外部機器と携帯電話間のセキュリティは設定されていません。必要に応じて、セキュリティを設定してください。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示します。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1.本端末、電池パック、アダプタ（充電用変換アダプタ含む）、ドコモUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

本端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電用変換アダプタ含む）は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**
- **電池パックを本端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

本端末をアダプタ（充電用変換アダプタ含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらゲームやワンセグ視聴などを長時間行うと、本端末や電池パック、アダプタ（充電用変換アダプタ含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2.本端末の取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末内のドコモUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。 医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で携帯電話が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ内部には耐衝撃性の樹脂、カメラのレンズの表面にはアクリル部品を使用し、ガラスが飛び散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠ 注意

アンテナ、ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては､必ず周囲の安全を確認し､本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、内部物質が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
内部物質が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上、ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ､湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について →P.33「材質一覧」

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

3. 電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠ 危険

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠ 警告

落下による変形や傷などの異常がしたり見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠ 注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり、充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

4.アダプタ（充電用変換アダプタ含む）の取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

アダプタ（充電用変換アダプタ含む）のコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタ（充電用変換アダプタ含む）には触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタ（充電用変換アダプタ含む）のコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

濡れた手でアダプタ（充電用変換アダプタ含む）のコード、コンセントに触れないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V･24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V
（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタ（充電用変換アダプタ含む）のコードを無理に引っ張らず、アダプタ（充電用変換アダプタ含む）を持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

5. ドコモUIMカードの取り扱いについて

⚠ 注意

指示

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠ 警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

7.材質一覧

<table>
<tr><th colspan="2">使用箇所</th><th>使用材質</th><th>表面処理</th></tr>
<tr><td colspan="2">ディスプレイパネル</td><td>強化ガラス</td><td>AFコーティング</td></tr>
<tr><td colspan="2">外装ケース（周囲）</td><td>表面：PC＋マグネシウム
裏面：PC＋ガラス繊維20%</td><td>ニッケル蒸着UVコーティング</td></tr>
<tr><td colspan="2">サイドボタン（音量ボタン、電源ボタン）</td><td>アルミニウム</td><td>黒アルマイト</td></tr>
<tr><td colspan="2">リアカバー</td><td>PC＋GF 10%</td><td>UVコーティング</td></tr>
<tr><td colspan="2">ホームボタン</td><td>アクリル樹脂</td><td>ニッケル蒸着</td></tr>
<tr><td colspan="2">カメラレンズパネル</td><td>アクリル樹脂</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">カメラレンズ周囲部分</td><td>アクリル樹脂</td><td>黒アルマイト</td></tr>
<tr><td colspan="2">受話口</td><td>PCABS</td><td>UVコーティング</td></tr>
<tr><td rowspan="3">電池パック</td><td>端子部分</td><td>銅合金</td><td>ニッケル下地メッキ／金メッキ</td></tr>
<tr><td>本体</td><td>PC樹脂</td><td>－</td></tr>
<tr><td>ラベル</td><td>PP</td><td>－</td></tr>
</table>

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ 水をかけないでください。

本端末、電池パック、アダプタ（充電用変換アダプタ含む）、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ **本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子やヘッドホン接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■ **電池パック、アダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

本端末についてのお願い

■ **ディスプレイの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
ディスプレイが破損する原因となります。

■ **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■ **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

■ **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **外部接続端子やヘッドホン接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

■ **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

■ **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■ **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

■ **電池パックは消耗品です。**
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～ 35℃）の場所で行ってください。**

■ **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**

■ **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**

■ **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタ（充電用変換アダプタ含む）についてのお願い

■ 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■ 次のような場所では、充電しないでください。

- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■ 充電中、アダプタ（充電用変換アダプタ含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■ DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■ 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■ 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

ドコモUIMカードについてのお願い

■ ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

■ 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■ IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■ お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

■ お客様ご自身で、ドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■ ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■ ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

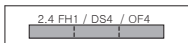
■ ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

■ ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■ 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
■ Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 周波数帯について
本端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

2.4 FH1 / DS4 / OF4

2.4：	2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH／DS／OF：	変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。
1：	想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
4：	想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
（帯域表示）：	2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetoothデバイス使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

■ 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

■ 無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 本端末の5GHz帯の使用チャンネルについて

本端末は、5GHzの周波数帯において、W52、W53、W56の3種類のチャンネルを使用できます。

・ W52、W53は、電波法により屋外での使用が禁じられています。

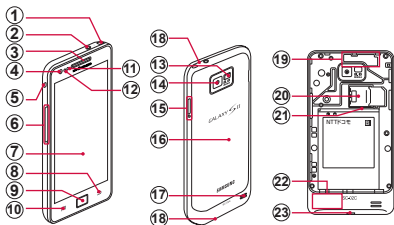
注意

■ **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク 」が本端末の銘版シールに表示されております。
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いします。

■ **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
運転中に携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

■ **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

ご使用前の確認

各部の名称と機能

① **ワンセグアンテナ**

② **ヘッドホン接続端子**
- マイク付ステレオヘッドセット（試供品）などを接続する直径3.5mmの接続端子です。

③ **受話口**
- 相手からの音声が聞こえます。

④ **内側カメラ**
- 自分撮りの撮影ができます（P.211）。

⑤ **ストラップ穴**
- ストラップを取り付ける場合は、リアカバーを外してストラップ取り付け穴に通してから、ストラップがこの穴を通るようにリアカバーを取り付けます。

⑥ **▯音量ボタン → P.172**

⑦ ディスプレイ（タッチスクリーン）→ P.67

⑧ バックボタン
- メニュー表示などをボタン操作の一段階前の状態に戻します。
- アプリケーションを終了します。

⑨ ホームボタン
- 操作中の画面をホーム画面に戻します。
- 1秒以上押すと、新しく起動した順に6件までの機能やアプリケーションの一覧とタスクマネージャ（P.105）の起動ボタンが表示され、タップすると起動できます。

⑩ メニューボタン
- 表示中の画面やアプリケーションの状態に応じたオプションメニューを表示します。
- ロングタッチすると、クイック検索が起動できます。

⑪ 照度センサー
- 周囲の明るさを検知します。ディスプレイの明るさの自動調整などに利用されます。

⑫ 近接センサー
- 通話中に顔などの接近を検知して、ディスプレイの表示を消します。

⑬ ライト
- 静止画や動画撮影時に点灯／点滅します。

⑭ 外側カメラ
- 静止画や動画を撮影します（P.307、P.308）。

⑮ 電源／終了ボタン
- 1秒以上押して、本端末の電源を入れます。
- 手動で画面ロックを設定できます（P.90）。
- 本端末の電源が入っているときに1秒以上押すと、端末オプション画面が表示され、電源を切ったり、マナーモードや機内モードを設定したりすることができます。

⑯ リアカバー

⑰ スピーカー
- 着信音が鳴ります。
- ハンズフリー通話時に相手からの音声が聞こえます。

⑱ 送話口
- 自分の音声を相手に送ります。
- 端末上部の送話口は、ハンズフリー通話中や動画撮影中にのみ機能します。

⑲ GPSアンテナ※

⑳ ドコモUIMカードスロット

㉑ microSDカードスロット

㉒ FOMAアンテナ※

㉓ 外部接続端子
- 付属のFOMA 充電microUSB変換アダプタ SC01などを接続します。

※ アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

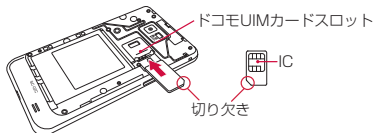
ドコモUIMカードを使う

ドコモUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。ドコモUIMカードが取り付けられていないと、本端末で電話の発着信やメールの送受信、データ通信などの通信が利用できません。

- ドコモUIMカードの詳しい取り扱いについては、ドコモUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

ドコモUIMカードの取り付けかた／取り外しかた

ドコモUIMカードを取り付ける

1 ドコモUIMカードのIC面を下にして、ドコモUIMカードを図の向きでドコモUIMカードスロットの奥まで差し込む

ドコモUIMカードを取り外す

1 ドコモUIMカードスロットからドコモUIMカードをゆっくり引き抜く

お知らせ

- ドコモUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。
- ドコモUIMカードを無理に取り付けたり取り外したりしようとすると、ドコモUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- 取り外したドコモUIMカードはなくさないようご注意ください。

ドコモUIMカードの暗証番号について

ドコモUIMカードには、PINコードという暗証番号が設定されています（P.232）。

microSDカードを使う

本端末は、microSDカード（microSDHCカードを含む）を取り付けて使用することができます。

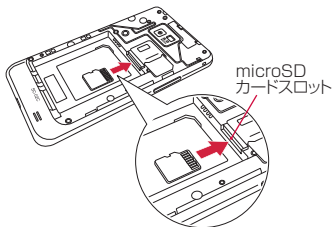
- 本端末は、2GBまでのmicroSDカードと32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2012年6月現在）。
  対応のmicroSDカードについては各microSDカードメーカへお問い合わせください。

microSDカードの取り付けかた／取り外しかた

- 取り付け／取り外しを行うときに、microSDカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

microSDカードを取り付ける

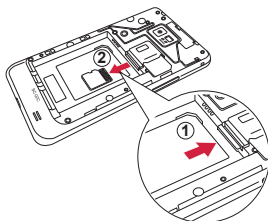
1 microSDカードの金属端子面を上にして、図の向きにスロットへmicroSDカードが固定されるまで奥に差し込む

正しい向きに差し込むと、まずmicroSDカードスロット内のガイドに軽く当たります。そのまま、「カチッ」と音がするまで、奥に差し込んでください。

microSDカードを取り外す

microSDカードを取り外すときは、あらかじめ「外部SDカードのマウント解除」（P.216）を行ってください。

1 本端末に取り付けられているmicroSDカードを軽く押し込む（①）

microSDカードが少し飛び出します。

2 microSDカードをまっすぐ引き出す（②）

お知らせ

- microSDカードを取り外すとき、microSDカードが本端末から飛び出す場合がありますのでご注意ください。

microSDカードを初期化する

microSDカードを初期化すると、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「ストレージ」

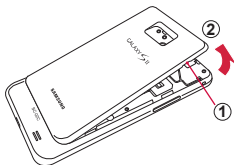
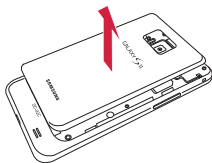
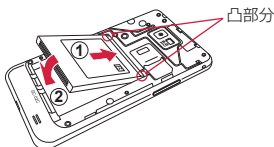
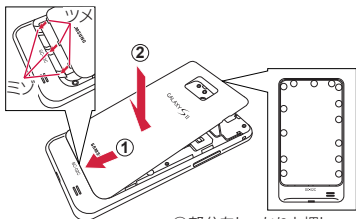
2 「外部SDカードを初期化」→「外部SDカードを初期化」→「全て削除」

電池パック

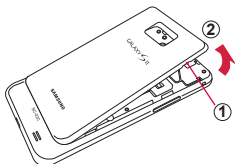
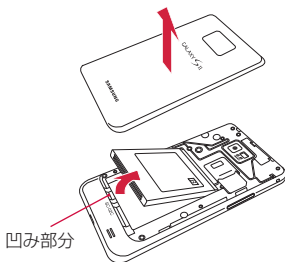
- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- リアカバーの取り付け／取り外しは、本端末のディスプレイなどが傷つかないよう、手に持って行ってください。また、指や手で電源ボタンを押さないようにご注意ください。
- 本端末専用の電池パックSC03をご利用ください。

電池パックを取り付ける

1 **リアカバーの①の部分に爪を入れて、②の方向へ持ち上げる**

- 爪を傷つけないようにご注意ください。

2 リアカバーを上に持ち上げて取り外す

3 電池パックの B マークを上にして、本端末の凸部分を電池パックの凹みに確実に合わせ、①の方向へ押し付けながら、②の方向へ押し込む

4 リアカバーのツメを本端末のミゾに差し込み、①の方向に取り付け、②の方向にしっかりと押し、取り付ける

電池パックを取り外す

1 リアカバーの①の部分に爪を入れて、②の方向へ持ち上げる

- 爪を傷つけないようにご注意ください。

2 リアカバーを取り外し、本端末の凹み部分を利用して電池パックに指をかけて、矢印の方向へ持ち上げて取り外す

充電する

本端末専用の電池パック SC03を使用してください。

■ 電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

■ 充電について

- 詳しくはFOMA ACアダプタ 01 ／ 02（別売）、FOMA海外兼用ACアダプタ01（別売）、FOMA DCアダプタ 01 ／ 02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ 02およびFOMA海外兼用ACアダプタ 01はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

- 充電中でも本端末の電源を入れておけば、電話を受けることができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電の時間が長くなります。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。
- 充電中に電池パックを外さないでください。

■ **電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。**

- 充電中に本端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わったあと本端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れの警告が表示されてしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、本端末を一度ACアダプタ、DCアダプタから外して再度セットし直してください。

■ **電池パックの使用時間の目安**

- 電池パックの使用時間は、充電時間や電池パックの劣化度で異なります。

連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約640時間 移動時（自動）：約430時間 移動時（3G固定）：約510時間
	GSM	静止時（自動）：約480時間
連続通話時間	FOMA／3G	約430分
	GSM	約450分

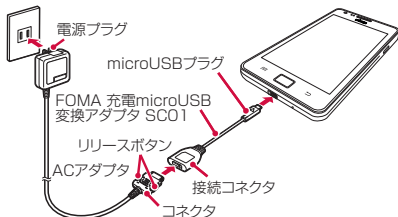
- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受時間が約半分程度になる場合があります。インターネットなどで通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話や通信をしなくても、メールの作成、ダウンロードしたアプリケーションの起動、データ通信、カメラの使用、動画の再生、音楽再生・Bluetooth接続を使用すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 滞在国のネットワーク状況によっては、連続通話時間、連続待受時間が短くなることがあります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

■ 電池パックの充電時間の目安

FOMA ACアダプタ 01／02（別売）	約220分
FOMA DCアダプタ 01／02（別売）	約220分

- 充電時間の目安は、本端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。本端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

ACアダプタを使って充電する

FOMA ACアダプタ 01 ／ 02（別売）と付属のFOMA 充電microUSB変換アダプタ SC01を使って充電する方法を説明します。

1 ACアダプタのコネクタの刻印面を上にして、FOMA充電microUSB変換アダプタSC01の接続コネクタ（「SAMSUNG」の刻印面が上）へ水平に差し込む

2 本端末の外部接続端子に、FOMA 充電microUSB変換アダプタ SC01のmicroUSBプラグの「△」の刻印面を上にして差し込む

3 ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む

- 充電が完了すると、ステータスバーに 100% が表示されます。

4 充電が完了したら、microUSBプラグを本端末から引き抜く

5 FOMA 充電microUSB変換アダプタSC01の接続コネクタから、ACアダプタのコネクタを両側のリリースボタンを押しながら抜く

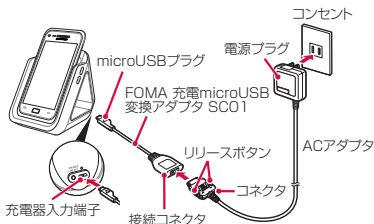
6 ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

■ PC接続用USBケーブル（試供品）を使って充電する

本端末をPC接続用USBケーブルを使ってパソコンと接続すると、本端末をパソコンで充電することができます。

- パソコンとの接続のしかたは、P.334をご覧ください。
- パソコンとUSB接続を行うと、パソコン上に「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面または「同期セットアップウィザード」画面が表示される場合があります。パソコンと同期せずに充電のみ行いたい場合は、「キャンセル」を選択してください。
- 本端末の状態により、充電に時間がかかる場合や、充電できない場合があります。

卓上ホルダを利用して充電する

卓上ホルダ SC01（別売）と、FOMA ACアダプタ 01 ／ 02（別売）、付属のFOMA 充電microUSB変換アダプタ SC01を使って充電する方法を説明します。

1 ACアダプタに連結したFOMA 充電microUSB 変換アダプタ SC01のmicroUSBプラグを充電器入力端子に差し込む

- PC接続用USBケーブルを使用して、PCと接続して充電することもできます。

2 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

3 本端末を卓上ホルダ SC01に差し込む

4 充電が完了したら、指で卓上ホルダを押さえながら本端末の頭部をつかんで持ち上げ、取り外す

電池が切れそうになると

通知音が鳴り、充電を促すメッセージが表示され、ディスプレイが暗くなります。電池残量が無くなると自動的に本端末の電源が切れます。充電を促すメッセージとともに表示される「バッテリー使用量」をタップすると、現在電力を消費している機能が一覧表示されます。機能やアプリケーションによっては、起動しようとすると電池残量が少ない旨のメッセージが表示され、起動できなくなります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **を 1 秒以上押す**

起動画面が表示され、続いて画面ロック（P.90）が設定された状態のホーム画面が表示されます。

初めて電源を入れた場合

画面の指示に従って初期設定を行います（P.72）。

2 **画面ロックが解除されるまで、画面を上下左右のいずれかの方向にスワイプする**

■ **電波状態を確認する**

ステータスバーに電波の受信状態を示すアイコンが表示されます（P.74）。

が表示されたときは、FOMA サービスエリア外や電波の届かない場所にいます。

電源を切る

1 **を 1 秒以上押す**

端末オプション画面が表示されます。

2 **「電源 OFF」→「OK」**

終了画面が表示され、電源が切れます。

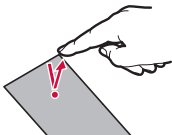
タッチスクリーンの使いかた

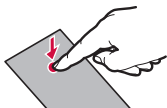
タッチスクリーン利用上のご注意

- タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールを貼っての操作

本端末のタッチスクリーン（ディスプレイ）は、指で触れて操作します。本書内では主な操作方法を次のように表記しています。

■ タップする／ダブルタップする

表示項目やアイコンなどを指で軽く触れて選択／実行します（タップ）。
また、表示されている画像やホームページなどをすばやく2回続けてタップして、表示内容を拡大／縮小します（ダブルタップ）。

■ ロングタッチする

表示内容や表示項目などを指で1秒以上触れ続けて、メニューなどを表示します。

■ ドラッグする

表示項目やアイコンなどを指で押さえながら、移動します。

■ スワイプする

表示画面を指で軽くなぞる動作です。

■ スクロールする

表示内容を指で押さえながら上下左右に動かしたり、表示を切り替えたりします。

■ フリックする

表示内容を指で押さえながら、すばやく上下左右に動かして離し、表示内容をスクロールします。

■ 2本の指の間隔を広げる／狭める

表示されている画像やホームページなどを2本の指で押さえながら、指の間隔を広げたり、狭めたりして表示内容の拡大／縮小ができます。

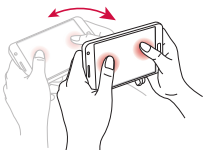
モーションの使いかた

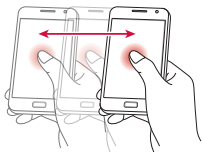
簡単なモーション機能を利用して、ギャラリーとブラウザで画面の拡大／縮小、着信音または再生音のミュートなど多様な機能を実行できます。

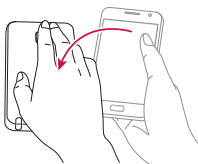
モーションの主な機能

モーションを利用する前に、ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「モーション」→「モーション起動」にチェックを付けて、モーション機能を有効にする必要があります。

■ チルトでズーム

画面の2箇所をロングタッチした状態で、本端末を前後に傾けると、表示内容を拡大／縮小します。

■ パンニングで編集

画面やアイコンなどをロングタッチした状態で、本端末を左右に振ると、他のページに移動できます。

■ ターンオーバーでミュート

本端末を伏せると着信音または再生音をミュートにします（ディスプレイがOFFの場合は除く）。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めて本端末の電源を入れた場合は、画面の指示に従って以下の手順で使用する言語やインターネット接続の方法、およびGPSの位置情報の設定を行います。

1 「開始」をタップして、設定を開始する

表示されている言語をタップすると、使用する言語を選択できます。

2 Googleアカウントの設定を行う

- 「ログイン」をタップすると、既存のGoogleアカウントでサインインすることができます。
- 「アカウントを作成」をタップすると、新規にGoogleアカウントの設定を行うことができます。
- 「今は設定しない」をタップすると、後でアカウントをセットアップすることができます。

■ インターネットに接続されていない場合

Wi-Fiネットワーク設定画面が表示されたら、「Wi-Fiを有効にしてネットワークに接続する」の操作3（P.287）を行い、「次へ」をタップします。

3 クレジットカード情報の登録を行う

- 関連情報を入力して「保存」をタップすると、次へ進むことができます。
- 「スキップ」をタップすると、後でクレジットカード情報の登録を行うことができます。

4 Googleアカウントを使用して、バックアップや復元を行うかを設定 →「次へ」

5 Google位置情報の利用を許可するかどうかを設定 →「次へ」

6 本端末の所有者名を設定 →「次へ」

7 「完了」

ステータスバーに表示される主なアイコン

ディスプレイ上部のステータスバーには、本端末の状態や通知情報などを示すアイコンが表示されます。

主な通知アイコン

通知アイコン	
	着信中
	不在着信あり
	新着Gmailあり
	新着Eメールあり
	新着SMSあり
	SMSの送達通知あり
	SMSの配信に問題あり
	新着インスタントメッセージあり

通知アイコン	
	データダウンロード中／完了
	データアップロード中／完了
	留守番電話サービスの伝言メッセージあり
	アラームあり
	カレンダーなどのアラームあり
／	バックグラウンドで音楽再生中／一時停止中
	microSDカードのスキャン中
	microSDカードのマウント解除中
	USB接続中
	エラーメッセージあり
	Samsung Appsからインストール済みアプリケーションのアップデートあり
	ソフトウェア更新中
	ソフトウェア更新延期中
	アプリケーションのインストール完了
	非表示の通知情報あり（数字は件数）

通知アイコン	
	GPS機能現在地測位中（アニメーション表示）／測位完了（アニメーション表示停止）
	USBテザリング機能ON
	Wi-Fiテザリング機能ON ／ Wi-Fi Direct接続中
	USBテザリング機能とWi-Fiテザリング機能を同時にON
	VPN接続中

主なステータスアイコン

ステータスアイコン	
⇔ （弱⇔強）	電波状態
⇔ （弱⇔強）	電波状態（国際ローミング中）
	圏外
	3Gネットワーク接続中（矢印色：グレー）
	3Gネットワーク通信中（矢印色　左：橙、右：緑）
	FOMAハイスピード／HSDPAネットワーク接続中（矢印色：グレー）
	FOMAハイスピード／HSDPAネットワーク通信中（矢印色　左：橙、右：緑）
	GPRSネットワーク接続中（矢印色：グレー）
	GPRSネットワーク通信中（矢印色　左：橙、右：緑）
	Wi-Fi接続中（矢印色：グレー）
	Wi-Fi使用中（矢印色　左：橙、右：緑）

ステータスアイコン	
	Bluetooth機能ON
	Bluetoothデバイスと接続中
	データ同期中
	機内モード設定中
	マナーモード設定中（バイブレーションあり）
	ドコモUIMカード未挿入状態
⇔ （低⇔高）	電池レベル
	充電中
	アラーム設定中

通知パネルについて

ステータスバーを下方向にスクロールすると設定／通知パネルが表示され、アイコンをタップして機能を設定したり、通知情報などを確認したりすることができます。

設定／通知パネルの表示内容（表示例）

① Wi-Fi機能のON ／ OFFを切り替えます（P.287）。

② Bluetooth機能のON ／ OFFを切り替えます（P.330）。

③ GPS機能のON ／ OFFを切り替えます（P.380）。

④ マナーモード／サウンド設定を切り替えます（P.174）。

⑤ 画面の自動回転のON ／ OFFを設定します（P.81）。

⑥ 接続中のネットワークの通信事業者名が表示されます。

⑦ 不在着信やSMSの受信などの通知情報が表示されます。

⑧ 上方向にスクロールすると設定／通知パネルを閉じます。

⑨ 表示されているときは、タップすると通知情報とステータスバーの通知アイコンの表示を消去できます。

- 通知情報の種類によっては、消去できない場合もあります。

お知らせ

- ①～⑤のアイコンは、ONに設定されている場合は緑色で表示されます。

ディスプレイの表示方向を自動的に切り替える

本端末は、本体の縦／横の向きや傾きを感知して自動的にディスプレイの表示方向の切り替えなどを行うモーションセンサーに対応しています。

お知らせ

- ホーム画面や一部の機能など、表示方向が自動的に切り替わらない機能やアプリケーションもあります。
- 表示方向が自動的に切り替わらないように設定できます（P.211）。

画面の表示内容を画像として保存する

▭ と ▯、または ▯（音量小）と ▯ を同時に1秒以上押すと、現在表示されている画面を画像として保存（スクリーンキャプチャ）できます。動作が完了するとステータスバーにキャプチャの完了をお知らせするメッセージが表示されます。

- 一部のアプリケーションではスクリーンキャプチャが動作しない場合があります。

お知らせ

- キャプチャした画像は、本体に保存されます。ホーム画面で「アプリ」→「ギャラリー」→「Screenshots」フォルダで確認できます。

ホーム画面について

本端末の電源を入れて起動が完了すると、ホーム画面が表示されます。

ホーム画面の表示内容（表示例）

① **ウィジェット**（例：AccuWeather.com）
タップして、ウィジェット（ホーム画面に配置するアプリケーション）の起動や操作を行います。

② **ショートカット**
タップして、アプリケーション画面（P.92）の機能や本端末の設定項目などを起動します。

③ ホーム画面の位置が表示されます。ホーム画面を左右にスクロール／フリックして切り替えられます。

④ ホーム画面を切り替えても常に表示されます。「アプリ」以外のアイコンは、アプリケーション画面（P.92）のアイコンと交換できます。

お知らせ

- ウィジェットやショートカットは、任意のホーム画面に追加できます。
- 本書では、ホーム画面にショートカットがあらかじめ追加されているアプリケーションの起動を、ショートカットをタップする操作手順で記載しています。

ホーム画面のメニュー

[メニューキー] をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
追加※1※2	• 「ウィジェット」「ショートカット」：ウィジェット／ショートカットをホーム画面に追加します。 • 「フォルダ」※3：ショートカットをまとめて格納するフォルダや、電話帳のフォルダなどをホーム画面に追加します。 • 「壁紙」：ホーム画面の壁紙を変更します。
壁紙	ホーム画面の壁紙を「ギャラリー」「ライブ壁紙」「壁紙ギャラリー」「壁紙ギャラリー」から選択して変更します。
検索	クイック検索ボックスを起動します（P.87）。
通知	通知パネルを表示します（P.79）。

項目	説明
編集	ホーム画面のサムネイルを表示し、ホーム画面を追加／削除したり、位置を入れ替えたりします。 • ホーム画面で2本の指の間隔を狭めても、ホーム画面のサムネイルを表示できます。 • ホーム画面のサムネイルをロングタッチ → 別の位置までドラッグして離すと、位置を入れ替えられます。「ホームから削除」までドラッグして離すと、ホーム画面を削除できます。 • ＋ をタップすると、最大7枚までホーム画面を追加できます。
設定	設定メニューを表示します（P.204）。

※1　ショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチして追加することもできます。
※2　ホーム画面に追加するスペースがない場合は選択できません。
※3　フォルダ名を変更するには、ホーム画面でフォルダをタップ → フォルダ上部のフォルダ名をロングタッチ → フォルダ名を入力 →「ＯＫ」をタップします。

ホーム画面からショートカットやウィジェットを削除／移動する

例：削除する場合

1 **ホーム画面上の削除したいウィジェットやショートカットをロングタッチする**

画面下部に「ホームから削除」が表示されます。

2 **そのまま「ホームから削除」までドラッグして離す**

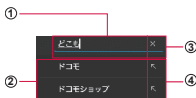
お知らせ

- ホーム画面で [メニュー] →「追加」→「フォルダ」→「新規フォルダ」をタップして作成したフォルダまでショートカットをドラッグすると、フォルダ内にショートカットを移動できます。

クイック検索ボックスを使用する

入力した文字が含まれる情報を本端末内やインターネットから検索できます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「検索」

[menu] をロングタッチしても起動できます。

① 入力した文字が表示されます。

② 入力中の文字を含む本端末内の情報や検索候補が表示されます。

③ 文字入力後に [×] をタップすると、入力した文字が全部消去されます。
文字が入力されていない場合は [マイク] が表示され、タップすると音声で検索したい語句を入力できます（ウェブ検索のみ）。

④ 選択した文字で再度検索候補を表示します。

検索のメニュー

→「設定」をタップすると以下の項目が表示されます。

項目		説明
検索対象		検索対象を設定します。
Google検索	Googleアカウント	Googleアカウントが設定されていない場合に表示されます。
	ウェブ履歴を使用	ウェブ履歴からの候補を表示するかどうかを設定します。
	ウェブ履歴の管理	ブラウザでGoogleアカウントとしてログインし、ウェブ履歴を開いて、一時停止、全削除、または個々のアイテムを削除できます。 ※「ウェブ履歴を使用」にチェックを付けた場合に表示されます。
	端末上の検索履歴を消去する	コンテンツやアプリについて最近選択した検索候補の履歴を消去します。なお、ブラウザの履歴はブラウザの設定で行います。
	現在地情報を使用	現在地情報をGoogleの検索結果やサービスで利用するかどうかを設定します。

項目		説明
Google検索	google.comで検索	www.google.co.jpではなく、www.google.comを使用するかどうかを設定します。
	利用規約	利用規約を確認します。
	オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを確認します。

お知らせ

- 音声検索の画面で ▭ →「設定」をタップすると、音声検索の設定ができます。
- 音声入力には、モバイルネットワークでの接続が必要です。Wi-Fi接続ではご利用になれない場合があります。

画面ロックを設定／解除する

画面ロックを設定し、タッチスクリーンやボタンの誤動作を防止できます。

- 「画面のタイムアウト」(P.213) の設定により画面の表示が消えると、約５秒後に自動的に画面ロックが設定されます。

手動で画面ロックを設定する

1 **を押す**
画面の表示が消え、画面ロックが設定されます。

画面ロックを解除する

1 **画面ロック中に ／ を押す**
ロック解除画面が表示されます。

2 **画面ロックが解除されるまで、円の外側までスワイプする**

お知らせ

- 画面ロック中に不在着信やSMS受信の通知情報があると、ロック解除画面に通知情報が表示されます。アイコンをフリックすると、通知情報の詳細を確認できます。
- 画面ロックの解除にフェイスアンロック／パターン／PIN／パスワードの入力が必要になるように設定できます（P.235）。
- フェイスアンロック／パターン／PIN／パスワードを設定している場合、ロック解除画面には「緊急通報」が表示され、タップすると緊急通報ができます。ただし、圏外、ネットワーク規制中、または日本国内でドコモUIMカードを取り付けていない場合は、緊急通報ができません。

アプリケーション画面について

本端末の機能やアプリケーションは、アプリケーション画面にアイコンで表示され、タップして起動したり、設定を確認したりすることができます。アプリケーション画面は複数のページで構成され、左右にスクロール／フリックして表示を切り替えることができます。

アプリケーション画面を表示する

1 **ホーム画面で「アプリ」**

アプリケーション画面が表示されます。

お知らせ

- アプリケーション画面で2本の指の間隔を狭めてサムネイルを表示し、アプリケーション画面のサムネイルをロングタッチ → 別の位置までドラッグして離すと、位置を入れ替えられます。

アプリケーション画面のメニュー

[メニューキー] をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
編集	• アプリケーション画面のアイコンをドラッグして、表示位置を変更できます。また、画面左右の外側にアイコンをドラッグすると、左右のページにアイコンを移動できます。 • アプリケーション画面下部の「フォルダを追加」、「ページを追加」にアイコンをドラッグして、フォルダを作ったり、ページを追加したりすることができます。 • アプリケーション画面下部の「ホーム」以外のアイコンをドラッグして、アプリケーション画面のアイコンとの交換や表示位置の変更などができます。
リスト表示／グリッド表示	アプリケーション画面の表示方法を切り替えます。
アプリ情報を共有	アプリ情報をBluetooth ／ Eメール／ Gmail ／ SMSなどで送信します。

アプリケーション一覧

アイコン	アプリケーション	説明
	電話※	通話アプリケーションです。
	spモードメール※	ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています（P.259）。
	ブラウザ※	ウェブブラウザアプリケーションです。
	時計	アラーム、世界時計、ストップウォッチ、タイマー、卓上時計を利用できます。
	カレンダー	スケジュールを管理できます。
	音楽	音楽を再生できます。
	電話帳	電話帳の登録・管理ができます。
	カメラ※	静止画や動画を撮影できます。
	マップ	Googleマップで現在地の確認や目的地の検索などができます。

※ お買い上げ時は、ホーム画面にも配置されています。

アイコン	アプリケーション	説明
	Eメール	Eメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。
	Gmail	GmailでEメールの送受信ができます。
	ギャラリー	静止画や動画を閲覧・整理できます。
	検索	クイック検索ボックスで各種情報を検索できます。
	Playストア※	Google Playからアプリケーションをダウンロードできます。
	ワンセグ※	ワンセグの視聴ができます。
	Social Hub※	SMSやSNS（Social Network Service）を統合するメッセージングアプリケーションを利用して、SMSの送信やSNSの情報更新ができます。
	Game Hub※	ゲームのダウンロード、プレイができます。
	マイファイル	静止画や動画、音楽などのデータを表示・管理できます。

※ お買い上げ時は、ホーム画面にも配置されています。

アイコン	アプリケーション	説明
	設定	本端末の各種設定ができます。
	動画	動画を再生できます。
	AllShare	DLNA（Digital Living Network Alliance）対応機器とファイルを共有できます。
	Kies air	PC-to-phone接続やブラウザベースの管理ができます。
	トーク	Googleトークでチャットができます。
	Latitude	地図上で友人と位置を確認しあったり、メールを送ったりできます。
	プレイス	現在地周辺の店などの情報を検索できます。
	ナビ	Googleマップナビで目的地までのルートを確認できます。
	ボイスレコーダー	音声を録音できます。
	メモ	メモを作成できます。

アイコン	アプリケーション	説明
	タスク	タスクを登録・確認できます。
	ダウンロード	ダウンロードしたファイルやアプリケーションが表示されます。
	フォトエディター	静止画が編集できます。
	ビデオメーカー	ビデオを編集できます。
	ミニダイアリー	写真付きの日記を作成できます。
	電卓	計算ができます。
	Samsung Apps※	役に立つアプリケーションのダウンロードや、インストールしたアプリケーションのアップデートができます。
	ニュースと天気	位置情報に対するニュースと天気の情報が見られます。
	タスクマネジャー	起動中のアプリケーションの確認・終了などができます。
	Polaris Office	Office文書の表示・編集・新規作成ができます。
	YouTube	動画の再生・投稿ができます。

※ お買い上げ時は、ホーム画面にも配置されています。

アイコン	アプリケーション	説明
	SMS	SMSの送受信ができます。
	インスタントメッセンジャー	Windows Live MessengerやGoogleトークのアカウントで利用できるMessengerです。
	Google+	GoogleのSNSが利用できます。
	メッセンジャー	Google+のMessengerです。テキストメッセージや写真を送信できます。
	Play ムービー	動画を再生できます。
	ビデオマーケット	映画・ドラマ・アニメなどの動画を楽しめるアプリです。
	Backup	本端末に保存されているデータをバックアップ、復元できます。
	辞典	辞書を利用して単語を調べることができます。
	マガストア	雑誌を購入して閲覧できます。

アイコン	アプリケーション	説明
	BookLive! for GALAXY ※	書籍やコミックの購入と閲覧ができます。
	電子書籍	端末上で本を読むことができます。 トライアル期間は無料で利用可能です。
	オリコンミュージックストア	ニュースやオリコン ランキングを閲覧できます。
	dメニュー※	iモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探せる「dメニュー」へのショートカットアプリです。
	電話帳コピーツール	microSDなどの外部記録媒体を利用して電話帳データの移行やコピーができるアプリです。(P.189)。

※ お買い上げ時は、ホーム画面にも配置されています。

アイコン	アプリケーション	説明
	電話帳バックアップ	電話帳データを電話帳バックアップセンターに自動で定期的にバックアップすることができます。本端末の紛失時や誤って削除した際にデータを復旧できます。
	iチャネル	iチャネルを利用するためのアプリです。
	地図アプリ	地図・お店や施設検索・ナビ・乗換・訪れた街などの機能でおでかけをサポートします。
	声の宅配便	「声の宅配便」をスマートフォンでも簡単・便利に利用するためのアプリです。声のメッセージを簡単な操作で録音・再生することができます。
	災害用キット	災害用伝言板にメッセージの登録や確認などができるアプリです。
	エリアメール	緊急速報「エリアメール」の受信と、受信したエリアメールの確認ができるアプリです。

アイコン	アプリケーション	説明
	ドコモ海外利用	海外でのパケット通信利用をサポートするアプリです。データローミング設定や海外パケ・ホーダイを利用する際の対象事業者設定を簡単に行うことができます。
	ecoモード	ディスプレイの明るさなど各種設定を調整することにより、電池の抑制を抑える「ecoモード」を設定するアプリです。
	メロディコール	メロディコールを利用するためのアプリです。
	トルカ	店舗情報やクーポン券などのトルカを表示、検索、更新ができます（P.403）。
	BeeTV	BeeTVは携帯電話専用放送局です。オリジナルのドラマ、音楽、バラエティなどの番組を視聴できます。
	Twonky Special	端末と家電をつなげるアプリです。端末内やインターネット上の動画・写真・音楽をテレビやオーディオにワイヤレス再生することができます。

アイコン	アプリケーション	説明
	Evernote	Webサイトの内容や撮影した画像、アイデアのメモなど、様々な情報をサーバーに保存し、必要なときに検索・閲覧できます。情報の保存や閲覧は本端末だけでなく、パソコンやその他デバイスからも行えます。
	Gガイド番組表	地上波テレビやBSデジタル放送の番組表が閲覧できるアプリです。 キーワードやジャンルによる番組検索や、ワンセグへの視聴・録画予約も可能です。
	総合書店honto	本格的な文芸書、人気のコミック、話題のビジネス書など、数多くのジャンルの電子書籍を購入、閲覧できる電子書籍ストアです。
	書籍・コミックE★エブリスタ	プロ作家・有名人のオリジナル作品から一般ユーザの人気投稿作品まで、話題の電子書籍や電子コミックなどが閲覧できます。
	マクドナルド	マクドナルドのクーポンや店舗検索が利用できます。
	楽天オークション	楽天オークションへの出品および入札ができるアプリです。

アイコン	アプリケーション	説明
	ホーム切替	ホームアプリを切り替えるためのアプリです。
	取扱説明書	本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます（P.2）。

お知らせ

- アプリケーション画面下部の をタップするか、 ／ をタップすると、ホーム画面に戻ります。
- EメールやSMSを受信すると、「Eメール」や「SMS」のアイコンの右上に受信したメールの件数が表示されます。
- アプリケーション画面のアイコンをロングタッチすると、ホーム画面にショートカットを作成できます。

最近使用したアプリケーションを確認する

1 ▭ を 1 秒以上押す

- 最近使用したアプリケーションの一覧画面が表示されます。
- プレビューをタップすると、アプリケーションを起動できます。
- 「タスクマネージャー」をタップすると、タスクマネージャー（P.105）を起動できます。
- 左右にドラッグすると、一覧から削除できます。

起動中のアプリケーションを確認／終了する

1 ホーム画面で「アプリ」→「タスクマネジャー」

タスクマネジャー画面

① **タブ**
「起動中のアプリ」タブ：起動中のアプリケーションの一覧が表示されます。
「ダウンロード済み」タブ：インストールしたアプリケーションの一覧とメモリ使用状況を確認します。「削除」をタップすると、アプリケーションをアンインストールします。
「RAM」タブ：RAMの使用状況を確認します。「メモリの消去」をタップすると、RAMの内容を消去します。
「ストレージ」タブ：各種メモリの使用状況を確認します。
「ヘルプ」タブ：電池パックの使用時間を延ばすための本端末の使用方法や、RAMマネージャーについての説明が表示されます。

② **起動中のアプリケーションの件数**
「全て終了」をタップすると、起動中のアプリケーションをすべて終了します。

③ **起動中のアプリケーション一覧**
「終了」をタップすると、アプリケーションを終了します。
CPU使用率により、文字の色が変わります。使用率が高いと赤く表示されます。

表示されていないタブを表示させるには

タブ表示部分の右端または左端が青くグラデーション表示されている場合は、スクロールすると表示されていないタブを表示できます。

お知らせ

- 「起動中のアプリ」タブで [メニュー] →「リスト」をタップすると、一覧の表示順を変更できます。

本端末の基本的な設定について

本端末のお買い上げ後などに変更されることが多い基本的な設定項目について説明します。

ホーム画面の壁紙を変更する

1 ホーム画面で ▭ →「壁紙」

2 壁紙の選択元を「ギャラリー」、「ライブ壁紙」、「壁紙ギャラリー」、「壁紙ギャラリー」から選択 → 壁紙を選択

ディスプレイの明るさを調節する

お買い上げ時、ディスプレイの明るさは周囲の明るさにあわせて自動的に調整されるように設定されています。手動で調整する場合は、以下の操作を行います。

1 ホーム画面で ▭ →「設定」→「画面」→「明るさ」

2 「自動明るさ調整」のチェックを外す

3 スライドバーを左右にスライドさせて調整 →「OK」

お知らせ

- 本端末の温度が高い場合、過熱を防ぐために最大の明るさに設定することができません。

SIM変更アラートを有効にする

ドコモUIMカードが別のドコモUIMカードに付け替えられたときに、付け替えられたカードの電話番号や本端末固有の情報が、指定した電話番号にSMSで自動的に送信されるように設定できます。

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「セキュリティ」→「SIM変更アラート」

2 Samsungアカウントの設定を行う

- 画面の指示に従って設定します。
- 既存のSamsungアカウントがある場合は、サインインしてください。
- 「SIM変更アラート」に自動的にチェックが付き、設定がオンの状態になります。

3 「アラートメッセージの受信者」

4 Samsungアカウントのパスワードを入力→「確認」

5 「SMS受信者」欄にSMSの送信先電話番号を入力

先頭に「+」、続いて送信先の国番号を入力後、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。

- 日本の国番号は「81」です。

6 「SMSメッセージ」欄にSMSに表示されるメッセージを入力

7 「完了」

リモートコントロールを有効にする

遠隔で本体のロック、位置確認とデータの削除ができる機能です。

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「セキュリティ」→「リモートコントロール」※

2 Samsungアカウントの設定を行う

- 画面の指示に従って設定します。
- 既存のSamsungアカウントがある場合は、サインインしてください。
- 「リモートコントロール」に自動的にチェックが付き、設定がオンの状態になります。

3 「SamsungDive Webページ」をタップするか、パソコンでhttp://www.samsungdive.comのページを開く

4 Samsungアカウントでログイン後、画面に従って設定を行う

※ Samsungアカウントが登録されると、「リモートコントロール」は自動でONになるため、本端末での操作は不要となります。手順3から操作してください。

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。

利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面で →「設定」→「その他...」→「モバイルネットワーク」→「APN」

アクセスポイントを追加で設定する

1 ホーム画面で →「設定」→「その他...」→「モバイルネットワーク」→「APN」→ →「新規APN」
2 「タイトル」→ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 →「OK」
3 「APN」→ アクセスポイント名を入力 →「OK」

4 **その他、通信事業者によって要求されている項目を入力**

- 携帯国番号を440、通信事業者コードを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

5 **→「保存」**

お知らせ

- 携帯国番号、通信事業者コードの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、設定リセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1. ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「その他...」→「モバイルネットワーク」→「APN」
2. [メニュー] →「初期設定にリセット」

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、iモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

mopera Uを設定する

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「その他...」→「モバイルネットワーク」→「APN」

2「mopera U（スマートフォン定額）」／「mopera U設定」の ● （灰色）をタップして ● （緑色）にする

お知らせ

- 「mopera U設定」はmopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

文字を入力する

文字を入力するには、文字入力欄をタップして文字入力用のキーボードを表示し、キーボードのキーをタップします。
文字入力用のキーボードには、以下の3種類があります。

- Google音声入力
- Samsung keypad
- Samsung日本語キーパッド
- Swype

お知らせ

- Samsung keypadでは日本語を入力できません。
- 使用状態によって各キーボードの表示や動作が異なる場合や、利用するアプリケーションや機能専用のキーボードが表示される場合があります。

キーボードの種類（入力方法）を切り替える

1 ホーム画面で ▭ →「設定」→「言語と文字入力」→「デフォルト」

2 利用したい入力方法をタップする

お知らせ

- 以下の方法でも、入力方法を切り替えることができます。
  - 文字入力画面では、ステータスバーに ⌨ が表示されます。通知パネルを下にドラッグする →「入力方法を選択」をタップする → 利用したい入力方法をタップします。
  - 「Samsung日本語キーパッド」の場合：キーボード表示中に ⚙ をタップ →「入力方法」→ 利用したい入力方法をタップします。
  - 「Samsung keypad」の場合：キーボード表示中に ⚙ をロングタッチ → 利用したい入力方法をタップします。
  - 「Swype」の場合：キーボード表示中に ✍ をロングタッチ →「入力方法を選択」→ 利用したい入力方法をタップします。

Samsung日本語キーパッドで入力する

Samsung日本語キーパッドは、「テンキー」と「QWERTYキー」の2種類のキーボードを利用できます。

- テンキー：一般の携帯電話のような入力方法（マルチタップ方式）のキーボードです。入力したい文字が割り当てられているキーを文字が入力されるまで数回タップします。
- QWERTYキー：パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードです。日本語をローマ字で入力します。

① 予測変換候補／通常変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
  - 予測変換をOFFに設定している場合や、予測変換候補の表示中に 変換 をタップすると、通常変換候補が表示されます。
  - ∨ をタップすると、予測変換候補／通常変換候補を全画面表示できます。∧ をタップすると、元の表示に戻ります。

② 確定前の文字を、キーをタップしたときと逆順に切り替えます。
  - 文字が入力されていない場合 ⚙ が表示されます。タップすると設定メニューが表示されます。

③ カーソルを左に移動します。

④ 英数カナの変換候補が表示されます。再度タップすると予測変換候補／通常変換候補が表示されます。
  - 文字が入力されていない場合は ☺（絵文字／記号／顔文字切替）が表示されます。

⑤ 文字入力モードを切り替えます（P.119）。

⑥ 文字を大文字／小文字に切り替えます。

- 全角／半角英字入力モードの場合は A/a と表示されます。

⑦ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。

⑧ カーソルを右に移動します。

- 同じキーに割り当てられている文字を続けて入力する場合などにタップします。
- ワイルドカード予測をONにしている場合は、タップするとワイルドカード予測（P.120）を利用できます。

⑨ 通常変換候補を表示します。

- 変換候補が表示されていない場合、タップするとスペースを入力できます。 は日本語入力の場合のみ表示されます。

⑩ 入力した文字を確定します。

- が表示されている場合は、タップすると改行します。
- が表示されている場合は、タップすると次の入力欄にカーソルを移動します。
- が表示されている場合は、タップすると検索などの操作を行います。

⑪ 絵文字／記号／顔文字の一覧を表示します。

- タブをタップして一覧を切り替えます。
- をタップすると、キーパッドを表示します。
- をタップすると、音声で文字を入力できます。

お知らせ

- 音声入力には、モバイルネットワークでの接続が必要です。Wi-Fi接続ではご利用になれない場合があります。

キーボードの種類を切り替える

1 キーボード表示中に をタップする

2 「テンキー⇔QWERTYキー」

文字入力モードを切り替える

1 キーボード表示中に をロングタッチする

2 利用したい文字入力モードをタップする

文字入力モードを切り替えると、キーの表示が次のように変わります。

- ：ひらがな漢字
- ：全角カタカナ
- ：半角カタカナ
- ：全角英字
- ：半角英字
- ：全角数字
- ：半角数字

お知らせ

- をタップしても、タップするごとに「ひらがな漢字」→「半角英字」→「半角数字」の順に切り替えられます。
- 利用するアプリケーションや機能によっては、操作2で掲載のキー以外が表示される場合があります。

ワイルドカード予測を利用する

ワイルドカード予測とは、単語などの読みの文字数を入力して、変換候補を絞り込む機能です。

- 予測変換とワイルドカード予測をＯＮにしている場合に利用できます。

例：「東京都」を入力する場合

1 キーボード表示中に「と」「う」を入力する

2 を４回タップする

入力欄に「とう○○○○」が表示され、予測変換候補に「東京都」が表示されます。

読みの文字数を変更する場合

／ をタップします。

3 「東京都」

Swypeで入力する

キーボードから指を離さずに、入力したい文字列の順に目的のキー上をスライドして文字を入力できます。例えば「fun」と入力する場合は、キーを「f」→「u」→「n」の順にスライドします（文頭などでは、先頭文字が自動的に大文字になる場合があります）。

- 入力したいキーをタップしても、文字や記号を入力できます。

① 入力候補が複数ある場合に表示され、候補をタップすると文字を入力できます（約10秒経過すると自動的に一番上の候補が入力されます）。日本語入力の場合は単語候補が常にONになっています。
- 単語候補をONに設定すると、キーをタップした際に予測変換候補が表示されます。
- 入力候補が表示されない場合、 ／ をタップしてください。

② 入力候補を閉じます。

③ 前後の入力候補に切り替えます。

④ 大文字と小文字を切り替えます。

⑤ Swypeの設定を変更できます。
- ロングタッチすると、設定画面を表示します。
- Swype入力言語が日本語の場合、個人辞書の登録はできません。

⑥ 文字種を文字入力／記号・数字入力に切り替えます。
- ロングタッチして、記号・数字入力のパネル表示を変えることができます。

⑦ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。

⑧ 改行します。

⑨ 音声で文字を入力します。

⑩ スペースを入力します。
- 変換予測が表示されている場合は、通常変換候補を表示します。

⑪ Swype入力言語を切り替えます。
- ロングタッチしても、Swype入力言語の種類を変更することができます。

⑫ 記号などの種類を切り替えます。

お知らせ

- 各キーの上部に表示されている記号や数字などは、キーをロングタッチして入力できます。
- 音声入力には、モバイルネットワークでの接続が必要です。Wi-Fi接続ではご利用になれない場合があります。

Samsung keypadで入力する

Samsung keypadには、「Qwerty keypad」、「3×4 keypad」、「Handwriting box 1」、「Handwriting box 2」の4種類のキーパッドがあります。
キーパッドを切り替えるには、以下の操作を行います。

- 日本語は入力できません。

1 キーボード表示中に ⚙ →「Portrait keypad types」

2 利用したいキーパッドの種類をタップする

■ Qwerty keypad

パソコンのキーボードと同じ配列のキーパッドです。

① XT9をONに設定すると入力候補が表示され、候補をタップすると文字を入力できます。
- をタップすると、予測変換候補／通常変換候補を全画面表示できます。をタップすると、元の表示に戻ります。
- をタップして表示される Add word をタップすると、XT9に単語を登録することができます。

② 大文字と小文字を切り替えます。

③ 入力モードを半角英字入力／半角数字・記号入力に切り替えます。

④ 音声で文字を入力します。

⑤ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。

⑥ 改行します。
- Next が表示されている場合は、タップすると次の入力欄にカーソルを移動します。
- が表示されている場合は、タップすると検索などの操作を行います。

⑦ Samsung keypadの設定画面を表示します。
- ロングタッチすると、入力方法を切り替えられます。

⑧ スペースを入力します。
- Input languages（P.138）で複数の入力言語を設定している場合、「English(US)」のようにスペースの上部に入力言語が表示されます。「English(US)」を左右にスライドすると入力言語を切り替えられます。ただし、半角数字・記号入力画面では、入力言語を切り替えることはできません。

⑨ 記号などの種類を切り替えます。

お知らせ

- 音声入力には、モバイルネットワークでの接続が必要です。Wi-Fi接続ではご利用になれない場合があります。

■3×4 keypad

一般の携帯電話のような入力方法（マルチタップ方式）のキーパッドです。

入力したい文字が割り当てられているキーを、文字が入力されるまで数回タップします。

- 数字入力、記号入力の場合は、キーを1回タップすると数字や記号を入力できます。
- XT9（予測変換）をONにして半角英字を入力する場合は、入力したい文字が割り当てられたキーを1文字ごとにタップすると、予測変換候補に単語が表示されます。

半角英字入力　半角数字入力

半角記号入力

① XT9をONに設定すると入力候補が表示され、候補をタップすると文字を入力できます。
- をタップすると、予測変換候補／通常変換候補を全画面表示できます。 をタップすると、元の表示に戻ります。
- をタップして表示される Add word をタップすると、XT9 に単語を登録することができます。

② 大文字と小文字を切り替えます。

③ XT9（予測変換）のON ／ OFFを切り替えます。
④ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。
⑤ 改行します。
- Next が表示されている場合は、タップすると次の入力欄にカーソルを移動します。
- 🔍 が表示されている場合は、タップすると検索などの操作を行います。

⑥ 入力モードを半角英字入力／半角数字入力／半角記号入力に切り替えます。
⑦ Samsung keypadの設定画面を表示します。
- ロングタッチすると、入力方法を切り替えられます。

⑧ 音声で文字を入力します。
⑨ スペースを入力します。
- Input languages（P.138）で複数の入力言語を設定している場合、 En のようにスペースの上部に入力言語が表示されます。 En を左右にスライドすると入力言語を切り替えられます。ただし、半角数字・記号入力画面では、入力言語を切り替えることはできません。

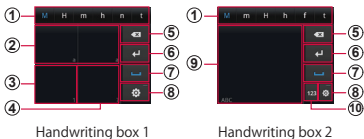
⑩ 記号などの種類を切り替えます。

お知らせ

- 音声入力には、モバイルネットワークでの接続が必要です。Wi-Fi接続ではご利用になれない場合があります。

■ Handwriting box 1 ／ 2

手書きで半角英数字や半角記号を入力します。

Handwriting box 1　　Handwriting box 2

① 入力候補が表示され、候補をタップすると文字を入力できます。

② 手書きで英字を入力します。

③ 手書きで数字を入力します。

④ 手書きで記号を入力します。

⑤ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。

⑥ 改行します。
- Next が表示されている場合は、タップすると次の入力欄にカーソルを移動します。
- 🔍 が表示されている場合は、タップすると検索などの操作を行います。

⑦ スペースを入力します。
- Input languages（P.138）で複数の入力言語を設定している場合、 のようにスペースの上部に入力言語が表示されます。 を左右にスライドすると入力言語を切り替えられます。ただし、半角数字・記号入力画面では、入力言語を切り替えることはできません。

⑧ Samsung keypadの設定画面を表示します。
- ロングタッチすると、入力方法を切り替えられます。

⑨ 手書きで半角英数字や半角記号を入力します。

⑩ 入力モードを半角英字入力／半角数字入力／半角記号入力に切り替えます。

文字列を選択／コピー／切り取り／貼り付ける

1 **キーボード表示中に文字入力欄をタップする**

が表示されます。 をドラッグすると、カーソルを移動できます。

2 **をタップ、または文字列をロングタッチする → 利用するアイコンをタップする**

アイコン	説明
※1	編集を中止して、文字入力欄を表示します。
※1	入力した全ての文字を選択します。
※1	選択した文字列をコピーします。
※1	選択した文字列を切り取ります。
※2	コピーした／切り取った文字列を貼り付けます。
※2	クリップボードを表示します。
※1	「クリップボード」を選択すると、クリップボードを表示します。

※1 文字列をロングタッチした場合のみ表示されます。
※2 をタップした場合に表示されます。

文字入力／変換機能を設定する

Samsung日本語キーパッドの設定を行う

Samsung日本語キーパッドを利用して文字を入力する際の入力動作の設定や、ユーザー辞書の登録などができます。

1 ホーム画面で［メニュー］→「設定」→「言語と文字入力」→「Samsung日本語キーパッド」の右側にある［設定］をタップする

2 設定したい項目をタップする

項目		説明
キーボード設定（共通）	キー操作音	キーをタップしたとき、タップ音を鳴らすかどうかを設定します。
	キー操作バイブ	キーをタップしたとき、本端末を振動させるかどうかを設定します。
	キーポップアップ	キーをタップしたとき、入力する文字をポップアップ表示させるかどうかを設定します。
	自動大文字変換	英字を入力したとき、文頭の文字を自動的に大文字にするかどうかを設定します。
	キーボードタイプ	画面の向き、入力モードごとにキーボードのタイプを設定します。
	音声入力	音声で文字を入力できるようにするかどうかを設定します。

項目		説明
テンキー設定	フリック入力	キーボードを「テンキー」にして入力する際、フリック方式で文字を入力できるようにするかどうかを設定します。 ONにすると、キーに触れると入力できる文字が表示されたキーポップアップが表示され、入力したい文字が表示された方向にフリックすると文字を入力できます。
	フリック感度（低⇔高）	フリック方式で文字を入力する際のフリック感度を調整します。
	トグル入力	フリック方式で文字を入力する際にトグル入力できるようにするかどうかを設定します。
	自動カーソル移動	自動カーソル移動の速度を設定します。

項目		説明
変換設定	候補学習	変換で確定した語句を学習辞書に保存させるかどうかを設定します。
	予測変換	予測変換をONにするかどうかを設定します。
	入力ミス補正※	入力を間違えたとき、変換候補に修正候補を表示させるかどうかを設定します。
	ワイルドカード予測※	ワイルドカード予測（P.120）を利用するかどうかを設定します。
	自動スペース入力	英文入力時に候補を選択すると、スペースを自動的に入力するかどうかを設定します。
	候補表示行数	候補表示の行数を設定します。

項目		説明
外部アプリ連帯	マッシュルーム	マッシュルーム拡張を使用するかどうかを設定します。
辞書	日本語ユーザー辞書	日本語ユーザー辞書に単語などを登録／編集します。
	英語ユーザー辞書	英語ユーザー辞書に単語などを登録／編集します。
	学習辞書リセット	学習辞書の内容をすべて削除します。
IMEについて	iWnn IME for Samsung	Samsung日本語キーパッドのバージョンを確認します。

※ 予測変換がOFFの場合は設定できません。

Swypeの設定を行う

Swypeを利用して文字を入力する際の入力動作の設定などができます。

1 **ホーム画面で → 「設定」 → 「言語と文字入力」 → 「Swype」 の右側にある をタップする**

2 **設定したい項目をタップする**

項目		説明
入力方法を選択		入力方法を設定します。
Swypeの使い方		Swypeのクイックステップを表示して、使いかたや設定方法などを確認します。
個人辞書※1		個人辞書を管理します。
優先設定	音声フィードバック	文字を入力したときに入力音を鳴らすかどうかを設定します。
	バイブレーション設定	キーをタップしたとき、本端末を振動させるかどうかを設定します。
	ヒントを表示	ヒントを表示するかどうかを設定します。
	スペース自動入力※2	単語間に自動的にスペースを挿入するように設定します。

※1 Swype入力言語が日本語の場合、個人辞書の登録はできません。
※2 メールやメモ帳などの文字入力画面（P.121）で、Swype キーボードの入力言語を日本語・韓国語以外に設定している場合に表示されます。

項目			説明
優先設定	自動大文字[※1]		文頭の単語の最初の文字を自動的に大文字にする。
	軌道を完全に表示		キーをスライドしたときに、パスを表示するかどうかを設定します。
	単語候補[※1][※2]		単語を入力すると、変換予測が表示されます。
	速度または精度		文字を入力する際の反応速度を設定します。
	Swypeの辞書をリセット		辞書に追加したすべての単語を削除します。
	概要	バージョン	Swypeのバージョンを確認します。
言語オプション	言語の有効化と設定を行います。		

※1 メールやメモ帳などの文字入力画面（P.121）で、Swype キーボードの入力言語を日本語・韓国語以外に設定している場合に表示されます。
※2 Swype入力言語が日本語の場合、個人辞書の登録はできません。

お知らせ

- キーボード表示中に をロングタッチしても、Swypeの設定ができます。

Samsung keypadの設定を行う

Samsung keypadを利用して文字を入力する際の入力動作の設定などができます。

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「言語と文字入力」→「Samsung keypad」の右側にある [設定] をタップする

2 設定したい項目をタップする

項目	説明
Portrait keypad types	キーパッドの種類を切り替えます。
Input languages	入力言語を設定します。
XT9	XT9（予測変換）をONにするかどうかを設定します。

項目		説明
XT9 advanced settings※	Word completion	Word completion pointで設定した数の文字を入力したとき、単語などの予測変換候補を表示するかどうかを設定します。
	Word completion point	予測変換候補を表示するポイント（文字数）を設定します。
	Spell correction	入力を間違えたとき、自動的に正しいスペルに修正するかどうかを設定します。
	Next word prediction	入力を確定した単語などに続くと予測される語句の候補を、表示するかどうかを設定します。
	Auto-append	XT9の辞書にない単語を入力したとき、XT9 my wordsに自動的に追加するかどうかを設定します。

項目		説明
XT9 advanced settings※	Auto-substitution	XT9 auto-substitutionで登録したショートカットを入力したとき、自動的に代替に登録した単語などに変換するかどうかを設定します。
	Regional correction	間違ったキーをタップして単語を入力したとき、タップしたキー周辺の文字を考慮して、正しい単語を予測変換候補に表示するかどうかを設定します。
	Recapture	予測変換候補から単語を選択して入力を確定したとき、を2回タップして変換をやり直せるようにするかどうかを設定します。
	XT9 my words	XT9に単語などを登録／編集します。

項目		説明
XT9 advanced settings※	XT9 auto-substitution	XT9に自動変換する単語などを登録します。
Keypad sweeping		Qwerty keypad／3×4 keypadを利用しているとき、キーパッド上を左右にフリックして文字入力モードを切り替えられるようにするかどうかを設定します。
Character preview		Qwerty keypadを利用しているとき、文字のプレビュー機能を設定します。
Auto-capitalization		文頭の文字を自動的に大文字にするかどうかを設定します。

項目		説明
Handwriting settings	Recognition time	手書き入力の認識時間を設定します。
	About	操作方法のガイダンスや、Samsung keypadのビルドを確認します。
Voice input		音声で文字を入力できるようにするかどうかを設定します。
Auto-full stop		自動的にピリオドを入力するかどうかを設定します。
Tutorial		Samsung keypadのチュートリアルを表示して、使いかたを確認します。

※ XT9がOFFの場合は設定できません。

お知らせ

- キーパッドを表示中に ⚙ をタップしても、Samsung keypadの設定ができます。
- チュートリアルは英語で表示されます。

自分の電話番号を確認する

1 **ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「端末情報」→「ステータス」**

「電話番号」に自分の電話番号が表示されます。

docomo Palette UI

ホームアプリの切り替えかた

ホームアプリをdocomo Palette UIに変更することで、グループ分けやアプリケーションの並べ替えなどの操作が簡単に行えます。
また、ホーム画面の壁紙やアプリケーション一覧を自分好みにカスタマイズできるきせかえ機能も搭載されています。

1 ホーム画面で「アプリ」→「ホーム切替」
デフォルトで起動設定されているホームアプリと、切替できるホームアプリが表示されます。

2 「常にこの操作で使用」をチェックする →「docomo Palette UI」

ホーム画面の見かた

ホーム画面の表示内容（表示例）

① **インジケータ**
- ホーム画面の位置が表示されます。ホーム画面を左右にスクロール／フリックして切り替えられます。

② **ウィジェット（例：検索）**
- タップして、ウィジェット（ホーム画面に配置するアプリケーション）の起動や操作を行います。

③ **ショートカット**
- タップして、アプリケーション画面の機能や本端末の設定項目などを起動します。

④ **ホーム画面を切り替えても常に表示されます。**
- 以外のアイコンは、アプリケーション画面のアイコンと交換できます。

ホーム画面の管理

ホーム画面に追加できるもの

ホーム画面にショートカットやウィジェット、フォルダ、アプリケーショングループなどを追加することができます。

ショートカットを追加する

1 ホーム画面で ▤ →「追加」

2「ショートカット」→ ホーム画面に追加したいショートカットをタップする

ウィジェットを追加する

1 ホーム画面で ▤ →「追加」

2「ウィジェット」→ ホーム画面に追加したいウィジェットをタップする

フォルダを追加する

1 ホーム画面で ▤ →「追加」

2「フォルダ」→ ホーム画面に追加したいフォルダをタップする

お知らせ

- フォルダを削除するには、フォルダをロングタッチ →「削除」をタップします。

ショートカットなどの移動

1 ホーム画面で、移動したいウィジェットやショートカットをロングタッチする

2 移動したい位置までドラッグして離す

ショートカットなどのホーム画面からの削除

1 ホーム画面で、削除したいウィジェットやショートカットをロングタッチする

2 をタップする

アプリケーションやウィジェットのアンインストール

1 ホーム画面で、アンインストールしたいアプリケーションやウィジェットをロングタッチする

2 「アンインストール」→「OK」

アンインストール完了の画面が表示されます。

3 「OK」

フォルダ名の変更

1 ホーム画面で、名前を変更するフォルダをロングタッチする
   - 名称変更が可能なフォルダは、「新しいフォルダ」から作成されたフォルダのみです。

2 「名称変更」→ フォルダ名を入力 →「OK」

お知らせ

- フォルダを開いて、フォルダ名をロングタッチしても名称変更できます。

壁紙の変更

ホーム画面の壁紙を自分好みに変更できます。

1 **ホーム画面で［メニュー］→「壁紙」**

2 **壁紙の選択元を「ギャラリー」「ライブ壁紙」「壁紙ギャラリー」「壁紙ギャラリー」から選択 → 壁紙を選択**

- ギャラリーの場合、サイズを選択して「保存」をタップします。
- ライブ壁紙の場合、「壁紙に設定」をタップします。
- 壁紙ギャラリー（ ）の場合、「壁紙に設定」をタップします。
- 壁紙ギャラリー（ ）の場合、「壁紙に設定」→ サイズを選択して「保存」をタップします。

お知らせ

- ホーム画面で［メニュー］→「壁紙ループ設定」をタップすると、壁紙の表示をループするかどうかを設定できます。

ホーム画面の追加

1 **ホーム画面で［メニュー］→「ホーム画面一覧」**

- ホーム画面で2本の指の間隔を狭めてもホーム画面一覧が表示されます。

2 **＋**

- 最大12枚までホーム画面を追加できます。

ホーム画面の並べ替え

1 ホーム画面で ▭ →「ホーム画面一覧」

- ホーム画面で2本の指の間隔を狭めてもホーム画面一覧が表示されます。

2 ホーム画面のサムネイルをロングタッチする

3 移動したい位置までドラッグして離す

ホーム画面の削除

1 ホーム画面で ▭ →「ホーム画面一覧」

- ホーム画面で2本の指の間隔を狭めてもホーム画面一覧が表示されます。

2 ホーム画面のサムネイルをロングタッチする

3 🗑 をタップする

- 削除したいホーム画面のサムネイルの ☒ をタップしても削除できます。

アプリケーション画面の見かた

1 ホーム画面で

アプリケーション画面が表示されます。

アプリケーション一覧画面の表示内容（表示例）

① **グループラベル**

- グループ別にアプリケーションを管理できます。
- プルダウンキーをタップして、グループにあるアプリケーションを表示／非表示します。
- 右側の数字は、グループ内にあるアプリケーションの数を表示します。

② **アプリケーション**

アプリケーションの管理

ショートカットのホーム画面への追加

1 アプリケーション一覧画面で、ホーム画面に追加したいアプリケーションをロングタッチする

2 「ホームへ追加」

アプリケーションのアンインストール

1 アプリケーション一覧画面で、アンインストールしたいアプリケーションをロングタッチする

2 「アンインストール」→「OK」
アンインストール完了の画面が表示されます。

3 「OK」

アプリケーションの移動

1 アプリケーション一覧画面で、移動したアプリケーションをロングタッチする

2 移動したい位置までドラッグして離す
- アプリケーションをロングタッチして「移動」をタップすると、別のグループに移動させることができます。

グループの管理

グループの追加

1 アプリケーション一覧画面で [MENU] →「グループ追加」

2 グループ名を入力する →「OK」

グループの並べ替え

1 アプリケーション一覧画面で、グループのラベルをロングタッチする

2 移動したい位置までドラッグして離す

グループ名の編集

1 アプリケーション一覧画面で、グループのラベルをロングタッチする

2 「名称変更」→ グループ名を入力する →「OK」

お知らせ

- 「最近使ったアプリ」／「ダウンロードアプリ」グループは、名称を変更することができません。

グループ色の変更

1 アプリケーション一覧画面で、グループのラベルをロングタッチする

2 「ラベル変更」→ ラベル色を選択する

グループのホーム画面への追加

1 アプリケーション一覧画面で、グループのラベルをロングタッチする

2 「ホームへ追加」

グループの削除

1 アプリケーション一覧画面で、グループのラベルをロングタッチする

2 「削除」→「OK」

お知らせ

- 「最近使ったアプリ」／「ダウンロードアプリ」グループは削除することができません。

アプリケーションの検索

1 アプリケーション一覧画面で [メニュー] →「検索」

2 検索したいアプリケーションを入力する→検索されたアプリケーションをタップする

- アプリケーションを検索するには、検索画面で [メニュー] →「設定」→「検索対象」→「アプリケーション」にチェックを付ける必要があります。

アプリケーション画面の表示切り替え

1 アプリケーション一覧画面で [メニュー] →「リスト形式」／「タイル形式」

ホームアプリの情報

docomo Palette UIについてのバージョン情報などが確認できます。

バージョン情報

1 **ホーム画面で［メニュー］→「アプリケーション情報」**

docomo Palette UIの提供者やバージョン情報が確認できます。

電話／ネットワークサービス

電話をかける／受ける

電話をかける

1 ホーム画面で「電話」→「キーパッド」タブ

2 相手の電話番号を入力する

- 同一市内へかけるときでも市外局番から入力してください。

キーパッド画面

① タブ
「キーパッド」タブ：キーパッド画面が表示されます。
「履歴」タブ（P.165）
「お気に入り」タブ（P.181）
「電話帳」タブ（P.178）

② **電話番号入力欄**
入力した電話番号が表示されます。

③ **検索結果欄**
キーパッドをタップするごとに、電話帳や履歴から対応する候補と件数が表示されます。候補がない場合は「連絡先に追加」が表示されます。

- スピードダイヤルは指定した番号を1桁、電話帳の名前（半角英数字で登録している場合のみ）を1桁以上、電話番号は3桁以上入力すると、検索されます。

④ **電話発信ボタン**

⑤ **SMSボタン**
SMSを作成・送信します（P.264）。

⑥ **削除ボタン**
カーソルの左側にある番号を削除します。ロングタッチすると、カーソルの左側にある番号をすべて削除できます。

3 （発信ボタン）
通話中画面が表示されます。

4 通話が終了したら「通話を終了」

お知らせ

- 本端末では、テレビ電話は利用できません。
- 1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にするには、電話番号の前に「186」（通知）／「184」（非通知）を入力します。「発信者番号通知」(P.199)を利用して、あらかじめ通知／非通知を設定することもできます。

お知らせ

- 通話中画面は、本端末を顔に近づけるなどして画面を覆ったとき（ヘッドセットなどを取り付けている場合を除く）や操作せずに約30秒経過すると、自動的に消えます。 を押すと、通話中画面を表示できます。
- 通話中画面では次の操作ができます。
  - ※1／※1：通話を保留／保留解除します。
  - 「通話を追加」※1：別の相手に電話をかけます。
  - 「キーパッド」：キーパッドを表示してプッシュ信号を送信します。
  - 「スピーカー」※2：相手の声をスピーカーから流してハンズフリーで通話します。
  - 「ミュート」：自分の声を相手に聞こえないようにします。
  - 「ヘッドセット」：Bluetoothデバイスと接続してハンズフリーで通話します。

  ※1 「キャッチホン」をご契約いただいている場合のみ操作できます。

  ※2 ハンズフリー通話中は、「画面のタイムアウト」の設定時間が経過すると自動的に画面の表示が消えます。
- 通話相手の声の音量（通話音量）を調節するには、通話中に（音量大）／（音量小）を押します。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

お知らせ

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。 位置情報を通知した場合には、ホーム画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。

- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内では、ドコモUIMカードを取り付けていない場合、緊急通報110番、119番、118番に発信できません。

キーパッド画面／通話中画面のメニュー

[メニューキー] をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
連絡先に追加※1※2	→P.178
メッセージ送信※2	SMSを作成して送信します。
スピードダイヤル設定※2	→P.167
2秒間のポーズを追加※2	ポーズ「,」を入力します。電話番号に続けて「,」と番号を入力して発信すると、電話がつながって約2秒後にプッシュ信号（番号）が自動的に送信されます。

項目	説明
待機を追加※2	タイマー「；」を入力します。電話番号に続けて「；」と番号を入力して発信すると、電話がつながって「はい」をタップすると、プッシュ信号（番号）が送信されます。
通話設定※2	→ P.206
電話帳※3	電話帳の登録情報の一覧を表示します。
メモ※2	メモを作成します。
ノイズキャンセラOFF／ノイズキャンセラON※2	ノイズキャンセラをON／OFFにします。

※1 キーパッド画面で、番号を入力したら、表示されます。
※2 キーパッド画面のみ表示されます。
※3 通話中画面のみ表示されます。

電話／通話の状態を音で知らせる

1 ホーム画面で →「設定」→「通話」→「通話通知」

2 設定したい項目をタップする

項目		説明
応答時のバイブ		着信者が通話に応答すると電話機が振動するかどうかを設定します。
通話状況通知音	呼出開始音	呼び出し開始音を鳴らすかどうかを設定します。
	通話時間通知（毎分）	1分ごとに通話時間通知を行うかどうかを設定します。
	通話終了音	通話終了音を鳴らすかどうかを設定します。
通話中にイベント通知		アラームやSMSの受信などが発生したときに通知音を鳴らすかどうかを設定します。

発着信履歴を利用して電話をかける

履歴では、発信履歴、着信履歴、不在着信履歴を一覧で確認できます。

- SMSの送受信履歴も確認できます。

1 ホーム画面で「電話」→「履歴」タブ

履歴画面が表示されます。

	：着信／受信履歴		：発信／送信履歴
	：電話		：SMS
	：不在着信履歴		：着信拒否履歴
	：拒否リストからの電話		

2 かけたい相手をタップする

履歴詳細画面が表示されます。

3

お知らせ

- 電話帳に登録されている相手の画像をタップし、アイコンをタップすると、電話の発信／SMSやEメールの作成／電話帳の登録情報の表示などができます。

通信履歴を確認する

通話やメール／ SMS送信の履歴を確認できます。

1 ホーム画面で「電話」→「履歴」タブ

2 連絡先をタップする

通信内容の詳細が表示されます。電話の発信やメール／ SMS送信などの操作ができます。

履歴画面／履歴詳細画面のメニュー

[メニューキー]をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
全ての連絡先※1	全ての連絡先を表示します。
表示設定※1	表示する履歴の種類を切り替えます。
編集して発信※2	電話番号が入力されたキーパッド画面を表示します。
削除	履歴を削除します。
通話時間※1	通話時間を確認します。
通話設定※1	→ P.206
連絡先をSMS送信※2	連絡先をSMSで送信します。
着信拒否リストに追加※2	「着信拒否」(P.176)の着信拒否リストに電話番号を追加します。

※1　履歴画面で表示されます。
※2　履歴詳細画面で表示されます。

スピードダイヤルを登録する

1 ホーム画面で「アプリ」→「電話帳」→「電話帳」タブ

2 [メニュー] →「スピードダイヤル設定」

3 2～9番のダイヤルキーパッドで、発信する連絡先を登録する

- 1番には留守番電話が登録されており、変更できません。
- スピードダイヤルを変更するには、既存のスピードダイヤルをロングタッチして、「置き換え」／「削除」をタッチすることで変更できます。

スピードダイヤルで発信する

1 ホーム画面で「電話」→「キーパッド」タブ

2 スピードダイヤルが割り当てられたキーをロングタッチする

電話帳から電話をかける

1 **ホーム画面で「アプリ」→「電話帳」→「電話帳」タブ**

登録情報の一覧が表示されます。

お気に入り（P.181）を利用する場合

ホーム画面で「電話」→「お気に入り」タブをタップします。

2 **発信したい相手をタップする**

登録情報の詳細が表示されます。

3 **相手の電話番号をタップする**

国際電話（WORLD CALL）を利用する

WORLD CALLは国内でドコモの本端末からご利用いただける国際電話サービスです。FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせてWORLD CALLもご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。
海外での利用については、P.412以降をご覧ください。

- 通信事業者によっては、発信者番号が通知されない／正しく表示されないことがあります。この場合、履歴から電話をかけることはできません。

WORLD CALLについてのご不明な点は、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

1 ホーム画面で「電話」→「キーパッド」タブ→「0」「1」「0」→国番号→地域番号（市外局番）→相手の電話番号を入力する

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

2

3 通話が終了したら「通話を終了」

お知らせ

- 「国番号-地域番号（市外局番）-電話番号」の先頭に、「0」をロングタッチして「+」を入力すると、発信時に「+」が国際アクセス番号の「009130010」に変換され、国際電話をかけることができます。

電話を受ける

1 電話がかかってくる

着信中の画面が表示されます。

- 圏外の状態に電話がかかってきた場合、着信通知お知らせがSMSで送られます。

2 を円の外側にドラッグする

着信拒否する場合

を円の外側にドラッグします。

着信拒否して相手にSMSで拒否理由を伝える場合

画面下部の「着信拒否時にメッセージ送信」を上方向にドラッグし、拒否理由の右側にある送信アイコンをタップします。

- 「新規メッセージを作成」をタップすると、SMSを作成できます。

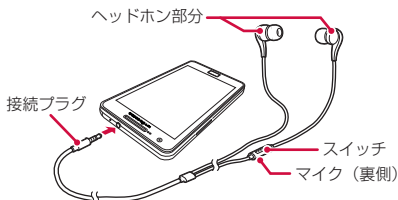
お知らせ

- 拒否理由は、「着信拒否メッセージを設定」（P.175）で変更できます。
- 着信中に（音量）を押すと、着信音やバイブレーションを停止できます。

マイク付ステレオヘッドセットの使いかた

マイク付ステレオヘッドセット（試供品）を接続すると、マイク付ステレオヘッドセットのスイッチを押してかかってきた電話を受けることができます。

■ マイク付ステレオヘッドセットの取り付けかた

1 **マイク付ステレオヘッドセットの接続プラグを本端末のヘッドホン接続端子に差し込む**

■ マイク付ステレオヘッドセットで電話を受ける

1 **電話がかかってきたら、マイク付ステレオヘッドセットのスイッチを押す**

電話がつながると通話ができます。自分の音声は、マイク付ステレオヘッドセットのマイクから相手に送られます。

着信を拒否する場合

着信中にマイク付ステレオヘッドセットのスイッチを1秒以上押して離します。

通話を保留／保留解除する場合

通話中にマイク付ステレオヘッドセットのスイッチを１秒以上押して離します。
- 「キャッチホン」をご契約いただいている場合のみ操作できます。

2 通話が終了したら再度スイッチを押す

お知らせ
- 本端末にマイク付ステレオヘッドセットを接続している場合でも、着信音やアラームは本端末からも鳴ります。

各種音量を調節する

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「サウンド」→「音量」

音量バーが表示され、音楽プレイヤーなどのメディアの再生音、電話着信時の着信音、通知音、システムの音量を調節することができます。

2 各音量のスライドバーの ▯ を左右にドラッグ →「OK」

■ 音量ボタンで着信音量を調節する

1 ▯（音量大）／（音量小）を押す

キーパッド使用時のタッチ操作音のON／OFFを設定する

1 ホーム画面で →「設定」→「サウンド」→「タッチ操作音」にチェックを付ける／外す

着信／通知を音や振動で知らせる

着信時や通知時に鳴らす着信音／通知音のメロディなどを設定したり、振動させるかどうかを設定したりします。

着信音／通知音を設定する

1 ホーム画面で →「設定」→「サウンド」→「電話着信音」／「標準通知音」

2 設定したい着信音／通知音をタップ →「OK」

「消音」を選択すると、着信音／通知音は鳴りません。

バイブレーションを設定する

1 ホーム画面で →「設定」→「サウンド」「着信時バイブ」にチェックを付ける

- 「バイブの強度設定」でバイブの強弱調節ができます。

電話から鳴る音を消す

マナーモードをONに設定すると、着信音や通知音などが鳴らなくなります。

1 を1秒以上押す

端末オプション画面が表示されます。

2 「マナーモード」→「OK」

ステータスバーに が表示されます。

- お買い上げ時は、マナーモードをONに設定するとバイブレーションが振動します。「バイブのみ」の設定を変更し、マナーモードと連動してバイブレーションが振動しない設定になっている場合、ステータスバーに が表示されます。

マナーモードをOFFに設定する場合

を1秒以上押し、「マナーモード」→「OK」をタップします。

お知らせ

- ホーム画面で →「設定」→「サウンド」→「マナーモード」→「バイブのみ」／「サイレント」をタップしても、マナーモードをONに設定できます。
- マナーモード設定中は、以下の項目が設定できません。
  - 着信時バイブ
- （音量小）を押して着信音量を0にすると、マナーモードがONに設定されます。

着信拒否時にSMSで送信する拒否理由を登録する

本端末では、電話の着信を拒否して相手にSMSで拒否理由を伝えることができます。拒否メッセージは、最大6件まで登録できます。

- お買い上げ時は5件の拒否メッセージが登録されています。6件登録済みの状態で新しく登録する場合は、不要なメッセージを削除してから登録してください。

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「通話」→「着信拒否メッセージを設定」

拒否メッセージを削除する場合

[メニュー] →「削除」→ 削除したい拒否メッセージにチェックを付ける／「全て選択」にチェックを付ける →「削除」をタップします。

2 「新規作成」→ 拒否メッセージを入力 →「保存」

お知らせ

- 拒否メッセージは全角最大70文字（半角英数字のみの場合は最大160文字）まで入力できます。

指定した電話番号からの着信を拒否する

着信を拒否したい相手の電話番号を登録できます。電話番号は、最大30件まで登録できます。

1 **ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「通話」→「着信拒否」**

2 **「自動着信拒否リスト」**

非通知の電話を拒否する場合

「非通知」にチェックを付けます。

登録した電話番号を修正する場合

修正したい電話番号をタップ → 電話番号を修正 →「保存」をタップします。

登録した電話番号を削除する場合

[メニュー] →「削除」→ 削除したい電話番号にチェックを付ける／「全て選択」にチェックを付ける →「削除」をタップします。

3 **「追加」**

4 **拒否したい電話番号を入力**

- 履歴や電話帳から電話番号を引用する場合は、[アイコン] →「履歴」／「電話帳」→ 登録する相手をタップします。
- 登録した電話番号のチェックを外すと、着信拒否を解除できます。

5 **「振り分けルール」→ 指定する振り分けルールをタップする**

■ 振り分けルール

項目	説明
完全一致	指定した番号と完全に一致する電話番号からの着信を拒否します。
前方一致	指定した番号で始まる電話番号からの着信を拒否します。
後方一致	指定した番号で終わる電話番号からの着信を拒否します。
部分一致	指定した番号を含む電話番号からの着信を拒否します。

6 「保存」

お知らせ

- 登録した電話番号を拒否するには「自動着信拒否モード」で「着信拒否番号」を選択する必要があります。

電話帳

電話帳に登録する

電話帳に名前や電話番号、メールアドレスなどさまざまな情報を登録できます。

1 **ホーム画面で「アプリ」→「電話帳」**

お買い上げ時の場合、「電話帳」タブ画面が表示されます。

2 **⊕ → 画面上部のアカウント欄をタップして登録先を選択する**

- 初めて電話帳登録を行う場合、「新しいアカウントを追加」が表示されます。「新しいアカウントを追加」をタップし、以降は画面指示に従って新しいアカウントを追加してください。
- 本端末にオンラインサービスのアカウントなどを設定している場合は、登録先として追加表示されることがあります。

連絡先編集画面

① **アカウントアイコン**
保存先としてdocomoやGoogleなどを選択した場合、保存先のアイコンが表示されます。
- 本端末に保存した場合、アカウントアイコンは表示されません。
- 異なるアカウントの連絡先を統合した場合、複数のアカウントアイコンが表示されます。

② **画像欄**
- 画像を登録できます。写真を撮影するには「カメラを起動」、保存済みの画像を選択するには「ギャラリーから画像を選択」をタップします。

③ **ラベルボタン**
入力内容のラベル（種類）を選択できます。表示されるリストから「カスタム」をタップすると、任意のラベルを作成できます。

④ **詳細入力ボタン**
読みがなや敬称など詳細情報を入力できます。

⑤ **項目追加／削除ボタン**
選択した項目の入力欄を追加／削除できます。

3 必要な項目を入力する

- 「グループ」をタップすると、連絡先をグループ分けできます。
- 「着信音」をタップすると個別の着信音を設定できます。
- 「フィールドを追加」をタップすると、所属やメモ、ニックネーム、Webサイトなどを入力できます。
- 設定できる項目は、連絡先の保存先（docomo、本体（本端末））や言語の設定（P.237）によって異なります。

4 ☑ をタップして保存する

- 本端末以外に保存された連絡先には、保存先のアイコンが表示されます。
- 連絡先が表示されない場合は ▭ →「表示する連絡先」をタップして表示の設定を変更できます。

連絡先をお気に入りに追加する

■ 電話帳から追加する

1 「電話帳」タブ画面で追加したい連絡先をタップする → ★（灰色）をタップして ★（黄色）にする

■ お気に入り画面から追加する

1 「お気に入り」タブ画面で [メニュー] →「お気に入りに追加」→ 追加したい連絡先にチェックを付ける → ✓ をタップする

追加した連絡先が「お気に入り」欄に表示されます。

■ お気に入り画面のメニュー

[メニュー] をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
お気に入りに追加	連絡先をお気に入りに追加します。
お気に入りから解除	連絡先をお気に入りから削除します。

プロフィールを登録する

1 ホーム画面で「アプリ」→「電話帳」→「電話帳」タブ →「プロフィールの設定」

2 マイプロフィールの登録画面で必要な項目を入力する

3 ✓ をタップして保存する

お知らせ

- プロフィールを連絡先データとして送信するには、プロフィールの表示画面で ▭ →「連絡先を共有」→ 送信方法をタップします。

連絡先の内容を確認／編集する

1 ホーム画面で「アプリ」→「電話帳」→「電話帳」タブ

2 確認したい連絡先をタップする

連絡先の詳細が表示されます。

- 電話番号をタップすると、電話をかけることができます。
- 電話番号欄の ✉ をタップするとＳＭＳを作成できます。
- メールアドレスをタップするとメールを作成できます。

連絡先を編集する場合

✎ をタップします。

連絡先をインポート／エクスポートする

microSDカードやドコモUIMカードと本端末の間で連絡先をインポート／エクスポートできます。また、連絡先はメール送信もできます。

1 「電話帳」タブ画面で ▭ →「インポート／エクスポート」

2 以下の操作を行う

連絡先をインポートする場合

「ユーザーメモリ（本体）からインポート」／「外部SDカードからインポート」／「SIMカードからインポート」をタップします。

- 「ユーザーメモリ（本体）からインポート」／「外部SDカードからインポート」を選択した場合は、本端末内部のユーザーメモリまたはmicroSDカードの両方から連絡先をインポートします。また、インポート先をdocomoアカウント、本端末、およびオンラインサービスのアカウント（ログインしている場合）から選択できます。

連絡先をエクスポートする場合

「ユーザーメモリ（本体）にエクスポート」／「外部SDカードにエクスポート」／「SIMカードにエクスポート」をタップします。

- ドコモUIMカード（SIM）またはmicroSDカードにエクスポートできるのは、本端末本体に保存された連絡先のみです。

連絡先を送信する場合

「連絡先を送信」→ 送信したい連絡先にチェックを付ける → ☑ → 送信方法を選択します。

「電話帳」タブ画面／連絡先詳細画面のメニュー

▭ をタップすると以下の項目が表示されます。

■「電話帳」タブ画面

項目	説明
削除	連絡先を削除します。
スピードダイヤル設定	スピードダイヤルを設定します。（→ P.167）
インポート／エクスポート	連絡先をインポート／エクスポートします。
Googleと統合	端末内のすべての連絡先をGoogleアカウントと統合します。
アカウント	アカウントと同期の設定や、SNSのアカウントを登録・管理します。
Eメール送信	選択した連絡先にメールを送信します。
メッセージ送信	選択した連絡先にSMSを送信します。

項目		説明
表示する連絡先		チェックを付けた項目に該当する連絡先のみが表示されます。
設定	電話番号登録済の連絡先	電話番号が登録されている連絡先のみ、「電話帳」タブ画面に表示します。
	サービス番号※	ドコモ故障問い合わせ先や総合案内・受付先などのサービス番号を確認できます。
	連絡先を送信	Bluetoothを通じて連絡先を送信する時の送信方法を選択したりできます。

※ 保存されている連絡先が1件以上の場合表示されます。

■ 連絡先詳細画面

項目	説明
履歴	電話／SMS／Eメールなどの発信履歴を確認できます。
削除	連絡先を削除します。
連絡先を統合	家族や会社などの関連する連絡先をリンクさせて、1つの連絡先にまとめます。
連絡先を分離※	「連絡先を統合」で1つにまとめた連絡先を分離します。
メインの連絡先を選択	電話番号などを2件以上入力したとき、優先的に利用する電話番号などを指定します。
連絡先を共有	連絡先を名刺データとしてメールなどで送信します。
拒否リストに追加	拒否リストに入れるかどうかを設定します。
連絡先を印刷	必要な項目を選択して、Samsung製のプリンターで印刷します。 • 2012年6月現在、日本国内で本機能を利用できるプリンターはありません。

※「連絡先を統合」でまとまった連絡先があるときのみ表示されます。

お知らせ

- 「連絡先を統合」でリンクさせた連絡先は、リンク操作を行った連絡先に結合され、「電話帳」タブ画面には表示されなくなります。

グループ分けした連絡先を確認する

連絡先の登録時に設定したグループ別に、連絡先を管理・利用できます。

1 **ホーム画面で「アプリ」→「電話帳」→「グループ」タブ**

連絡先が登録されているグループには、「(件数)」が表示されます。

2 **確認したいグループ → 連絡先をタップする**

■ グループを追加／編集する

- グループごとに着信音を設定できます。

1 **「グループ」タブ画面で [メニュー] →「新規」**

- 登録済みのグループを編集する場合は、「グループ」タブ画面で編集したいグループをタップする → [メニュー] →「編集」をタップします。

2 **グループ名を入力 →「グループ着信音」→「標準」／「その他のプリセット着信音」／「マイファイルへ移動」**

「標準」をタップした場合は、お買い上げ時の着信音に設定されます。

3 **[✓] をタップして保存**

■ グループを削除する

1 「グループ」タブ画面で [メニュー] →「削除」

2 削除したいグループ／「全てを選択」にチェックを付ける → [✓] →「グループのみ」／「グループ内の連絡先も含める」

■ グループに連絡先を追加する

1 「グループ」タブ画面で連絡先を追加したいグループをタップする → [連絡先追加アイコン]

2 追加したい連絡先／「全てを選択」にチェックを付ける → [✓] をタップして保存

グループから連絡先を削除する場合

グループをタップする → [メニュー] →「グループから削除」→ 削除したい連絡先／「全てを選択」にチェックを付ける → [✓] をタップします。

電話帳コピーツールを利用する

microSDカードを利用して、他の本端末との間で電話帳データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された電話帳データをdocomoアカウントにコピーできます。

- microSDカードが外されていたり、利用できない場合は内部ストレージに保存されます。

1 microSDカードを本端末に取り付ける

2 ホーム画面で「アプリ」→「電話帳コピーツール」

はじめてご利用される際には、「使用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

3 画面上部のタブをタップする

各機能のタブ画面に切り替わります。

電話帳をmicroSDカードにエクスポートする

1 「エクスポート」タブ画面で「開始」

docomoアカウントに保存されている電話帳データがmicroSDカードに保存されます。

電話帳をmicroSDカードからインポートする

1 「インポート」タブ画面でインポートしたいファイルをタップする→「上書き」／「追加」

インポートした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

Googleアカウントの連絡先をdocomoアカウントにコピーする

1 **「docomoアカウントへコピー」タブ画面でコピーしたいGoogleアカウントをタップする →「上書き」／「追加」**

コピーした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

- 「本体」に登録した電話帳データもGoogleアカウントと同様にdocomoアカウントへのコピーが可能です。

お知らせ

- 他端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、連絡先に登録可能な文字は本端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳をmicroSDカードにエクスポートする場合は、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- 電話帳をmicroSDカードからインポートする場合は、「一括バックアップ」で作成したファイルは読み込むことができません。
- 電話帳コピーツールで作成（エクスポート）した電話帳を電話帳コピーツール以外でご利用される場合、正しく表示されない場合があります。
- [メニュー] →「ヘルプ」／「バージョン情報」をタップすると、使い方などのヘルプやバージョン情報を見ることができます。
- 電話帳コピーツールについて詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

利用できるネットワークサービス

本端末では、ドコモの主なネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名称	お申し込み	月額使用料	参照先
留守番電話サービス	要	有料	P.192
キャッチホン	要	有料	P.195
転送でんわサービス	要	無料	P.196
発信者番号通知サービス	不要	無料	P.199
公共モード（電源OFF）	不要	無料	P.200

お知らせ

- サービスエリア外や電波の届かない所ではネットワークサービスはご利用できません。
- 「サービス停止」とは留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。
- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、本端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

留守番電話サービスを利用する

電波の届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

お知らせ

- 伝言メッセージは1件あたり約3分、20件まで録音でき、72 時間保存されます。
- 留守番電話サービスを「サービス開始」にしている時に、かかってきた電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信」として記録され、ステータスバーの通知アイコンに が表示されます。
- 本端末は、テレビ電話の留守番電話サービスに対応しておりません。「1412」へ発信し、「非対応」に設定してください。

留守番電話サービスを設定する

1 **ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「通話」→「ネットワークサービス」→「留守番電話サービス」**

留守番電話サービスの設定画面が表示されます。

2 **利用したい項目を選択する**

項目	説明
サービス開始	「OK」をタップすると、留守番電話サービスを開始します。
呼出時間設定	留守番電話サービスセンターに接続するまでの呼出時間を最大120秒まで設定できます。 0 ～ 120の数値を入力して「OK」をタップします。
サービス停止	「OK」をタップすると、留守番電話サービスを停止します。
設定確認	現在の設定を確認します。
メッセージ再生※	「OK」をタップすると、留守番電話サービスセンターに接続して、伝言メッセージを再生します。接続後は、音声ガイダンスに従って操作します。
留守番電話サービス設定※	「OK」をタップすると、留守番電話サービスセンターに接続して、留守番電話サービスの設定を変更します。接続後は、音声ガイダンスに従って操作します。

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td colspan="2">メッセージ問合せ※</td><td>留守番電話サービスセンターに接続して、伝言メッセージをお預かりしているかどうかを確認します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">件数増加鳴動設定</td><td>新しい伝言メッセージをお預かりしたときに、確認音とバイブレーションで通知するかどうかを設定します。
確認音による通知には「サウンド」、バイブレーションによる通知には「バイブ」にチェックを付けます。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">着信通知</td><td>サービス開始</td><td>本端末の電源が切れているときや圏外のときなどにかかってきた電話に応答できなかった場合、着信した日時や相手の電話番号をSMSで通知します。
すべての着信を通知する場合：「全着信」→「OK」
発信者番号が通知された着信を通知する場合：「発番号あり」→「OK」</td></tr>
<tr><td>サービス停止</td><td>「OK」をタップして着信通知を停止に設定します。</td></tr>
<tr><td>設定確認</td><td>現在の設定を確認します。</td></tr>
</table>

※ 各操作後に、SMS「NTT DOCOMO VM：XX」が通知されます。

キャッチホンを利用する

通話中に別の電話がかかってきたときに、着信を通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。また、通話中の電話を保留にして、別の相手へ電話をかけることもできます。

お知らせ

- 保留中も、電話を発信した方に通話料金がかかります。

キャッチホンを設定する

1 ホーム画面で ▭ →「設定」→「通話」→「ネットワークサービス」→「キャッチホン」

2「サービス開始」→「OK」

- キャッチホンサービスを停止するには、「サービス停止」→「OK」をタップします。
- 現在の設定を確認するには、「設定確認」をタップします。

転送でんわサービスを利用する

電波の届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、かかってきた電話を転送するサービスです。

- 転送でんわサービスの開始後、かかってきた電話に応答しなかった場合には、不在着信として記憶され、ステータスバーに が表示されます。

  ただし、呼出時間が0秒に設定されている場合は、不在着信に記憶されません。

お知らせ

- 転送でんわサービスを開始していても、着信音が鳴っている間に応答すればそのまま通話できます。

転送でんわサービスを設定する

1 **ホーム画面で ［メニュー］ →「設定」→「通話」→「ネットワークサービス」→「転送でんわサービス」**

転送でんわサービスの設定画面が表示されます。

2 **利用したい項目を選択する**

項目	説明
サービス開始	「OK」をタップすると、転送でんわサービスを開始します。 「転送先番号」欄と「呼出時間（0～120秒）」欄を入力 →「OK」 • 未入力の場合は、前回の設定内容で開始されます。 • ［アイコン］ をタップすると履歴または電話帳から転送先番号を設定できます。
サービス停止	「OK」をタップすると、転送でんわサービスを停止に設定します。
転送先変更	転送先の電話番号を変更して転送でんわサービスを開始に設定します。 転送先の電話番号を入力 →「OK」→「はい」 • 電話番号入力時に、［アイコン］ をタップすると履歴または電話帳から転送先番号を設定できます。 • 確認画面で「いいえ」を選択すると、転送でんわサービスを停止したままで、転送先番号のみ変更できます。

項目	説明
転送先通話中時設定	転送先が通話中の場合、かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続するかどうかを設定します。
ガイダンス設定	「ガイダンスON」をタップすると、電話が転送されるときに電話をかけてきた相手にガイダンスを流すように設定できます。 • ホーム画面で「電話」→「キーパッド」タブ →「1」「4」「2」「9」を入力 → をタップしても、転送ガイダンスの有無を設定することができます。
設定確認	現在の設定を確認します。

発信者番号通知サービスを利用する

電話をかけたときに相手の電話機にお客様の電話番号を表示することができます。

- 電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。
- 圏外では発信者番号通知設定の操作は行えません。

1 **ホーム画面で →「設定」→「通話」→「ネットワークサービス」→「発信者番号通知」**

2 **「サービス開始」→「OK」**

- 電話番号を非通知に設定するには、「サービス停止」→「OK」をタップします。
- 現在の設定を確認するには、「設定確認」をタップします。

公共モード（電源OFF）を利用する

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。
公共モード（電源OFF）に設定すると、電源を切っている場合や、機内モード設定中の場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

1 **ホーム画面で「電話」→「キーパッド」タブ→「*」「2」「5」「2」「5」「1」を入力→ [通話ボタン]**

公共モード（電源OFF）が設定されます（画面上の変化はありません）。

公共モード（電源OFF）を解除する場合

ホーム画面で「電話」→「キーパッド」タブ→「*」「2」「5」「2」「5」「0」を入力→ [通話ボタン] をタップします。

公共モード（電源OFF）の設定を確認する場合

ホーム画面で「電話」→「キーパッド」タブ→「*」「2」「5」「2」「5」「9」を入力→ [通話ボタン] をタップします。

公共モード（電源OFF）に設定すると

「*」「2」「5」「2」「5」「0」を入力し、 をタップして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。

- 電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用できるようにします。

サービスを登録する

サービスを登録します。また、サービスの登録内容を変更したり、削除したりすることもできます。

1 **ホーム画面で [MENU] →「設定」→「通話」→「追加サービス」→「USSD登録」**

2 **[MENU] →「新規作成」**

登録済みのサービスの内容を変更する場合

登録済みのサービス項目をロングタッチして「編集」→ 変更する項目欄の登録内容を変更 →「保存」をタップします。

登録済みのサービスを選択して削除する場合

登録済みのサービス項目をロングタッチして「削除」をタップします。

3 **「サービス名」欄と「USSDコード」欄に入力 →「保存」**

「USSDコード」欄にはドコモから通知される「特番」または「サービスコード」を入力します。

登録したサービスを利用する

1 ホーム画面で [MENU] →「設定」→「通話」→「追加サービス」→「USSD登録」

2 利用したいサービスをタップする

応答メッセージを登録する

追加したサービスを実行したとき、サービスセンターから返ってくるコード（USSD）に対応した応答メッセージを登録します。

1 ホーム画面で [MENU] →「設定」→「通話」→「追加サービス」→「応答メッセージ登録」

2 [MENU] →「新規作成」

3 「サービス名」欄と「USSDコード」欄に入力 →「保存」

「USSDコード」欄にはドコモから通知される「特番」または「サービスコード」を入力します。

各種設定

設定メニューについて

画面の明るさや表示方法、着信音、通信などさまざまな設定を行うことができます。

1 ホーム画面で [メニューキー] →「設定」

2 メニュー項目を選択して設定を行う

無線とネットワーク

ワイヤレスネットワーク接続の設定をします。

項目		説明
Wi-Fi		→ P.287
Bluetooth		→ P.330
データ使用量		データの使用量を確認できます。
その他...	機内モード	→ P.292
	Wi-Fi Kies接続	→ P.290
	USBユーティリティ	→ P.336
	VPN	→ P.297
	テザリング	→ P.293
	Wi-Fi Direct	→ P.291
	モバイルネットワーク	データ通信やデータローミング、アクセスポイント（APN）、ネットワークモード、ネットワークオペレーターなどを設定します。

通話

通話関連機能の設定をします。

項目		説明
ネットワークサービス	留守番電話サービス	→ P.192
	キャッチホン	→ P.195
	転送でんわサービス	→ P.196
	発信者番号通知	→ P.199
着信拒否	自動着信拒否モード	通話拒否を設定します。
	自動着信拒否リスト	自動着信拒否モードが「着信拒否番号」になっている場合に拒否する番号を設定します。
着信拒否メッセージを設定		拒否メッセージを編集／設定します。

項目		説明
通話通知	応答時のバイブ	→ P.164
	通話状況通知音	→ P.164
	通話中にイベント通知	→ P.164
通話応答／通話終了	ホームキーで応答	ホームキーを押して着信に応答するかどうかを設定します。
	自動応答	ヘッドセットに接続した状態で自動応答をするかどうかを設定します。
	電源キーで通話終了	電源キーを押して通話を終了するかどうかを設定します。
近接センサー ON		通話中にバックライトをオフにするかどうかを設定します。
追加サービス	USSD登録	→ P.202
	応答メッセージ登録	→ P.203

サウンド

着信音やバイブレーションなどを設定します。

項目		説明
音量		→ P.172
バイブの強度設定		バイブレーションの強度を設定します。
マナーモード		→ P.174
着信音と通知	電話着信音	着信音を設定します。
	標準通知音	通知音を設定します。
	着信時バイブ	→ P.173
システム	キーパッド操作音	キー操作時の音を設定します。
	タッチ操作音	→ P.173
	画面ロック音	画面ロック／ロック解除時の音のON ／ OFFを設定します。
	GPS通知	GPS 機能使用時の通知音のON ／ OFFを設定します。

項目		説明
システム	アプリケーション、タッチ操作	[メニューキー]、[戻るキー]やキーパッド画面の数字キーなどをタップしたときのバイブレーションのON／OFFを設定します。

画面

画面の明るさや表示方法などを設定します。

項目		説明
画面表示	ホーム画面の壁紙	ホーム画面の壁紙を設定します。
	画面ロック時の壁紙	画面ロック時の壁紙を設定します。
	時計	ロック画面に時計を表示するかどうかを設定します。
	天気予報	ロック画面に天気予報を表示するかどうかを設定します。
	天気設定	天気予報にチェックを付けると設定できます。天気予報の更新間隔と温度計の単位を設定します。
	時計と天気の位置設定	表示する時計と天気の位置を設定します。
	ヘルプテキスト	ロック画面にヘルプテキスト表示するかどうかを設定します。

項目		説明
一般	明るさ	→ P.107
	画面モード	画面のモードを設定します。
	画面の自動回転	本端末の向きに合わせて縦横表示を自動的に切り替えます。
	画面のタイムアウト	画面の表示が消えるまでの時間を設定します。 • 設定時間の約6秒前に画面が少し暗くなってお知らせします。
	フォントスタイル	フォントのスタイルを設定します。
	バッテリー残量を表示	バッテリーの残量（%）をインジケータに表示します。
	タッチキーライト点灯時間	キーバックライトの消灯時間を設定します。
	省エネモード	省エネモードのON ／ OFFを設定します。
	水平調整	加速度計を使用して水平較正を行います。
	ジャイロスコープの調整	内蔵の加速度センサーを利用して本端末の水平補正をします。

省電力モード

省電力モードに関する設定をします。本端末には、動作性能を自動で調整してバッテリーの消耗を抑える「省電力モード（システム）」と、バッテリー残量に応じて省電力モードのON ／ OFFを切り替える「省電力モード（カスタム）」の2種類が搭載されています。

■ 省電力モード（システム）

項目	説明
省電力モード（システム）	処理性能、画面の明るさ、描画速度を調整し、バッテリーの消耗を抑えます。

■ 省電力モード（カスタム）

<table>
<tr><th colspan="3">項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td colspan="3">省電力モード（カスタム）</td><td>バッテリー残量が設定した値以下になると、詳細設定した省電力モードが有効になります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">省電力モード（カスタム）詳細設定</td><td colspan="2">省電力モードへの移行</td><td>省電力モードに切り替える目安になる電池残量を設定します。</td></tr>
<tr><td>省電力モード設定</td><td>Wi-FiをOFF</td><td>接続している場合を除き、Wi-FiをOFFにします。</td></tr>
</table>

項目			説明
省電力モード（カスタム）詳細設定	省電力モード設定	BluetoothをOFF	使用している場合を除き、BluetoothをOFFにします。
		GPSをOFF	使用している場合を除き、GPSをOFFにします。
		データ同期をOFF	サーバー同期中を除き、データ同期をOFFにします。
		明るさ	画面の明るさを調節するかどうかを設定します。
		明るさ	画面の明るさ調整設定がONのとき、明るさのレベルを5段階で設定できます。
		画面のタイムアウト	画面バックライトを消灯するまでの時間を設定します。

■ 省電力のヒント

項目	説明
省電力について	省電力モード設定の各内容に関する説明を表示します。

ストレージ

microSDカードや本端末のメモリ容量の確認や、microSDカードの初期化をします。

項目		説明
システムメモリ（本体）	合計容量	システムメモリの合計データ容量を表示します。
	アプリケーション	システムメモリのうち、アプリケーションが占める容量を表示します。
	使用可能	システムメモリの空き容量を表示します。
ユーザーメモリ（本体）	合計容量	本端末のデータ容量を表示します。
	アプリケーション	ユーザーメモリ（本体）のうち、アプリケーションが占める容量を表示します。
	画像、動画	ユーザーメモリ（本体）のうち、画像と動画が占める容量を表示します。
	音楽ファイル	ユーザーメモリ（本体）のうち、音楽ファイルが占める容量を表示します。
	ダウンロード履歴	ユーザーメモリ（本体）のうち、ダウンロードしたファイルが占める容量を表示します。

項目		説明
ユーザーメモリ（本体）	その他のファイル	ユーザーメモリ（本体）のうち、アプリケーションや音楽ファイル以外のデータが占める容量を表示します。
	使用可能	本端末のメモリの空き容量を表示します。
	ユーザーメモリ（本体）の初期化	音楽や画像など、本端末のユーザーメモリ（本体）を消去します。
外部SDカード	合計容量	microSDカードの合計データ容量を表示します。
	使用可能	microSDカードのメモリの空き容量を表示します。
	外部SDカードのマウント解除※1／外部SDカードのマウント※2	microSDカードのマウントを解除／SDカードを認識させます。
	外部SDカードを初期化※3	→P.54

項目		説明
ユーザーメモリ（本体）	使用可能	本端末のメモリの空き容量を表示します。
	ユーザーメモリ（本体）の初期化	音楽や画像など、本端末のユーザーメモリ（本体）を消去します。
外部SDカード	合計容量	microSDカードの合計データ容量を表示します。
	使用可能	microSDカードのメモリの空き容量を表示します。
	外部SDカードのマウント解除※1／外部SDカードのマウント※2	microSDカードのマウントを解除／SDカードを認識させます。
	外部SDカードを初期化※3	→ P.54

※1 microSDカードを取り付けている場合のみ表示されます。
※2 microSDカードを取り付けていない場合設定できません。
※3 「外部SDカードのマウント」ができた場合に表示されます。

バッテリー

アプリケーションごとの電池使用の割合を表示します。各項目をタップすると詳細が表示され、電池消費を抑えるための設定変更もできます。

アプリケーション

インストールされているアプリケーションの管理と削除を行います。

項目	説明
ダウンロード済み	本端末にインストールしたアプリケーションの一覧が表示されます。アプリケーション名をタップすると、バージョン情報やメモリ使用状況の確認、強制停止、アンインストールなどができます。
外部SDカード	外部SDカードにインストールしたアプリケーションの一覧が表示されます。アプリケーション名をタップすると、バージョン情報やメモリ使用状況の確認、強制停止、アンインストールなどができます。
実行中	使用中のサービス／キャッシュしたプロセスの一覧が表示されます。サービス名／キャッシュしたプロセス名をタップする→「停止」をタップすると、サービスを停止します。
全て	全ての機能やアプリケーションの一覧が表示されます。機能またはアプリケーション名をタップすると、バージョン情報やメモリ使用状況の確認、強制停止、ビルトインアプリの無効、データの削除などができます。

お知らせ

- 「ダウンロード済み」／「外部SDカード」／「全て」タブで → 「サイズ順」／「名前順に表示」をタップすると、一覧の表示方法を変更できます。
- 「実行中」タブで、画面下部の「使用中のサービスを表示」／「キャッシュしたプロセスを表示」をタップすると、一覧の表示内容を切り替えることができます。

アカウントと同期

各アプリケーションやオンラインサービスの同期方法を設定します。

同期の設定を行う

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「アカウントと同期」

2「アカウントと同期」をONにする

- 「全てを同期」をタップすると、ログインされているすべてのアカウントのデータを一括で同期できます。

3 いずれかのアカウントをタップする

4 設定したい項目にチェックを付ける

- 「今すぐ同期」をタップすると、チェックが付いている項目のデータを同期できます。

アカウントを設定する

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「アカウントと同期」

2「アカウントを追加」→ 追加したいアカウントの種類をタップする

3 画面の指示に従って設定する

FacebookやMySpaceなどログインが必要なオンラインサービスの場合は、メールアドレスやパスワードなどを入力して「ログイン」をタップします。

お知らせ

- 登録済みのアカウントを修正する場合は、アカウントを削除してから登録し直してください。
- 同期させる項目を変更するには、変更するアカウントをタップする → 同期させる項目のみチェックを付けます。
- 手動で同期させる場合は、同期するアカウントをタップする →「今すぐ同期」をタップします。

Samsungアカウントについて

Samsungアカウントを設定すると、本端末だけでソフトウェア更新をするとき、パスワードを入力するだけで実行できるようになります。また、SamsungDiveを利用して、本端末をリモートコントロールすることもできます。

- Samsungアカウントは、設定メニュー画面で「アカウントと同期」→「アカウントを追加」→「Samsungアカウント」をタップして、画面の指示に従って設定します。
- SamsungDiveの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
  http://www.samsungdive.com

お知らせ

- Samsung アカウントを設定すると、「工場出荷状態に初期化」（P.240）を実行できません。「工場出荷状態に初期化」を実行する場合は、Samsungアカウントを削除してから操作してください。
- Samsungアカウントの削除には、Samsungアカウントのパスワードが必要になるため、設定したパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。また、パスワードを忘れた場合は、ドコモショップ窓口までお問い合わせください。

mixiやTwitterなどのアカウントを設定する

Facebook、Twitter、MySpace、Google、mixiなどオンラインサービスのアカウントを設定し、本端末と各種サービスのサーバーとの間でデータの同期や送受信ができます。

- Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントを設定し、Microsoft Exchange Server 2007（および以前のバージョン）と同期させることもできます。

お知らせ

- 各アカウントの設定は、インターネットに接続できる環境で行ってください。
- 本端末をご利用になる国・地域によっては、自動同期などの機能が利用できない場合があります。
- 各アカウントの取得方法については、以下のホームページをご覧ください。
  - docomoアカウント：
    http://www.nttdocomo.co.jp/
  - Windows Live Hotmailアカウント：
    http://windowslive.jp.msn.com/
  - Yahoo! メールアカウント：
    http://www.yahoo.co.jp/
  - Facebookアカウント：
    http://www.facebook.com/
  - Twitterアカウント：
    http://www.twitter.com/
  - MySpaceアカウント：
    http://www.myspace.com/
  - Googleアカウント：
    http://www.google.co.jp/
  - LinkedInアカウント：
    http://www.linkedin.com
  - mixiアカウント：
    http://mixi.jp/
- Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントを設定する場合は、設定情報などについてネットワーク管理者にお問い合わせください。

アカウントを削除する

登録したアカウントを削除すると、本端末に保存されたアカウントのデータ（メッセージや連絡先、設定など）も削除されます。

- サーバーに保存されたデータは削除されません。

1 ホーム画面で ▭ →「設定」→「アカウントと同期」

2 削除したいアカウントをタップする →「アカウントを削除」→「アカウントを削除」

お知らせ

- 登録済みのアカウントを修正する場合は、アカウントを削除してから登録し直してください。
- 同期させる項目を変更するには、変更するアカウントをタップする → 同期させる項目のみチェックを付けます。
- 手動で同期させる場合は、変更するアカウントをタップする →「今すぐ同期」をタップします。

位置情報サービス

位置情報検索やGPS機能に関する設定をします。

項目	説明
Google位置情報サービス	→ P.380
GPS衛星	→ P.380
位置情報履歴	検出した位置情報（最大100件）の履歴を保存します。
センサー補助を使用	→ P.381
位置情報とGoogle検索	Googleに位置情報データの使用を許可するかどうかを設定します。

セキュリティ

セキュリティに関する設定をします。

項目		説明
画面のセキュリティ	画面ロック	→ P.235
	オーナー情報	ロック画面にオーナー情報を表示するかどうかを設定します。
暗号化	端末の暗号化※	本端末内のデータ（アプリケーション、ファイルなど）を暗号化します。 暗号化を行うと、本端末の電源を入れるたびにパスワードの入力が必要になります。 • 端末の暗号化には時間がかかります。十分に充電された状態で開始し、暗号化が完了するまで本端末の充電を継続してください。 • 暗号化を解除する場合は、ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「セキュリティ」→「端末を復号」をタップし、画面の指示に従って操作してください。

項目		説明
暗号化	外部SDカードを暗号化※	microSDカードに保存されているデータを暗号化し、他の端末やパソコンで使用できないようにします。 • 暗号化を解除する場合は、ホーム画面で →「設定」→「セキュリティ」→「外部SDカードを暗号化」→解除したい項目のチェックを外し、画面の指示に従って操作してください。

項目		説明
端末捜索	SIM変更アラート	ドコモUIMカードが変更されたときに他の携帯電話にSMSを送信します（P.108）。
	アラートメッセージの受信者	ドコモUIMカードが変更されたときに送信するメッセージや受信者を追加／編集します。
	リモートコントロール	遠隔で端末のロック、データの削除、追跡ができます。 詳細についてはhttp://www.samsungdive.comを参照してください。
	SamsungDive Webページ	http://www.samsungdive.comに接続します。

項目		説明
SIMカードロック	SIMカードロックを設定	→ P.234
パスワード	パスワードを表示	パスワードの入力画面で、入力した文字を表示するかどうかを設定します。
デバイス管理	デバイス管理機能	グループウェアのアカウントなどを設定し、本端末にデバイス管理機能がインストールされている場合に、デバイス管理ポリシーを設定します。
	提供元不明のアプリ	Google Playで提供されるアプリケーション以外のアプリケーションのインストールを許可する／しないを設定します。

項目		説明
認証情報ストレージ	信頼できる認証情報	証明書やその他の認証情報へのアクセスをアプリケーションに許可します。
	ストレージからインストール	ユーザーメモリ（本体）から証明書をインストールします。
	証明書を消去	すべての証明書データを削除します。

※ 画面ロック（P.235）を「パスワード」に設定すると、本機能を利用できます。「パスワード」は英数字を含む6～16桁の文字で設定してください。

本端末で利用する暗証番号について

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末の画面ロック用パスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- 入力した画面ロック用PIN／パスワード、ネットワーク暗証番号、PINコード、PINロック解除コード（PUK）は、「●」で表示されます。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でお申し込みされたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

画面ロック用PIN／パスワード

本端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたは総合お問い合わせ先でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字４桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」※の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
なお、dメニューからは、dメニュー →「お客様サポートへ」→「各種設定・お手続き」からお客様ご自身で変更ができます。
※「My docomo」、「お客様サポート」については、P.481をご覧ください。

PINコード

ドコモUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
PINコードは、第三者による本端末の無断使用を防ぐため、ドコモUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する４～８桁の番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となるように設定できます。

- 新しく本端末を購入されて、現在ご利用中のドコモUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使用できなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」（PUK）を入力してロックを解除してから、PINコードの再設定を行ってください。

  PINロック解除コード（8桁）を入力 →「OK」→ 新しいPINコードを入力 →「OK」→ 再度PINコードを入力 →「OK」をタップします。

PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモUIMカードがロックされます。ロックされた場合は、ドコモショップ窓口までお問い合わせください。
- 日本国内ではPINロック解除コード入力画面で「緊急通報」をタップしても110番／119番／118番に発信できません。

PINコードを設定する

本端末の電源を入れたときにPINコードを入力しないと使用できないように設定できます。

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「セキュリティ」→「SIMカードロックを設定」→「SIMカードロック」→ PINコードを入力 →「OK」

- 「SIMカードロック」にチェックが付きます。

お知らせ

- 日本国内ではPINコード入力画面で「緊急通報」をタップしても110番／119番／118番に発信できません。

PINコードを変更する

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「セキュリティ」→「SIMカードロックを設定」→「SIMカードロック」→ PINコードを入力 →「OK」

- 「SIMカードロック」にチェックが付きます。

2 「SIM PINの変更」→ 画面の指示に従って現在のPINコードと新しいPINコードを入力

画面ロックの解除方法を設定する

画面ロックの解除時に、あらかじめ設定しておいたロック解除パターンやPIN、パスワードをタッチスクリーンで入力しなければならないように設定できます。また、フェイスアンロック機能を使用して顔認証により画面ロックを解除することもできます。

1 **ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「セキュリティ」→「画面ロック」**

2 **「スワイプ」/「フェイスアンロック」/「パターン」/「PIN」/「パスワード」→ 画面の指示に従って入力する**

- 「パターン」の設定時に、「バックアップPIN」を設定する必要があります。パターンを忘れた場合、バックアップPINを入力することで画面ロックを解除することができます。
- 「バックアップPIN」/「PIN」は4つ以上の数字、「パスワード」はアルファベットを含む4つ以上の文字で設定してください。

お知らせ

- 画面ロックをオフにするには、ホーム画面で ▭ →「設定」→「セキュリティ」→「画面ロック」→ パターン／ PIN ／パスワードを入力 →「なし」をタップします。
- 解除パターンやPIN、パスワードの入力に5回失敗すると、30秒後に再度入力するようメッセージが表示されます。解除パターンを忘れた場合は、再入力の画面で「パターンを忘れた場合」をタップして、本端末に設定したGoogleアカウントにサインインするか、バックアップPINを入力すると、画面ロックを解除できます。PINやパスワード、バックアップPINを忘れた場合は、画面ロックの解除ができませんのでご注意ください。

言語と文字入力

使用する言語とキーボードの入力方法を設定します。

項目	説明
言語	使用する言語を設定します。

■ キーボードと入力方法

項目	説明
デフォルト	入力方法を設定します。
Google音声入力	Google音声検索時に入力する言語の設定や不適切な語句の検索結果を非表示にすることができます。
Samsung keypad	→P.123
Samsung日本語キーパッド	→P.117
Swype	→P.121

■ 音声

項目			説明
音声検索	言語		Google音声検索時に入力する言語を設定します。
	セーフサーチ		画像やテキストのアダルトフィルタを設定します。
	不適切な語句をブロック		不適切な語句の検索結果を非表示にします。
音声読み上げ出力	優先TTSエンジン		インストールされている音声合成エンジンについて設定します。
	一般	音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
		サンプル試聴	音声合成のサンプルを再生します。
		ドライブモード	チェックを付けると、着信時や通知を自動的に読み上げます。
		ドライブモード設定	ドライブモードを設定します。

■ マウス／トラックパッド

項目	説明
ポインター速度	ポインターの早さを調整します。

バックアップとリセット

Googleアプリケーションのバックアップ設定や本端末のリセットを行います。

項目		説明
バックアップと復元	データのバックアップ	Googleアプリケーションの設定やデータをGoogleサーバーにバックアップします。
	アカウントのバックアップ	Googleサーバーにバックアップするアカウントを設定します。
	自動復元	アプリケーションの再インストール時に、バックアップした設定およびデータを復元します。

項目		説明
個人データ	工場出荷状態に初期化	本端末をお買い上げ時の状態にリセットします。 ・microSDカードに保存されているデータは削除されません。削除する場合は、「外部SDカードを初期化」（P.54）を行います。 ・microSDカードに保存されているデータを暗号化している場合は、暗号化を解除してから（P.227）、本端末の初期化を行ってください。暗号化したデータが使用できなくなります。

ドック設定

項目	説明
オーディオ出力モード	卓上ホルダ SC01（別売）とドッキングしたときに外部スピーカーを使用するかどうかを設定します。

日付と時刻

お買い上げ時は「自動」（ネットワーク上の日付・時刻情報を自動的に取得して補正）に設定されています。日付・時刻を手動で設定するには、「自動」のチェックを外してから設定を行います。

項目	説明
自動日時設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を基にして、自動的に補正します。
自動タイムゾーン	ネットワーク上のタイムゾーン情報を基にして、自動的に補正します。
日付設定※	年月日を設定します。
時刻設定※	時刻を設定します。
タイムゾーンを選択	タイムゾーンを設定します。
24時間形式を使用	時刻を24時間表記に切り替えます。
日付の表示形式を選択	年月日の表記方法を切り替えます。

※Googleアカウントを設定していると、日付・時刻情報が自動的に補正されることがあります。

ユーザー補助

通話終了時の動作や、ユーザーの操作に音や振動で反応するユーザー補助アプリケーションを設定します。

項目		説明
サービス	TalkBack	本端末から入力する全テキストの収集をアプリケーション（TalkBack）に許可するかどうかを設定します。
システム	電源キーで通話終了	通話の終了を電源／終了ボタンで行えるように設定します。
	画面の自動回転	本端末の縦／横の向きや傾きを感知して、自動的にディスプレイの表示方向を切り替えます。
	音声パスワード	音声でパスワードが入力できるように設定します。
	長押しの調整	長押しの長さを調整します。
	Webスクリプトインストール	GoogleからWebコンテンツのスクリプトをインストールすることをアプリケーションに許可するかどうかを設定します。

お知らせ

- ユーザー補助を設定したい場合は、あらかじめGoogle Playから対応するアプリケーションをダウンロードしてください。
- 「ユーザー補助サービス」（TalkBack）の使用を許可すると、クレジットカード番号などの個人情報、ユーザーインターフェースでのやりとりなども記録されますので、ご注意ください。万が一、登録されたデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

モーション

本体の傾きなどを感知して本端末を操作することができるモーションの設定を行います。

項目	説明
モーション起動	モーションを起動するかどうかを設定します。
チルトでズーム	→ P.70
パンニングで編集	→ P.70
ターンオーバーでミュート	→ P.71

開発者向けオプション

アプリケーション開発時に利用できるオプションを設定します。

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td colspan="2">USBデバッグ</td><td>USB接続時のデバッグモードを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">開発端末ID</td><td>本端末の開発IDを表示します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">擬似ロケーションを許可</td><td>擬似ロケーションを許可するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">デスクトップバックアップパスワード</td><td>デスクトップバックアップのパスワードを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ユーザーインターフェイス</td><td>制限モード</td><td>メインスレッドでアプリを長時間操作した場合、画面を点滅させるかどうか設定します。</td></tr>
<tr><td>ポインターの位置を表示</td><td>タッチした座標をオーバーレイで表示するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td>タッチを表示</td><td>タッチ操作を視覚化して表示するかどうかを設定します。</td></tr>
</table>

項目		説明
ユーザーインターフェイス	画面の更新を表示	画面更新時、フラッシュでエリアを表示するかどうかを設定します。
	CPU使用状況を表示	現在のCPU使用状況をオーバーレイで表示するかどうかを設定します。
	GPUレンダリングを使用	2Dハードウェアアクセラレーションを使用するかどうかを設定します。
	ウィンドウアニメ	アニメーションスケールを設定します。
	トランジションアニメ	アニメーションスケールを設定します。
アプリケーション	アクティビティを破棄	ユーザーが離れたアクティビティを破棄するかどうかを設定します。
	バッググラウンド処理を制限	バッググラウンド処理のプロセス数を制限します。
	全てのANRを表示	バッググラウンドアプリが応答しない場合、通知するかどうかを設定します。

端末情報

電話番号や電波状態、法定情報などの情報を確認できます。

項目		説明
ソフトウェア更新		→ P.448
ステータス		電池残量や電話番号などを表示します。
法定情報	オープンソースライセンス	オープンソースの使用許諾条件を確認します。
	Google利用規約	Googleの利用規約を確認します。
	ライセンス設定	DivX® VOD：登録コードの確認と解除を行います。
モデル番号		型番を確認します。
Androidバージョン		ソフトウェアのバージョンを確認します。
ベースバンドバージョン		
カーネルバージョン		
ビルド番号		

メール／インターネット

Eメールについて

Eメールを設定する

mopera UメールのEメールアカウントや、一般のプロバイダが提供するPOP3やIMAPに対応したEメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。

Eメールを使用するまでの流れ

■ **パケット通信で接続する**
ステップ1：プロバイダに加入する
ステップ2：アクセスポイントを設定する（P.110）
ステップ3：Eメールアカウントを設定する（P.250）
ステップ4：Eメールを作成して送信する（P.254）

■ **Wi-Fiで接続する**
ステップ1：利用形態を決める

- 公衆無線LANサービス／社内LANに接続する場合は、サービス提供者／ネットワーク管理者にお問い合わせいただき、接続に必要な情報を入手してください。
- 家庭内など個人環境で接続する場合は、アクセスポイントを設置し、設置したアクセスポイントの取扱説明書などから接続に必要な情報を入手してください。

ステップ2：Wi-Fiの設定を行う（P.287）
ステップ3：Eメールアカウントを設定する（P.250）
ステップ4：Eメールを作成して送信する（P.254）

お知らせ

- パソコンや他の携帯電話とメールを送受信した場合、利用環境によっては絵文字やHTMLメールなどの内容が正しく表示されない場合があります。
- 本端末でEメールを送受信するとEメールのサーバーと同期が行われ、「受信トレイ」など同期するように設定されている項目は、同期時のサーバーと同じ状態になります。

ご利用料金について

- Eメールの送受信では、画面に表示される文字や画像以外に通信が必要なデータが含まれており、その部分も課金の対象となります。

Eメールアカウントを設定する

メールアドレスとパスワードを入力すると、Eメールアカウントの設定を自動的に取得して設定が行われます。

- 自動で設定できない場合や、手動で設定する場合は、受信設定や送信設定を入力する必要があります。あらかじめ必要なEメールアカウント設定の情報をご用意ください。

1 ホーム画面で「アプリ」→「Eメール」

2件目以降のメールアカウントを設定する場合

ホーム画面で「アプリ」→「Eメール」→ [メニュー] →「アカウント設定」→ [+] をタップします。

2 **メールアドレス、パスワードを入力 →「次へ」**

Eメールアカウントの設定が自動的に取得されます。

- 自動的に設定を取得できず、アカウントタイプの選択画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定を行ってください。

手動で設定する場合

メールアドレス、パスワードを入力 →「手動設定」→ 画面の指示に従って設定します。

プッシュ通知する場合

メールアドレス、パスワードを入力 →「プッシュ通知」にチェックを付ける →「Microsoft Exchange ActiveSync」→ 画面の指示に従ってMicrosoft Exchange ActiveSync関連設定をします。

※ 最初の操作ではプッシュ通知にチェックが付いていますので、アカウントの設定を手動で行う場合にはプッシュ通知のチェックを外してください。

3 **アカウントオプションを設定 →「次へ」**

4 **アカウント名、ユーザー名を入力 →「完了」**

Eメールアカウントを管理する

1 **ホーム画面で「アプリ」→「Eメール」**

Eメール一覧画面が表示されます。

- 複数のEメールアカウントが登録されている場合、画面上部の「受信トレイ／XXXXXX（件数）」をタップして、別のアカウントの一覧表示に切り替えることができます。

2 [メニューキー] →「アカウント設定」→ アカウント名をタップする

3 設定したい項目をタップする

項目		説明
共通設定	アカウント名	アカウント名を変更します。
	ユーザー名※1	ユーザー名を変更します。
	署名を追加	署名を追加するかどうかを設定します。
	署名	署名を登録します。
	Eメールの同期期間※2	Eメールの同期期間を1日／3日／1週間／1か月から選択します。
	メインアカウント	通常のEメールアカウントとして使用するかどうかを設定します。 • チェックを付けると、Eメールアカウント一覧画面の設定したアカウントに [チェック] が表示されます。
	必ず自分にCc／Bccを送信	自分のEメールアドレスをCc／Bccに追加します。
	添付ファイル付きで転送	Eメールの転送時に添付ファイルも送信するかどうかを設定します。

項目		説明
データ使用量※1	新着Eメール自動確認	新着メールを確認する時間の間隔を変更します。
通知設定	Eメール通知	Eメールを受信したときに、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
	通知音	Eメールを受信したときに鳴らす受信音を設定します。
	バイブ	Eメールを受信したときに本端末を振動させるかどうかを設定します。
サーバー設定	受信設定	受信サーバーの設定を変更します。
	送信設定※1	送信サーバーの設定を変更します。
プッシュサービス共通設定※2	予定を同期	スケジュールの同期方法や曜日、時刻に関する設定をします。
	ローミング中	ローミング中の同期方法を設定します。
	バッテリー残量低下時	電池残量が少なくなった場合の同期方法を設定します。

※1 Eメールアカウントを設定する際、「プッシュ通知」のチェックを外した場合に表示されます。
※2 Eメールアカウントを設定する際、「プッシュ通知」にチェックを付けた場合に表示されます。

お知らせ

- Eメール一覧画面で、画面上部の「受信トレイ／XXXXXX（件数）」→「統合表示（件数）」をタップすると、登録したすべてのEメールアカウントの受信メールを一覧で確認できます。
- Eメールアカウントを削除する場合は、Eメール一覧画面で ▭ →「アカウント設定」→ 🗑 → 削除したいEメールアカウントにチェックを付ける → ✕ をタップします。

Eメールを作成して送信する

1 ホーム画面で「アプリ」→「Eメール」→ ✉

- Eメール作成画面が表示されます。

2 送信元欄をタップして、Eメールアドレスを選択する

- 1つのEメールアカウントしか設定していない場合、該当メールのアドレスが表示されます。
- 複数のEメールアカウントを設定している場合、「メインアカウント」にチェックが付いているアカウントのアドレスが表示されます。

3 宛先に送信先のメールアドレスを入力する

- Cc／Bccを追加する場合は、▭ →「Cc／Bccを追加」をタップします。
- 👤 をタップすると「電話帳」「履歴」「グループ」「お気に入り」が表示され、送信履歴や電話帳、電話帳のグループから宛先を選択して入力できます。

4 「件名」欄をタップする → 件名を入力する

5 本文欄をタップする → 本文を入力する

ファイルを添付する場合

→ 添付したいファイルをタップします。

登録済みのデータを引用する場合

をタップします。

本文の入力内容を編集／デコレーションする場合

／ ／ ／ ／ をタップします。

作成中のEメールを下書き保存する場合

→「下書きとして保存」をタップします。

作成中のEメールを削除する場合

→「破棄」をタップします。

6 をタップしてEメールを送信する

受信したEメールを確認する

1 **ホーム画面で「アプリ」→「Eメール」**

Eメール一覧画面が表示されます。

- 複数のEメールアカウントが登録されている場合、画面上部の「受信トレイ／XXXXXX(件数)」をタップして、別のアカウントの一覧表示に切り替えることができます。

2 **→「最新に更新」**

3 **確認したいEメールをタップする**

本文画面が表示されます。

お知らせ

- Eメールを受信すると、ステータスバーになどが表示されます。
- 送信元のメールアドレスをタップすると、「電話帳に追加」／「Eメール送信」の操作ができます。メールアドレスを電話帳に登録している場合は、送信元の名前をタップすると「連絡先を表示」／「Eメール送信」の操作ができます。
- データが添付されている場合は「メッセージ」タブと「○件の添付ファイル」タブが表示されます。「○件の添付ファイル」タブをタップするとファイル名やが表示されます。
  - ファイル名をタップ → 利用したいアプリを選択すると、添付データを確認できます。
  - をタップすると、添付データを本端末に保存できます。

■ Eメール一覧画面／本文画面のメニュー
[menu icon]をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
最新に更新※1	新着Eメールを手動で確認します。
検索※1	Eメールを検索します。
フォルダ※1	フォルダの画面を表示します（Eメールアカウントによって表示されない場合があります）。
ソート※1	Eメールを「日付」／「送信元」／「既読／未読」／「お気に入り」／「ファイル添付」の順に並べ替えます。
表示モード※1	Eメール一覧画面の表示方法を切り替えます。
未読に変更※2	Eメールを未読に変更します。
移動※2	Eメールを選択して他のフォルダ／Eメールアカウントに移動できます。
背景色※2	文字画面の背景色を変更します。
印刷※2	画面／ページをSamsung製のプリンターで印刷できます（一部モデル除く）。
新規作成※2	Eメールを作成します。

項目	説明
文字サイズ	Eメール一覧画面／本文画面の文字サイズを変更します。
アカウント設定	Eメールアカウントの設定を変更（P.251）したり、アカウントを追加／削除することができます。

※1　Eメール一覧画面で表示されます。
※2　本文画面で表示されます。

お知らせ

- Eメール一覧画面でEメールをロングタッチするか、Eメール左側のチェックボックスをタップすると、各種操作のメニューやアイコンを表示できます。

spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しております。spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 **ホーム画面で「spモードメール」→ 画面の指示に従ってspモードメールをインストールする**

Gmailを利用する

Gmailを利用して、Eメールの送受信ができます。

- Gmailを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です。Googleアカウントの設定画面が表示された場合、設定を行ってから操作してください（P.72）。

Gmailを開く

1 **ホーム画面で「アプリ」→「Gmail」**

2 **「受信トレイ」画面で読みたいメールをタップする**

選択したメールの内容が表示されます。

Gmailを作成して送信する

1 **ホーム画面で「アプリ」→「Gmail」**

2 **「受信トレイ」画面で**

メール作成画面が表示されます。

3 **宛先に送信先のアドレスを入力する**

- 複数の相手に送信する場合は、カンマ（,）で区切ります。
- →「Cc／Bccを追加」をタップすると、CcやBccの送信先を入力できます。

4 **「件名」欄に件名を入力する**

5 「メールを作成」欄に本文を入力する

作成中のメールを下書き保存する場合

［↩］をタップします。

下書き保存したメールを編集する場合

「受信トレイ」画面で［ ］→「下書き」→ 編集する下書きをタップします。

※「受信トレイ」画面で、画面上部のアカウント名部分をタップ →「下書き」→ 編集する下書きをタップしても、下書きを編集することができます。

6 ［ ］をタップしてメールを送信する

アカウントを切り替える

1 ホーム画面で「アプリ」→「Gmail」

2 「受信トレイ」画面で、画面上部のアカウント名部分をタップする

3 切り替えるアカウントをタップする

選択したアカウントの受信トレイが表示されます。

お知らせ

- Gmailの詳細については、「受信トレイ」画面で［ ］→「ヘルプ」をタップして、モバイルヘルプをご覧ください。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていない、機内モード中、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中などは受信できません。また、本端末のメモリー容量が少ないときは受信に失敗することがあります。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。

緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用の着信音が鳴りステータスバーに通知アイコンが表示され、受信画面が表示されます。

- 着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- お買い上げ時は、マナーモード設定中でも着信音が鳴ります。鳴動しないように設定できます。

受信したエリアメールを表示する

1. ホーム画面で「アプリ」→「エリアメール」
2. 確認したいエリアメールをタップする

緊急速報「エリアメール」を設定する

受信設定や着信音設定をします。また、受信時の動作確認もできます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「エリアメール」

2 [メニュー] →「設定」

3 項目を設定する

項目		説明
受信設定		エリアメールを受信するかどうかを設定します。
着信音		着信音の鳴動時間、マナーモード（バイブ）設定時も着信音を鳴らすかどうかを設定します。
受信画面および着信音確認		緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報の受信画面と着信音を確認します。
その他の設定	受信登録	利用するエリアメールの登録や削除を行います。

SMSについて

携帯電話番号を宛先にして全角最大70文字（半角英数字のみの場合は160文字）まで、文字メッセージを送受信できるサービスです。

SMSを作成して送信する

1 **ホーム画面で「アプリ」→「SMS」**

スレッド（SMSを送受信した相手）一覧画面が表示されます。

2

SMS作成画面が表示されます。

3 **宛先に送信先の携帯電話番号を入力する**

- 複数の相手に送信する場合は、カンマ（,）で区切ります。
- → 「電話帳」「履歴」「グループ」「お気に入り」をタップすると、履歴や電話帳、電話帳のグループから宛先を選択して入力できます。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください）。

4 「メッセージを入力」欄をタップする → 本文を入力する

顔文字を入力する場合

[メニュー] →「顔文字を挿入」→ 入力したい顔文字をタップします。

登録済みのデータを引用する場合

[メニュー] →「テキストを追加」をタップします。

5 「送信」

作成中のSMSを下書き保存する場合

宛先と本文が入力され、キーボードが表示されていない状態で [戻る] をタップします。

お知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 宛先に“#”または“＊”がある場合、SMSを送信できません。

受信したSMSを確認する

1 **ホーム画面で「アプリ」→「SMS」**

スレッド（SMSを送受信した相手）一覧画面が表示されます。

2 **読みたいスレッドをタップする**

SMS一覧画面が表示されます。

- 受信SMSは黄色の吹き出し、送信SMSは青色の吹き出しで表示されます。

お知らせ

- SMSを受信すると、ステータスバーに [✉] が表示されます。

スレッド一覧画面／SMS一覧画面

[メニュー] をタップすると以下の項目が表示されます。

項目		説明
検索※1		SMSを検索します
設定※1	メッセージの文字サイズ	メッセージの文字サイズを設定します。
	分割表示	横長表示画面で分割表示するかどうかを設定します。

項目			説明
設定※1	保存先設定	自動削除	設定した件数に達したとき、自動的に削除するかどうかを設定します。
		最大SMS件数	最大SMS件数を設定します。
	SMS設定	配信確認	送信ごとに送信通知してもらうかどうかを設定します。
		SIMカード保存メッセージ管理	ドコモUIMカードにコピーしたSMSを確認・削除・本端末にコピーします。
		メッセージセンター	SMSセンターを設定します。
		有効期限	送信するSMSの有効期限を設定します。
	通知設定	通知	SMSを受信したときに、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
		着信音	SMSを受信したときに鳴らす受信音を設定します。
スレッドを削除※1			スレッドを削除します。

項目	説明
顔文字を挿入※2	顔文字を入力します。
発信※2	受信先の電話番号に発信します。
テキストを追加※2	登録済みのデータを引用します。
連絡先に追加※3／連絡先を表示※4	連絡先を追加／表示します。
メッセージを削除※2	SMSを削除します。

※1　スレッド一覧画面で表示されます
※2　SMS一覧画面で表示されます。
※3　登録されていない相手からのSMS一覧画面で表示されます。
※4　登録されてる相手からのSMS一覧画面で表示されます。

本文画面

受信したSMSをロングタッチすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
メッセージを削除	受信したSMSを削除します。
XXXXXXXXXXX（Xは番号）を連絡先に追加※	相手の番号を連絡先に追加します。
本文をコピー	SMSの本文をコピーします。
保護設定／保護解除	誤って削除しないようにSMSを保護／保護解除します。
転送	SMSを転送します。
SIMにコピー	SMSをドコモUIMカードにコピーします。
詳細	タイプ、発信元／宛先、送受信日時、送達通知（配信確認）を表示します。

※ 登録されていない相手からのＳＭＳの場合のみ表示されます。

お知らせ

- SMSはドコモUIMカードに20件までコピーできます。

トーク

Google トークはGoogleのインスタントメッセージプログラムです。Googleアカウントを所有する友だちとチャット（文字によるおしゃべり）ができます。Google トークを利用するには、Googleアカウントを設定する必要があります。

Google トーク利用の準備

Google トークを利用するには、ログインとメンバーの追加が必要です。ただし、すでにGoogleアカウントを設定している場合は、サインインなしでご利用になれます。

Google トークにログインする

1 ホーム画面で「アプリ」→「トーク」
- 設定しているGoogleアカウントが表示されます。

お知らせ

- Googleアカウントの設定が完了していないと「Googleアカウントを追加」画面が表示されます。表示に従って操作してください。Googleアカウントをお持ちでない場合には、アカウントの取得操作もできます。
- 詳しくは ▭ →「ヘルプ」をタップしてトークヘルプをご覧ください。

チャットする

1 ホーム画面で「アプリ」→「トーク」

2 チャット相手のアカウントをタップする

- チャット画面が表示されます。

3 「メッセージを入力」ボックスをタップ → 文字を入力して をタップしてメッセージを送信する

- 文字ボックスに入力した内容が送信されます。

ウェブブラウザ

ウェブブラウザを使用する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。

- ウェブページによっては、表示できない場合や、正しく表示されない場合があります。

ウェブブラウザを起動する

1 **ホーム画面で「ブラウザ」**

ウェブブラウザが起動し、ホームページに設定されているウェブページ（お買い上げ時はdメニュー（http://smt.docomo.ne.jp/）が表示されます

ブラウザ画面

① **アドレスバー**
ウェブページのURLや検索したいキーワードをここに入力します。

② **ブックマーク／履歴／保存したページ**
ブックマークの一覧／履歴の一覧／保存したページを表示します（P.279）。

③ **ウィンドウの切り替え**

ウェブブラウザを終了する

1 **□を1秒以上押す→「タスクマネージャ」→「ブラウザ」の「終了」**

- ブラウザ画面で□を押したり、□をタップしたりしてホーム画面に戻っても、ブラウザは終了しません。

お知らせ

- ブラウザ画面で次の操作ができます（表示中のウェブページにより操作できない場合があります）。
  - 拡大／縮小：拡大／縮小したい位置で2本の指の間隔を広げる／狭める
  - フレームで区切られた箇所を拡大／縮小：拡大／縮小したい位置でダブルタップする
  - スクロール：スクロール／フリックする
  - 前の画面に戻る：□をタップする
  - 拡大鏡の使用：画面をロングタッチする（文字がたくさんある箇所でのみ使用可能）
  - テキストのコピー：画面のリンクが貼られていない場所をロングタッチ→スライダーを上下左右にドラッグして、コピーしたいテキスト範囲を選択→□
  - テキストの検索：画面のリンクが貼られていない場所をロングタッチ→スライダーを上下左右にドラッグして、検索したいテキスト範囲を選択→□→「検索」／「Web検索」
  - テキストの共有：画面のリンクが貼られていない場所をロングタッチ→スライダーを上下左右にドラッグして、共有したいテキスト範囲を選択→□→共有する方法をタップする

ウェブページのリンクを操作する

1 ブラウザ画面でリンクをロングタッチする

2 利用したい項目をタップする

項目	説明
開く	ウェブページを開きます。
新規ウィンドウで開く	ウェブページを新しいウィンドウで開きます。
リンクを保存	ウェブページを本端末／microSDカードに保存します。
URLをコピー	URLをコピーします。
テキストを選択	選択したテキストをコピー／共有したり、本端末内またはWeb上で検索することができます。
画像を保存	画像を本端末／microSDカードに保存します。
画像をコピー	画像をクリップボードにコピーします。
画像を表示	画像を表示します。
壁紙に設定	画像をホーム画面の壁紙に設定します。

お知らせ

- 表示中のウェブページにより、リンク操作のメニューが表示されない場合や、表示される項目が異なる場合があります。

ブラウザ画面のメニュー

[メニューキー] をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
更新／停止	ウェブページの情報を更新／更新を停止します。
進む	[戻るキー] をタップしてウェブページを表示中の場合に、直前のウェブページに進みます。
ブックマーク登録	ウェブページをブックマークに追加します（P.278）。
ページを共有	ウェブページをBluetooth機能／Eメール／Gmail／SMSなどで送信します。
ページ内検索	ウェブページ内のテキストを検索します。
デスクトップ版を表示	モバイル版／PC版ウェブページに切り替えるかどうかを設定します。
オフライン用に保存	表示中のウェブページを保存します。

項目	説明
明るさ	画面の明るさを設定します。
ダウンロード履歴	ダウンロード済みやダウンロード中のデータの情報を確認します。
印刷	Samsungプリンターを利用して、ブラウザ画面を印刷します(一部モデル除く)。
設定	ウェブブラウザの設定を行います（P.281）。

履歴やブックマークを管理する

履歴からウェブページを表示する

1 ホーム画面で「ブラウザ」

2 → 「履歴」タブ／「保存したページ」タブ

履歴の一覧が表示されます。

- 「履歴」タブには、閲覧日時の新しい順に履歴が表示されます。また、「よく見るページ」欄には、閲覧回数の多い順に履歴が表示されます。
- 履歴の（グレー）をタップすると、ブックマークに追加できます。ブックマークに追加済みの履歴には（黄）が表示されます。
- 「保存したページ」タブには、オフライン用に保存したウェブページの一覧が表示されます。

3 表示したいウェブページをタップする

お知らせ

- 「履歴」タブの履歴の一覧で → 「履歴を消去」→「ＯＫ」をタップすると、履歴をすべて消去できます（「よく見るページ」欄を含む）。

ウェブページをブックマークに追加する

1 ホーム画面で「ブラウザ」

2 ブックマークに追加するウェブページを表示 → [icon] →「ブックマーク登録」

3 ブックマークの名前を確認／変更 →「フォルダ」欄をタップする → 登録したいフォルダをタップする → [icon] をタップする。

ブックマークからウェブページを表示する

1 ホーム画面で「ブラウザ」

2 [icon] →「ブックマーク」タブ

ブックマークの一覧が表示されます。

3 表示したいウェブページをタップする

お知らせ

- ブックマークの一覧で [icon] をタップすると、次の項目が表示されます。
  - 「リスト表示」／「サムネイル表示」：一覧の表示方法を変更します。
  - 「フォルダ作成」：フォルダを作成します。
  - 「並べ替え」：ブックマークの一覧の表示順を変更できます。
  - 「フォルダに移動」：ブックマークの保存先を変更できます。
  - 「削除」：ブックマークを削除します。

■ ブックマーク／履歴／保存したページ

ブックマーク／ブックマークのフォルダ／履歴／保存したページをロングタッチすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
開く※1※2	表示中のウィンドウでウェブページを開きます。
新規ウィンドウで開く※1※2	新しいウィンドウでウェブページを開きます。
ブックマークを編集※1	ブックマークの名前／URLを編集したり、保存先フォルダを変更できます。
ホームにショートカットを追加※1	ブックマークのショートカットをホーム画面に作成します。
ブックマーク登録※2	ブックマークに追加します。
ブックマークから削除※2	ウェブページがブックマークに追加されている場合に、ブックマークから削除します。
リンクを共有※1※2	ウェブページのURLを、Bluetooth機能／Eメール／Gmail／SMSなどで送信します。

項目	説明
URLをコピー※1※2	ウェブページのURLをコピーします。
ブックマークを削除※1	ブックマークを削除します。
履歴から削除※2	ウェブページを履歴から削除します。
ホームページに設定※1※2	ウェブページをホームページとして設定します。
フォルダ名を編集※1	作成したフォルダの名前を編集します。
フォルダを削除※1	作成したフォルダとフォルダ内のブックマークを削除します。
保存したページを削除※3	保存したページを削除します。

※1　ブックマークの一覧で表示されます。
※2　履歴の一覧で表示されます。
※3　保存したページの一覧で表示されます。

ウェブブラウザを設定する

1 ホーム画面で「ブラウザ」

2 →「設定」

3 設定したい項目をタップする

項目			説明
一般	ホームページを設定		ホームページを設定します。
	自動入力	フォームの自動入力	1回のタップでWebフォームに入力するかどうかを設定します。
		自動入力テキスト	Webフォームに自動入力するテキストを設定します。
プライバシーとセキュリティ	キャッシュを消去		キャッシュデータを消去します。
	履歴を消去		閲覧履歴を消去します。
	セキュリティ警告を表示		ページの安全性に問題がある場合に警告を表示します。

項目			説明
プライバシーとセキュリティ	Cookie設定	Cookieを許可	Cookieの保存・読み取りを許可します。
		Cookieを消去	保存されたCookieを消去します。
	文字入力履歴	文字入力履歴を保存	ページに入力した文字情報を保存します。
		文字入力履歴を消去	保存された文字情報を消去します。
	位置	位置情報を有効	本端末の位置情報へのアクセスを許可します。
		位置情報を消去	本端末の位置情報を消去します。
	パスワード	パスワードを保存	ページに入力したユーザー名・パスワードを記憶させます。
		パスワードを消去	記憶されたユーザー名・パスワードを消去します。

項目		説明
ユーザー補助	拡大縮小設定の上書き	Webサイトの拡大／縮小要求を上書きします。
	テキストサイズ	Webサイトテキストの拡大／縮小率、ダブルタップ時のズーム率、最小フォントサイズを設定します。
	画面の反転レンダリング	画面反転レンダリングの有効／無効とコントラストを設定します。
詳細設定	検索設定	検索エンジンを設定します。
	バックグラウンドに表示	新規ウィンドウを表示中のウィンドウの後ろに表示します。
	Javaスクリプトを有効にする	JavaScriptを有効にします。
	プラグインを有効にする	プラグインを有効にします。
	保存先	ダウンロードしたデータの保存先を設定します。
	サイト設定	位置情報にアクセスしたページなどの詳細情報を表示します。

項目			説明
詳細設定	ページコンテンツ	表示倍率	ページの表示倍率を設定します。
		全体を表示	新しく開いたページを全体表示します。
		ページに自動で合わせる	画面サイズに合わせてページを表示します。
		ポップアップをブロック	ポップアップウィンドウをブロックします。
		文字コード	文字エンコードを設定します。
	初期状態にリセット	初期値にリセット	データ消去と設定リセットを行い、ブラウザをお買い上げ時の状態に戻します。
帯域幅の管理	検索結果をプリロード		検索結果のプリロード状態を設定します。
	画像を読み込む		ウェブページに画像を表示するかどうかを設定します。

項目		説明
Labs	クイックコントロール	画面の左端または右端からスワイプでクイックコントロールを開き、アプリケーションとURLバーを非表示します。
	全画面表示	ステータスバーを非表示にして、フルスクリーンモードを使用します。

Wi-Fiを利用する

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワークの無線アクセスポイントに接続できます。また、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

■ Bluetooth機能との電波干渉について

本端末の無線LANとBluetooth機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、無線LANとBluetooth機能を近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。

1. 無線LANとBluetoothデバイスは、20m以上離してください。
2. 20m以内で使用する場合は、Bluetoothデバイスの電源を切ってください。

お知らせ

- Wi-Fi機能がオンのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的に3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用される場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。

Wi-Fiを有効にしてネットワークに接続する

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「Wi-Fi」

2 「Wi-Fi」をONにする

利用可能なWi-Fiネットワークのスキャンが自動的に開始され、一覧表示されます。

3 接続したいWi-Fiネットワークをタップする→「接続」

セキュリティで保護されているネットワークに接続する場合は、パスワード（セキュリティキー）を入力し、「接続」をタップします。

お知らせ

- 一度接続したネットワークのパスワード（セキュリティキー）は自動的に保存され、次回の接続時の入力は不要になります。

Wi-Fiネットワークの接続を解除する

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」

2 「Wi-Fi」をOFFにする

アクセスポイントを設定する

- 接続に必要な情報は、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。社内LANに接続する場合や公衆無線LANサービスをご利用の場合は、接続に必要な情報をネットワーク管理者またはサービス提供者から入手してください。
- 無線LANアクセスポイントが、MACアドレスを登録している機器のみと接続するように設定されているときは、本端末のMACアドレスを無線LANアクセスポイントに登録してください。MACアドレスは、Wi-Fi設定画面で [メニュー] →「詳細設定」→「MACアドレス」で確認できます。

1 **ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「Wi-Fi」**

2 **「Wi-Fi」をONにする**

3 **「ネットワークの追加」**

4 **ネットワークSSIDを入力し、セキュリティを設定→「保存」**

利用可能な認証方法は「なし」「WEP」「WPA/WPA2 PSK」「802.1x EAP」です。

Wi-Fiの詳細設定をする

Wi-Fiオープンネットワークを通知する

利用可能なオープンネットワークが近くに存在している場合に通知するかどうかを設定します。

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「Wi-Fi」

2 「Wi-Fi」をONにする

3 [メニュー] →「詳細設定」→「ネットワーク通知」にチェックを付ける

Wi-Fiのスリープ設定をする

本端末の画面がオフに切り替わったときにWi-Fiを無効にしたり、充電時には常に有効になるように設定したりできます。

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「Wi-Fi」

2 「Wi-Fi」をONにする

3 [メニュー] →「詳細設定」→「スリープ中のWi-Fi接続」→ スリープ設定を選択する

Wi-FiでSamsung Kiesに接続する

Wi-Fiを使ってパソコンと接続し、Samsung Kiesに接続できます。

1 **ホーム画面で ⊟ →「設定」→「その他...」→「Wi-Fi Kies接続」**

- すでにWi-Fiに接続している場合、手順2からの操作になります。

2 **「更新」→ 検索されたデバイス名をタップする**

- パソコンで本端末が認識されたら、Samsung Kies画面上で「許可」をクリックします。

お知らせ

- パソコンで本端末を認識するには、Samsung Kiesを起動させる必要があります。（P.335）
- 必ずパソコンと本端末を同じネットワークに接続してください。

Wi-Fi Direct設定

Wi-Fi Direct対応デバイス同士を接続し、データのやりとりができます。

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「その他...」→「Wi-Fi Direct」

2 「Wi-Fi Direct」をONにする

デバイスのスキャンが自動で開始されます。

- Wi-FiをOFFにするメッセージ画面が表示されたら、「OK」をタップします。
- デバイスのスキャンが自動で開始されない場合、または検索結果を更新したい場合、画面下部の「スキャン」をタップします。

3 検索されたデバイス名をタップする

- 相手機器に接続を促すメッセージ画面が表示されます。相手が接続を承認すると、自動で接続されます。
- [メニュー] →「デバイス名称」／「ヘルプ」をタップして、デバイス公開時の名称を変更したり、ヘルプを表示することができます。

機内モード

すべてのワイヤレス接続を無効にします。

1 **ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「その他...」→「機内モード」をチェックする →「OK」**

お知らせ

- [電源キー] を1秒以上押して、表示される端末オプション画面からオプションメニューから「機内モード」をタップしても設定を切り替えることができます。
- 「機内モード」にチェックを付けるとWi-FiもOFFになりますが、機内モード中に再びWi-FiをONにすることができます。病院、飛行機、電車の優先席付近など、電波の使用を禁止された区域では、Wi-Fiを使用しないでください。

テザリングを利用する

テザリングとは一般に、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、無線LAN対応機器、USB対応機器をインターネットに接続させることをいいます。

USBテザリングを設定する

本端末とパソコンをPC接続用USBケーブル（試供品）と接続し、インターネットに接続することができます。

- USBテザリングを行うには、専用のドライバが必要です。専用のドライバのダウンロードやその他詳細については、以下のホームページをご覧ください。

  http://www.samsung.com/jp/support/download.html

1 **本端末とパソコンをPC接続用USBケーブルで接続する**

- 接続方法については（P.334）

2 **ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「その他...」→「テザリング」**

3 **「USBテザリング」をチェックする**

注意メッセージが表示された場合、「OK」をタップします。

お知らせ

- USBテザリング中はSDカードをパソコンに接続できません。
- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境（OS）は以下のとおりです。なお、OSのアップグレードや追加／変更した環境での動作は保証いたしかねます。
  Windows XP（Service Pack 3以降）、Windows Vista、Windows 7

Wi-Fiテザリングを設定する

本端末をポータブルWi-Fiホットスポットとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに8台まで同時接続させることができます。

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「その他...」→「テザリング」→「Wi-Fiテザリング」

メッセージが表示された場合、「OK」をタップします。

Wi-Fiテザリングのアクセスポイントを追加する

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「その他...」→「テザリング」→「Wi-Fiテザリング設定」

2 「ネットワークSSID」ボックスをタップし、ネットワークSSIDを入力する

3 「セキュリティ」をタップする

「セキュリティ」の設定メニュー欄が表示されます。「セキュリティ保護なし」「WPA PSK」「WPA2 PSK」から適切なものを選択します。

4 「パスワード」ボックスをタップしてパスワードを入力する

「セキュリティ」を「セキュリティ保護なし」に設定している場合には、入力不要です。

5 「保存」

お知らせ

- お買い上げの状態では、セキュリティは「セキュリティ保護なし」となっております。必要に応じて、セキュリティの設定を行ってください。

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

VPN（Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。

- 本端末からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。
- ISPをspモードに設定している場合は、PPTPはご利用いただけません。

VPNを追加する

1 **ホーム画面で［メニュー］→「設定」→「その他...」→「VPN」**

- 画面ロック解除PINまたはパスワード設定の注意画面が表示されたら、「OK」をタップして、画面ロック解除PINまたはパスワードを設定してください。
- VPNネットワーク設定状態では、画面ロックをOFFにすることはできません。

2 **「VPNネットワークを追加」**

3 **ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を設定する**

4 **「保存」**

VPNに接続する

1 ホーム画面で [メニューアイコン] →「設定」→「その他...」→「VPN」

2 接続したいVPNをタップする

3 必要な認証情報を入力し、「接続」

VPNを切断する

1 通知パネルを開き、VPN接続中を示す通知をタップする

2 接続中のVPNをタップする

マルチメディア

カメラ

著作権・肖像権について

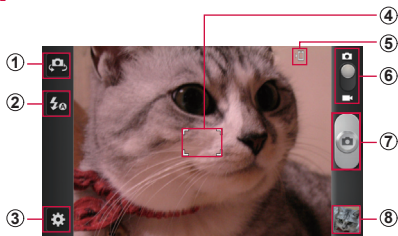
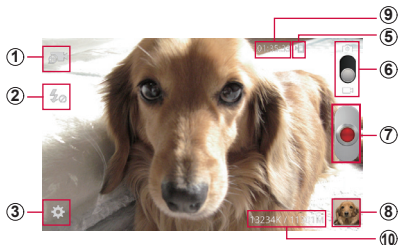
本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また､他人の肖像を無断で使用､改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラをご利用になる前に

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見えたり、暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が不足している場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が出ることがありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- カメラで撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとすると、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影するときは、本端末が動かないようにしっかり手に持って撮影してください。撮影時に本端末が動くと、撮影画像がぶれる原因になります。
- 撮影するときは、レンズに指や髪などがかからないようにしてください。
- カメラ利用時は電池の消費が多くなります。電池残量が少ない状態で撮影を行った場合､画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- 静止画の連続撮影や動画の長時間撮影など、カメラを長時間起動していると本端末が温かくなり、カメラが自動的に終了することがありますが、故障ではありません。しばらく時間をおいてからご使用ください。
- マナーモード設定中でも静止画撮影のシャッター音やフォーカス音、動画撮影の開始音、終了音は鳴りますのでご注意ください。

1 ホーム画面で「カメラ」

静止画撮影画面

動画撮影画面

① 静止画／動画撮影時の外側カメラと内側カメラの切替
② フラッシュ
③ 設定
④ フォーカス

⑤ **静止画／動画の保存先**

⑥ **静止画撮影モードと動画撮影モードの切替**

⑦ **シャッター**

⑧ **プレビュー**

⑨ **動画の撮影可能時間と保存先**
- 動画撮影中画面では、撮影時間が表示されます。

⑩ **撮影したデータの容量（バイト）／撮影可能容量（バイト）**
- 動画撮影中画面でのみ表示されます。

お知らせ

- カメラを起動した状態で約２分間何も操作をしないと、カメラは終了します。
- スマイル撮影、美肌モード、ポートレイト、まばたき検出は顔検出機能に対応しています。

撮影前の設定をする

1 **ホーム画面で「カメラ」**

2 **静止画／動画撮影画面で ⚙ → 必要な項目を設定する**

項目によっては同時に設定できない場合があります。

項目		説明
ショートカットを編集		よく利用する設定メニューのショートカットを左端に4つまで追加することができます。 • 撮影画面で ⚙ をロングタッチするか、▭ →「ショートカットを編集」をタップしても、ショートカット一覧が表示されます。
自分撮り※1		内側カメラで撮影を行います。
フラッシュ		撮影時にフラッシュを使用するかどうかを設定します。
撮影モード	通常撮影※1	通常の静止画を撮影します。
	スマイル撮影※1	被写体の笑顔を検出して撮影します。
	美肌モード※1	人物の顔を検出し、肌を明るく撮影します。

※1　静止画の設定時にのみ表示されます。

項目		説明
撮影モード	パノラマ※1	最大8枚の静止画を撮影／連結するパノラマ写真を撮影します。
	アクション撮影※1	動く被写体を1枚のパノラマ写真に収める連続撮影ができます。
	マンガ調※1	イラスト画のような効果を付けて撮影します。
	通常※2	通常の動画を撮影します。
	自分撮り※2	内側カメラで撮影を行います。
シーン撮影※1		ポートレイト撮影や夜景撮影など、シーンに応じたモードを設定します。
露出補正		露出補正を設定します。
フォーカス※1		フォーカスの設定を「自動」「マクロ」「顔検出」から選択します。
タイマー		セルフタイマーを設定します。
撮影効果		画像に特殊な効果をかけて撮影します。
解像度		撮影する解像度（サイズ）を選択します。

※1　静止画の設定時にのみ表示されます。
※2　動画の設定時にのみ表示されます。

項目	説明
ホワイトバランス	撮影時の光の状況を選択して、画像の色合いを補正します。
ISO※1	ISO感度を設定します。
測光※1	測光方法を設定します。
アウトドアモード	屋外での撮影時に画面が見やすいように調整します。
手振れ補正※1	手振れ補正機能のON／OFFを設定します。
コントラスト※1	コントラストの自動調整機能のON／OFFを設定します。
まばたき検出※1	まばたき検出機能のON／OFFを設定します。
ビデオ画質※2	動画撮影時の画質を設定します。
補助グリッド	撮影画面に補助グリッドを表示するかどうかを設定します。
画質設定※1	静止画撮影時の画質を設定します。
GPSタグ※1	静止画に位置情報を付加するかどうかを設定します。

※1　静止画の設定時にのみ表示されます。
※2　動画の設定時にのみ表示されます。

項目	説明
保存先	撮影した静止画／動画の保存先を選択します。
設定リセット	カメラの設定をリセットします。

※１　静止画の設定時にのみ表示されます。
※２　動画の設定時にのみ表示されます。

3 **設定が終了したら、ディスプレイの空き部分や [戻る] をタップする**

プレビュー画面を利用する

撮影画面でサムネイル表示をタップすると、プレビュー画面が表示されます。

項目		説明
共有		Picasaへのアップロードや AllShareでのデータ共有、Wi-Fi、Bluetooth 機能やGmail での送信ができます。 • 写真の場合、フォトエディターを利用した編集ができます。 • 動画の場合、YouTube にアップロードできます。
削除		データを削除します。
その他	登録※1	静止画データを壁紙や連絡先に登録できます。
	再生※2	動画やメディアプレイヤーなどを利用して動画を再生します。
	名前を変更	ファイル名を変更できます。

※1　静止画データのプレビュー画面で表示されます。
※2　動画データのプレビュー画面で表示されます。

静止画を撮影する

1 **ホーム画面で「カメラ」**

静止画撮影画面が表示されます。

2 **静止画撮影画面で被写体にカメラを向ける**

- ▯(音量)またはタッチズーム枠でズーム調節できます(各撮影サイズとも1.0倍〜最大約4.0倍)。

3

シャッター音が鳴り、撮影されます。
撮影した静止画は自動的に保存されます。

- 撮影時に をロングタッチすると、オートフォーカス枠にある被写体にピントが固定され、指を離すと撮影されます。

お知らせ

- 撮影した静止画はJPEG形式で保存されます。

動画を撮影する

1 **ホーム画面で「カメラ」**

静止画撮影画面が表示されます。

2 **で ● を ▭ にドラッグする**

動画撮影モードに切り替わります。

3 **被写体にカメラを向ける → ●**

開始音が鳴り、動画撮影が始まります。

- ▯（音量）またはタッチズーム枠でズーム調節できます（1.0倍～最大約4.0倍）。
- フルHD動画（1920×1080）撮影中は、ズーム機能を使用できません。

4 **撮影を停止するときは、●**

終了音が鳴り、撮影した動画が自動的に保存されます。

お知らせ

- 動画を撮影する前に、メモリに十分な空きがあることを確認してください。

ギャラリー

本端末やmicroSDカードに保存されている静止画や動画を閲覧したり、整理したりできます。
対応しているファイルの種類と形式は以下のとおりです。

種類	ファイル形式
静止画	JPEG, PNG, GIF, BMP
動画	3GP、MPEG4、WMV、ASF、AVI、MKV、FLV

1 **ホーム画面で「アプリ」→「ギャラリー」**
フォルダの一覧画面が表示されます。
- をタップするとカメラが起動します。

2 **フォルダをタップする**
データの一覧画面が表示されます。
- 画面右上の ／ をタップすると表示形式の切り替えができます。

静止画を表示する

1 データの一覧画面で表示する静止画をタップする

静止画が拡大表示されます。
- 静止画を切り替えるには画面を左右にスクロールします。
- 画面をタップすると以下の操作ができます。

項目	説明
🔍+ ／ 🔍−	表示を拡大／縮小します。
送信	Bluetooth機能やGmailなどで送信ができます。
削除	データを削除します。

動画を再生する

1 データの一覧画面で再生する動画をタップする

2 プレイヤーを選択する

動画の再生が開始されます。

ギャラリーのメニュー

フォルダ／データの一覧画面で [≡] をタップすると、以下の操作メニューが表示されます。

種類	説明
送信	Bluetooth機能やGmailなどで送信ができます。
削除	データを削除します。
その他	詳細の確認、壁紙や連絡先への登録、切り取り、左右回転などの操作ができます。

※利用できる機能はデータの種類や画面によって異なります。

プレーヤー

動画を利用する

本端末やmicroSDカードに保存してある動画を簡単に再生できます。
再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、動画によっては以下のファイル形式であっても再生できない場合があります。

ファイル形式
MP4/3GP/3GPP/3GPP2, WMV/ASF, AVI, MKV, DivX, FLV, WebM

1 ホーム画面で「アプリ」→「動画」

2 「サムネイル」／「リスト」／「フォルダ」タブのいずれかをタップする

3 動画をタップする
動画の再生が開始されます。

項目	説明
／／	動画の表示サイズを切り替えます。
	再生画面でを押すとロック画面に切り替わり、画面をタップしても動作しないようにできます。を再度押すとロックが解除されます。
	現在の再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
5.1ch	ステレオヘッドホン使用時に、5.1chサラウンドの音声を楽しむことができます。
／	タップするとデータの先頭／次のデータにスキップします。ロングタッチすると巻戻し／早送りします。
／	再生／一時停止します。
／	音量を調節します。

お知らせ

- 動画再生中はをタップすると「前画面に戻るには［戻る］キーをもう一度押してください。」と表示されます。メッセージが表示された状態でをタップすると前の画面に戻ります。

動画のメニュー

一覧画面や再生画面で [メニューキー] をタップすると、以下の操作メニューが表示されます。

■ 一覧画面

種類	説明
ソート	一覧表示の順番を変更します。
共有方法を選択	YouTubeへのアップロードやAllShareでのデータ共有、Wi-Fi Direct、Bluetooth機能やGmail などで送信ができます。
削除	データを削除します。
次の動画を自動再生	すべての動画を自動的に再生するかどうかを設定します。

■ 再生画面

種類	説明
共有方法を選択	YouTubeへのアップロードやAllShareでのデータ共有、Wi-Fi Direct、Bluetooth機能やGmail などで送信ができます。
動画の明るさ	動画再生画面の明るさを自動／手動調整します。
Bluetooth経由	Bluetoothデバイスへ音声を出力します。
字幕	字幕ファイル（拡張子：smi）のある動画の再生時に、字幕のON／OFFや詳細設定を行います。
色調	色調を「標準」／「暖色」／「寒色」から選択します。
アウトドアモード	アウトドアモードのON／OFFを設定します。
詳細	データの詳細を確認します。

DivX® VODの登録キーを確認する

DivX® VODの登録キーとは、DivX® VOD（Video on Demand）ファイルを再生するために必要な登録キーです。
登録方法などの詳細については、http://vod.divx.comをご覧ください。

1 **ホーム画面で［メニュー］→「設定」→「端末情報」→「法定情報」→「ライセンス設定」→「DivX®VOD」→「登録」**
登録コードが表示されます。

音楽を利用する

本端末やmicroSDカードに保存してある音楽を簡単に再生できます。
再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、楽曲によっては以下のファイル形式であっても再生できない場合があります。

ファイル形式
AAC, AMR, WMA, 3GP, MP4/M4A, MP3, FLAC, OGG, WAV, MID/XMF/MXMF, RTTL/RTX, OTA, IMY

1 **ホーム画面で「アプリ」→「音楽」**

初めて起動したときは「全て」タブ画面が表示されます。

2 **画面上部のタブを選択 → 再生したいデータをタップする**

再生が開始されます。

種類	説明
5.1ch	ステレオヘッドホン使用時に、5.1chサラウンドの音声を楽しむことができます。
アーティスト名／曲名／アルバム名	タップすると詳細情報が表示されます。 をタップすると関連情報を検索できます。
／	音量を調節します。
／ ※	シャッフル機能のON ／ OFFを設定します。
／ ／ ※	リピートモードを設定します（全曲リピート／その曲をリピート／リピートなし）。
※	現在の再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
／	再生／一時停止します。
／	タップするとデータの先頭／次のデータにスキップします。ロングタッチすると巻き戻し／早送りします。
リスト表示	一覧画面が表示されます。

※再生画面をタップするとアイコンが表示されます。

お知らせ

- マイク付ステレオヘッドセット（試供品）を接続している場合（P.171）、スイッチを1秒以上押すと音楽を再生できます。音楽を再生しているときは、スイッチを押すたびに再生／一時停止の切り替えができます。
- 音楽の再生中に画面ロックを設定しても再生は継続されます。画面ロック中に ▭ ／ ▯ を押すと画面下部にアイコンが表示され、画面ロックを解除しなくても再生／一時停止／前後スキップを操作できます。

プレイリストを作成する

1 ホーム画面で「アプリ」→「音楽」→「プレイリスト」タブ

2 [メニューキー] →「追加」

3 プレイリスト名を入力

4 「曲を追加」をタップする、または [メニューキー] →「追加」

楽曲の一覧が表示されます。

5 追加したい楽曲にチェックを付ける →「追加」

作成したプレイリストに楽曲が追加されます。

プレイリストを編集する

1 ホーム画面で「アプリ」→「音楽」→「プレイリスト」タブ

2 編集したいプレイリストをタップする

3 [メニューキー] → 操作する項目をタップする

クイックリストに曲を追加する

再生中の曲をクイックリストに登録できます。気に入った曲の再生を止めずに登録したい場合などに便利です。

1 ホーム画面で「アプリ」→「音楽」

2 画面上部のタブを選択 → 再生したいデータをタップする

3 [メニュー] →「クイックリストに追加」

登録した曲は「プレイリスト」タブの「クイックリスト」に追加されます。

プレイリストとして保存する場合

クイックリスト画面で [メニュー] →「プレイリストとして保存」→ プレイリスト名を入力 →「保存」をタップします。

音楽のメニュー

楽曲の分類方法を選択するタブの画面、または楽曲の再生中の画面で [menu] をタップすると、以下の操作メニューが表示されます。

■ 楽曲の分類方法を選択するタブ画面

種類	説明
プレイリストに追加※1	曲をプレイリストに追加します。
作成※2	プレイリストを新規作成します。
検索	データを検索します。
削除※1	データを削除します。
サムネイル表示／リスト表示※4	データの表示形式を切り替えます。
タイトルを編集※2	プレイリスト名を編集します。

※1「全て」タブでのみ表示されます。
※2「プレイリスト」タブでのみ表示されます。
※3「全て」「プレイリスト」タブでのみ表示されます。
※4「全て」タブ以外のタブで表示されます。

種類		説明
設定	イコライザー	イコライザーを設定できます。
	サウンドエフェクト	音響効果を設定できます。
	音楽メニュー設定	タブやプレイリストに表示する項目を設定できます。
	視覚エフェクト	再生中の視覚エフェクトのON ／ OFFを設定します。
	歌詞	歌詞のある音楽を再生時に、歌詞の表示／非表示を設定します。
	音楽自動停止	音楽が自動で停止するまでの時間を設定します。

■ 再生画面

種類	説明
クイックリストに追加	曲をクイックリストに追加します。 • クイックリストに追加されている曲の場合は、「クイックリストへ移動」と表示ます。タップするとクイックリストの一覧表示に切り替わります。
Bluetooth	Bluetoothを経由して再生します。
音楽共有	共有方法を選択します。
着信音に設定	「電話着信音」「個別着信音」「アラーム音」に設定できます。
プレイリストに追加	プレイリストに追加します。

種類		説明
設定	イコライザー	イコライザーを設定できます。
	サウンドエフェクト	音響効果を設定できます。
	音楽メニュー設定	タブやプレイリストに表示する項目を設定できます。
	視覚エフェクト	再生中の視覚エフェクトのON／OFFを設定します。
	歌詞	歌詞のある音楽を再生時に、歌詞の表示／非表示を設定します。
	音楽自動停止	音楽が自動で停止するまでの時間を設定します。
詳細		再生中の曲の詳細情報を表示します。

ファイル管理

マイファイルを利用する

本端末やmicroSDカードに保存されている静止画や動画、音楽や文書などさまざまなデータの表示や管理を行えます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「マイファイル」

2 利用したいフォルダ → ファイルをタップする

選択したファイルが表示／再生されます。

マイファイルのメニュー

［メニュー］をタップすると以下のメニューが表示されます。

項目	説明
共有	フォトエディターでの編集やPicasa、YouTubeへのアップロード、AllShareでのデータ共有、Bluetooth機能やメールでの送信などができます。
フォルダ作成	フォルダを新規に作成します。
削除	フォルダ／ファイルを削除します。
表示設定	一覧の表示方法を設定します。

項目	説明
ソート	一覧表示の順番を変更します。
移動	データを移動します。
コピー	データをコピーします。
名前を変更	フォルダ名／ファイル名を変更できます。
設定	隠しファイルやファイル拡張子の表示／非表示、およびホームディレクトリの設定を行います。

お知らせ

- microSDカードを取り付けていない状態でexternal_sdフォルダにファイルを保存した場合、microSDカードを取り付けるとそのファイルは表示されなくなります。

Bluetooth機能を利用する

本端末とBluetoothデバイス間で、無線でデータのやりとりができます。

- Bluetooth対応バージョンやプロファイルについては、「主な仕様」（P.452）をご覧ください。
- 設定や操作方法については、接続するBluetoothデバイスの取扱説明書もご覧ください。
- 本端末とすべてのBluetoothデバイスとのワイヤレス接続を保証するものではありません。

■ Bluetooth機能使用時のご注意

1. 本端末と他のBluetoothデバイスとは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. 他の機器（電気製品、AV機器、OA機器など）から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

本端末のBluetooth機能と無線LAN対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。

1. Bluetoothデバイスと無線LAN対応機器は、20m以上離してください。
2. 20m以内で使用する場合は、Bluetoothデバイスまたは無線LAN対応機器の電源を切ってください。

■ Bluetooth機能のパスコードについて

Bluetooth機能のパスコードは、接続するBluetoothデバイスどうしが初めて通信するとき、相手機器を確認して、お互いに接続を許可するための認証用コードです。送信側／受信側とも同一のパスコード（最大16文字の半角英数字）を入力する必要があります。

- 本端末ではパスコードを「PIN」と表示している場合があります。

Bluetooth機能をONにして本端末を検出可能にする

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「Bluetooth」

2 「Bluetooth」をONにする

3 デバイスの名称にチェックを付ける

- 設定した公開時間内で、本端末が別のBluetoothデバイスから検出可能になります。
- [メニュー] をタップすると、以下の操作メニューが表示されます。

項目	説明
デバイス名称	他のデバイスに表示される名前を設定します。
デバイスの公開時間	デバイスの公開時間を「2分」／「5分」／「1時間」／「タイムアウトなし」から選択します。 「タイムアウトなし」を選択した場合、本端末は常に別のBluetoothデバイスから検出可能な状態になります。
受信ファイルを表示	受信したデータの一覧が表示されます。

お知らせ

- Bluetooth機能を使用しないときは、電池の消耗を防ぐため、Bluetooth機能をOFFにしてください。
- Bluetooth機能のON／OFF設定は、電源を切っても変更されません。

他のBluetoothデバイスとペアリング／接続する

本端末と他のBluetoothデバイスをBluetooth機能で接続し、データのやりとりを行うには、あらかじめ他のデバイスとペアリング（接続設定）を行い、本端末に登録後、接続を行います。

- Bluetoothデバイスによって、ペアリングのみ行うデバイスと接続までを続けて行うデバイスがあります。

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「Bluetooth」

検出されたBluetoothデバイスが一覧表示されます。

2 「Bluetooth」をONにする →「デバイスのスキャン」

3 接続したいデバイスをタップする

- Bluetoothデバイスにパスコード（PIN）が設定されている場合、「承認」またはパスコード（PIN）を入力して「OK」をタップしてください。
- Bluetoothデバイスによっては、デバイスをタップするとペアリング完了後、続けて接続まで行う場合があります。

お知らせ

- ペアリング時にパスコードが必要なデバイスの場合も一度ペアリングを行うと、次回の接続時にはパスコードの入力は不要になります。
- プロファイル非対応の場合など、接続できないデバイスの場合は「ペアリング済み」のみ表示されます。

他のデバイスからペアリング要求を受けた場合

Bluetooth通信のペアリングを要求する画面が表示された場合は、必要に応じて「承認」またはパスコード（PIN）を入力 →「OK」をタップします。

他のBluetoothデバイスとのペアリング／接続を解除する

ペアリングを解除する

1 Bluetoothデバイスの一覧表示で、ペアリングを解除したいデバイスの右側にある ⚙ をタップする →「ペアリングの解除」

ペアリングのみの状態のデバイスとペアリングを解除する場合は、デバイスをロングタッチ →「ペアリングの解除」をタップします。

接続を解除する

1 **Bluetoothデバイスの一覧表示で、接続中のデバイスをタップする → 「OK」**

- 接続を解除したいデバイスの右側にある ⚙ をタップする → プロフィール欄のチェックをすべて外しても、接続を解除することができます。
- 接続を解除しても、ペアリングは解除できません。

Bluetooth機能でデータを送受信する

- あらかじめ本端末のBluetooth機能をONにし、検出可能にしてください。

Bluetooth機能でデータを送信する

連絡先（vcf形式の名刺データ）、予定表、仕事などのデータや、静止画、動画などのファイルを、他のBluetoothデバイス（パソコンなど）に送信できます。

- 送信は各アプリケーションの「共有」／「送信」などのメニューから行ってください。

Bluetooth機能でデータを受信する

1 **「Bluetooth認証要求」画面が表示されたら、「同意する」をタップする**

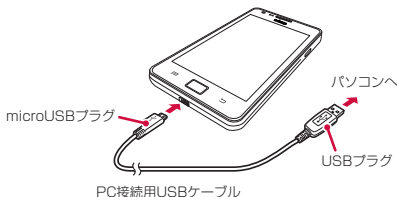
ステータスバーに ⬇ が表示され、データの受信が開始されます。
設定／通知パネルで受信状態を確認できます。受信が完了したら「Bluetooth共有：受信完了」をタップすると受信したデータを表示／再生できます。

パソコン接続

PC接続用USBケーブルで接続する

本端末とパソコンをPC接続用USBケーブル（試供品）で接続すると、パソコンの「Samsung Kies」（P.335）や「Windows Media® Player」（P.336）とデータを同期したり、本端末やmicroSDカードをマスストレージとして認識（P.336）させたりできます。

1 **本端末の外部接続端子に、PC接続用USBケーブルを差し込み、本端末をパソコンに接続する**

microUSBプラグは、刻印がある面を上にして水平に差し込みます。

お知らせ

- PC接続用USBケーブルのUSBプラグはパソコンのUSBコネクタに直接接続してください。USB HUBやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。
- データ転送中にPC接続用USBケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。
- 接続可能なOSは、Windows XP、Windows Vista（32／64bit)、Windows 7（32／64bit）です。

Samsung Kiesを利用する

Samsung Kiesを利用して、連絡先、カレンダー、音楽、動画などのデータを本端末と同期したり、本端末のファームウェアを更新したりできます。

- Samsung KiesはSamsungのホームページからダウンロードして、パソコンにインストールします。詳細については以下のホームページをご覧ください。
http://www.samsung.com/jp/support/usefulsoftware/KIES/JSP

1 本端末とパソコンをPC接続用USBケーブル（試供品）で接続する

2 パソコンで「Samsung Kies」を起動する

Samsung Kiesの使い方については、ヘルプメニューの「Kiesチュートリアル」をご覧ください。

MTPモードでパソコンと同期する

パソコンの音楽や動画などのデータを本端末と同期します。

1 **本端末とパソコンをPC接続用USBケーブル（試供品）で接続する**

2 **パソコンで「Windows Media® Player」を起動し、同期を実行する**

お知らせ

- 著作権保護されたデータは、転送時に使用した端末以外では再生できない場合があります。
- データによっては著作権保護されているため再生できないものがあります。

USBマスストレージ設定

パソコンと本端末をPC接続用USBケーブル（試供品）でつないだとき、パソコン上で本端末およびmicroSDカードのデータを読み書きできるようにします。

1 **ホーム画面で ▭ →「設定」→「その他...」→「USBユーティリティ」**

2 **「PCにストレージを接続」**

- USBデバッグをOFFにするお知らせの画面が表示された場合は、「OK」をタップします。

3 **本端末とパソコンをPC接続用USBケーブルで接続する**

4 **「PCにストレージを接続」**

初めて接続したときは、使用中のアプリケーションを停止するお知らせの画面が表示されるので、「OK」をタップします。

5 **パソコンを操作して本端末にデータを転送する**

PC接続用USBケーブルを取り外すには

「ユーザーメモリ（本体）をOFF」をタップします。

お知らせ

- microSDカードにアクセス中は電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる恐れがあります。
- カードリーダーモードでパソコンとUSB接続しているときは、本端末からmicroSDカードにアクセスできません。

AllShareを利用する

Wi-Fi機能を利用して、他のDLNA（Digital Living Network Alliance）対応機器とファイルを共有することができます。

- AllShareを利用するには、他の機器とのWi-Fiネットワーク接続をあらかじめ設定しておいてください（P.286）。
- 機器の種類によっては一部のファイルを再生できない場合があります。

DLNAを設定する

1 ホーム画面で「アプリ」→「AllShare」

AllShare画面が表示されます。

2 [メニュー] →「設定」→ 以下の設定を行う

項目	説明
デバイス名称	サーバー名として相手機器に表示される名前を設定します。
ビデオを共有	共有するメディアの種類をチェックします。
写真を共有	
オーディオを共有	
他のデバイスからアップロード	他の機器からアップロードされたときの応答を設定します。
標準保存先	ダウンロードしたデータの保存先を設定します。

項目	説明
字幕	字幕ファイル（拡張子：smi）のある動画の再生時に、字幕のON／OFFを設定します。 ※ Samsung端末でない場合、字幕が表示されない可能性があります。

本端末にあるファイルを他のDLNA対応機器にアップロードする

1 ホーム画面で「アプリ」→「AllShare」

2 「マイデバイス」タブ画面で、「ビデオ」／「写真」／「ミュージック」のいずれかをタップする

3 [メニュー] →「アップロード」→ アップロードするファイルにチェックを付ける

4 「アップロード」
デバイス選択画面が表示されます。機器が表示されない場合は「更新」をタップして再度検索します。

5 いずれかのデバイスをタップする
本端末にあるファイルのアップロードが自動的に開始します。取り消しするには、「キャンセル」をタップします。

本端末にあるファイルを他のDLNA対応機器で再生する

1 ホーム画面で「アプリ」→「AllShare」

2 「リモートデバイス」タブをタップする

3 ファイルを再生する機器をタップする

機器が表示されない場合は「更新」をタップして再度検索します。

4 本端末でファイルの再生操作を行う

お知らせ

- ネットワーク接続や相手機器の状態によっては、再生が中断される場合があります。

アプリケーション

Playストアを利用する

Google Playのご利用には、Googleアカウントの設定が必要です（P.72）。

アプリケーションをインストールする

1. **ホーム画面で「Playストア」**
   Google Playを初めて開くと利用規約が表示されるので、内容をよく読み、「同意する」をタップします。
2. **ダウンロードしたいアプリケーションを検索し、タップ → 詳細を確認する**
3. **「ダウンロード」（無料アプリケーションの場合）または金額欄（有料アプリケーションの場合）→「同意してダウンロード」（無料アプリケーションの場合）または「同意して購入」（有料アプリケーションの場合）**
   ダウンロードとインストールが完了したら、ステータスバーに が表示されます。

- 多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションには特にご注意ください。この画面で「同意してダウンロード」または「同意して購入」を選択すると、本端末でのこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。

アプリケーションを購入する場合

詳しくは ▭ →「ヘルプ」をタップしてGoogle Playヘルプをご覧ください。

お知らせ

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信料金が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- 購入したアプリケーションに満足しない場合、規定の時間内であれば削除と返金要求ができます。詳しくは ▭ →「ヘルプ」をタップしてGoogle Playヘルプをご覧ください。

Samsung Appsを利用する

Samsung Appsを利用して、Samsung社のおすすめする豊富なアプリケーションを簡単にダウンロードすることができます。

Samsung Appsを開く

1 ホーム画面で →「アプリ」→「Samsung Apps」

Samsung Appsを初めて開くと免責条項が表示されるので、内容をよく読み、「同意する」をタップします。

2 利用したいアプリケーションを検索してダウンロードする

お知らせ

- Samsung Appsは国や地域によってはご利用になれない場合があります。詳しくはSamsung Appsサイト内のサポートページをご覧ください。

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。また、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
社団法人　デジタル放送推進協会：
http://www.dpa.or.jp/

ワンセグのご利用にあたって

ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。
「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。
「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。
サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

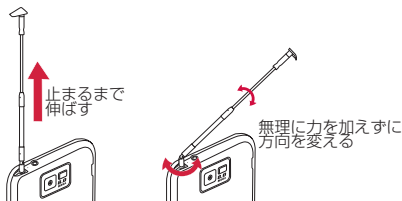
放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、FOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態を良くするためには、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また、アンテナの向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

ワンセグアンテナについて

ワンセグアンテナの方向を変える際は、無理に力を加えないでください。

お知らせ

- ワンセグアンテナをご使用の際は、ワンセグアンテナを最後まで引き出してください。ワンセグアンテナを最後まで引き出していない状態で無理な力を加えると、破損の原因となります。
- ワンセグアンテナをしまうときは、ワンセグアンテナの根元を持って止まるまで引っ込めます。ワンセグアンテナの先端を持って引っ込めないでください。

ワンセグを視聴する

1 **ホーム画面で「ワンセグ」**

視聴画面が表示されます。

- 初めて起動した場合やチャンネルリストが登録されていない場合は、エリア情報の設定を行います（P.358）。

お知らせ

- 電波状態によっては、映像や音声が途切れたり、止まったりすることがあります。
- ワンセグ視聴時、「ターンオーバーでミュート」機能で音声を自動的にミュートすることはできませんが、音量ボタンを使用することで、手動で音声をミュートにできます。
- マナーモードに設定していても、メディア音量（P.172）の設定によっては音声が再生されることがありますので、音量ボタンで音量を調節してください。

BTヘッドセットに転送

1 ホーム画面で「ワンセグ」

2 [メニューキー] →「BTヘッドセットに転送」→「デバイスのスキャン」

- Bluetooth機能がOFFの状態では、ONに設定する必要とのメッセージが表示されます。「OK」をタップして、Bluetooth機能をONにします。

3 必要な場合は、ペアリングのためパスコード（PIN）を入力する →「OK」

お知らせ

- SCMS-Tを支援するBTヘッドセットでのみ、動作します。

視聴画面について

① **テレビ映像**

- 左右フリックで視聴チャンネルを変更できます。
- ロングタッチで番組の詳細情報を表示します。

② **字幕**

- ≡ →「設定」→ ▼ をタップ →「2 ／ 3」画面で「字幕」を「ON」に設定すると、字幕が表示されます。

③ **データ放送**

④ **チャンネル／番組名**

⑤ **テレビ操作パネル**

- ◀ ／ ▶ で視聴チャンネルを変更できます。
- チャンネルの数字をタップすると、操作画面の「チャンネルリスト」タブを表示します。

⑥ **データ放送操作パネル**

- ▲／▼ で項目にカーソルを合わせ、「選択」で項目を選択します。リンク先のデータ放送が表示されます。
- ◀03 で音量を調整します。

● 視聴画面でのキー操作

- （電源ボタン）で、画面をロックします。
- （音量ボタン）で、音量を調整します。

操作画面について

1 ホーム画面で「ワンセグ」

2 ▭ →「チャンネルリスト」

■ チャンネルタブ

① **タブ**

- タップすると、各タブに切り替わります。

② **テレビ映像プレビュー**

- タップすると、視聴画面を表示します。

③ **チャンネル／番組名**

④ **チャンネルリスト**

- チャンネルをタップすると、視聴画面を表示します。
- ロングタッチでチャンネルリストから削除できます。

⑤ **番組表**

- タップすると、視聴中チャンネルの番組一覧を表示します。

⑥ **全画面表示**

- タップすると、視聴画面を表示します。

● チャンネルタブでのキー操作

- （音量ボタン）で、音量を調整します。

■ 予約タブ

① **タブ**

- タップすると、各タブに切り替わります。

② **予約一覧**

：録画予約（成功した予約を含む）
：視聴予約（成功した予約を含む）
：失敗した録画予約
：失敗した視聴予約

- 未実行の予約をタップすると、予約内容を変更できます。
- 未実行の予約をロングタッチすると、予約を削除できます。
- 実行済みの予約をタップすると、結果の確認と一覧からの削除ができます。

■ TVファイルタブ

① **タブ**
- タップすると、各タブに切り替わります。

② **テレビ映像プレビュー**
- タップすると、再生します。

③ **ファイルタイプ／ファイルサイズ**

④ **TVファイルリスト**

：映像ファイル
- ファイルをタップすると、再生します。

：キャプチャした静止画ファイル

⑤ **映像**
- 左右フリックで再生ファイルを変更できます。

⑥ **再生時間、スライダー**
- 映像画面をタップすると表示されます。
- で視聴ファイルの再生位置を任意の時間まで操作できます。

⑦ **データ放送**

⑧ **チャンネル／番組名**

⑨ **再生操作パネル**

- ⏮／⏭ で再生ファイルを変更できます。
- ▶／⏸ で再生ファイルの再生／一時停止を操作します。
- 🔈03 で音量を調整します。

⑩ **データ放送操作パネル**

- ▲／▼ で項目にカーソルを合わせ、「選択」で項目を選択します。リンク先のデータ放送が表示されます。
- 「戻る」でリンクの履歴を戻ります。

● TV ファイルタブでのキー操作

- （電源ボタン）で、画面をロックします。
- （音量ボタン）で、音量を調整します。

■ TV リンクタブ

① **タブ**

- タップすると、各タブに切り替わります。

② **TV リンク**

ワンセグを録画する

1 ホーム画面で「ワンセグ」

2 [メニュー] →「録画」

- 録画を停止するには、「停止」をタップします。

お知らせ

- 電波状態によっては、映像や音声が途切れたり、止まったりすることがあります。
- 録画中はチャンネル切替はできません。
- 録画中に他のアプリケーションを起動すると、正常に録画できない場合があります。

録画した番組を再生する

1 ホーム画面で「ワンセグ」

2 [メニュー] →「チャンネルリスト」→「TV ファイル」タブ

3 再生する番組を選択

- 本端末以外で録画したものは再生できません。

視聴中の画像をキャプチャする

1 ホーム画面で「ワンセグ」

2 [メニュー] →「キャプチャ」

- キャプチャした画像は操作画面の「TVファイル」タブで確認することができます。

ワンセグの録画や視聴を予約する

番組表から予約する

1. ホーム画面で「ワンセグ」
2. ▭ →「チャンネルリスト」→「チャンネル」タブ
3. 「番組表」→ 予約する番組をタップ
   - 画面上部のチャンネル名をタップすると、チャンネルを変更できます。
   - 番組をタップすると、番組の詳細情報を確認できます。
4. 「予約」→ 予約タイプを選択

Gガイド番組表から予約する

1 ホーム画面で「ワンセグ」

2 [メニュー] →「Gガイド番組表を起動」

- Gガイド番組表を初めて起動した場合は、利用契約に同意をして「地域設定」を行います。

3 Gガイド番組表で番組を選択し、「ワンセグ」→「ワンセグ視聴予約」／「ワンセグ録画予約」を選択

4 新規番組予約で各項目を確認、変更

- 項目をタップすると、項目の内容を変更できます。

5 「予約」

手動で予約する

1 ホーム画面で「ワンセグ」

2 [メニュー] →「チャンネルリスト」→「予約」タブ

3 [メニュー] →「マニュアル予約」

4 新規番組予約で各項目を入力

5 「予約」

予約を削除する

1. ホーム画面で「ワンセグ」
2. [メニュー] →「チャンネルリスト」→「予約」タブ
3. 削除する予約をロングタッチ
4. 「削除」→「OK」

チャンネルルを設定する

エリア情報を設定する

1. ホーム画面で「ワンセグ」
2. [メニュー] →「チャンネルリスト」→「チャンネル」タブ
3. [メニュー] →「エリア情報設定」→ 登録するエリアを選択
4. 地域を選択 → 都道府県を選択 → ローカルエリアを選択

   チャンネルが検索され、選択したエリアにチャンネルリストが登録されます。

エリア情報を切り替える

1 ホーム画面で「ワンセグ」

2 [メニュー]→「チャンネルリスト」→「チャンネル」タブ

3 [メニュー]→「エリア切替」→ 切り替えるエリアをタップ

- 切替先のエリアにチャンネルリストが登録されていない場合は、エリア情報の設定を行います（P.358）。

エリア情報を削除する

1 ホーム画面で「ワンセグ」

2 [メニュー]→「チャンネルリスト」→「チャンネル」タブ

3 [メニュー]→「エリア情報設定」→ 削除するエリアをロングタッチ

4 「設定リセット」

TV リンクを利用する

TV リンクを登録する

1 **データ放送を操作して、テレビリンク登録可能な項目を選択する**
テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。

お知らせ
- リンク先によっては、TV リンクを登録できないことがあります。

TV リンクを表示する

1 **ホーム画面で「ワンセグ」**

2 **[メニューキー] →「チャンネルリスト」→「TV リンク」タブ**

3 **TV リンクを選択する**
登録したサイトに接続します。

TV リンクを削除する

1 ホーム画面で「ワンセグ」
2 [メニュー] →「チャンネルリスト」→「TV リンク」タブ
3 削除する TV リンクをロングタッチ
4 「削除」→「OK」

ワンセグを設定する

1 ホーム画面で「ワンセグ」

2 [メニュー] →「設定」

3 項目を設定する

・▲／▼で、項目設定ページ移動ができます。

■ TV

項目	設定
画面表示サイズ	画面表示サイズを2段階で調整します。
明るさ	画面の明るさを5段階で調整します。
アウトドアモード	アウトドアモードのON／OFFを設定します。
色調	色調を、標準／暖色／寒色から選択します。
フレーム補間	フレーム補間のON／OFFを設定します。
字幕	字幕のON／OFFを設定します。
5.1ch	5.1チャンネルオーディオのON／OFFを設定します。
オーディオ効果	オーディオ効果を5種類から選択します。
音声言語	複数の音声を放送している番組でどの音声を聞くかを設定します。

項目	設定
保存先設定	録画するファイルの保存先を設定します。
オートOFF時間設定	自動的に電源OFFするまでの時間を設定します。

■ データ放送

項目	設定
録画設定	録画対象としてデータ放送の画像とテキストを含めるかどうかを設定します。
画像保存先設定	キャプチャの保存先を設定します。
通信接続確認	データ放送のリンク先に接続するときに確認するかどうかを設定します。
位置情報	位置情報を送信するときに確認するかどうかを設定します。
製造番号通知	製造番号を送信するかどうかを設定します。
放送局データ削除	データ放送で登録した情報などを削除します。

時計を利用する

アラーム、世界時計、ストップウォッチ、タイマーを利用できます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「時計」

2 画面上部のタブをタップする
各機能のタブ画面に切り替わります。

アラームを利用する

1 「アラーム」タブ画面で「アラームを作成」

2 時刻、繰り返し設定、アラームの種類、音量、アラーム音、スヌーズ、事前お知らせ、タイトルなど詳細を入力 →「保存」

3 アラーム音を止めるには ⊗ を円の外側にドラッグする
スヌーズを設定した場合は、zz を円の外側にドラッグすると設定した時間の経過後に再度アラームが鳴動します。

お知らせ

- スヌーズとは、いったんアラームのスイッチを切ってもしばらくするとアラームが鳴るようにする機能です。
- 登録したアラームを削除するには、[メニュー] →「削除」→ 削除するアラームにチェックを付ける →「削除」をタップします。
- 登録したアラームをオフにするには、[アラーム]（緑色）をタップして [アラーム]（グレー）にします。
- 本端末をマナーモードに設定している場合のアラーム音やバイブレーションを設定するには、[メニュー] →「設定」で各項目を設定します。

世界時計を利用する

登録した都市／国の日付と時刻を一覧で確認できます。

1 **「世界時計」タブ画面で「都市を追加」→登録する都市／国をタップする**

都市／国を時差で並べ替えて検索する場合

都市／国の選択画面で [メニュー] →「タイムゾーン別に並べ替え」をタップします。都市名順に戻すには [メニュー] →「都市名順に並べ替え」をタップします。

都市／国を世界地図で検索する場合

都市／国の選択画面で [地球] をタップします。

お知らせ

- 登録した都市／国を削除するには、[メニュー] →「削除」→ 削除する都市／国にチェックを付ける →「削除」をタップします。
- 都市／国をロングタッチ →「削除」をタップしても削除できます。
- 登録した都市／国にサマータイムを設定するには、都市／国をロングタッチ →「サマータイム設定」→ 時間を設定します。

ストップウォッチを利用する

1 「ストップウォッチ」タブ画面で「スタート」

測定が開始されます。

ラップタイムを計測する場合

「ラップ」をタップします。

2 測定を止めるには「ストップ」

測定を再開するには「リスタート」、測定をやり直すには「リセット」をタップします。

タイマーを利用する

1 「タイマー」タブ画面で時間、分、秒を設定する → 「スタート」

タイマーが開始されます。
タイマーを一時停止するには「停止」、設定をリセットするには「リセット」をタップします。
停止中に「リスタート」をタップすることでタイマーを再開できます。

2 アラーム音を止めるには ⊗ を円の外側にドラッグする

卓上時計を利用する

現在の時間、日付、位置、天気、温度を確認することができます。

1 「卓上時計」

／をタップして、画面を拡大／縮小することができます。

カレンダーを利用する

カレンダーを利用してスケジュールを管理できます。本端末のカレンダーとGoogleなどオンラインサービスのカレンダーを同期することもできます。

- カレンダーを起動する前に、Google、Microsoft Exchange Server、Facebookアカウントのいずれかの設定が必要です（P.222）。

カレンダーの予定を表示する

1 ホーム画面で「アプリ」→「カレンダー」

2 画面上部のタブで表示方法を選択 → 予定をタップする

■ 複数のカレンダーを表示する

1 カレンダー画面で ▭ →「設定」→「カレンダー」→ 表示したいカレンダーにチェックを付ける

カレンダーの予定を作成する

1 **カレンダー画面で ⊟ →「イベントを作成」**

「月表示」「週表示」「日表示」表示で、予定のない日や時刻をタップしても入力画面を表示できます。

2 **予定のタイトルや日時、場所など詳細を入力**

「お知らせ」を設定すると、予定の開始時刻などをアラームで通知できます。
複数のカレンダーアカウントを持っている場合は、「カレンダー」→ 登録したいアカウントをタップ →「OK」をタップして選択します。

3 **「保存」**

予定を削除するには、予定をタップする → ⊟ →「削除」をタップします。

- 予定をvCalendar形※で送信するには、予定をタップする → ⊟ →「送信」をタップします。
  ※ スケジュール管理ソフトなどで使われるスケジュールデータの標準フォーマットのひとつ

予定のアラームを解除またはスヌーズを設定する

アラームが通知された場合は、以下の操作を行います。

1 **ステータスバーを下方向にスクロール → 通知のスケジュールをタップする → 設定するアラームにチェックを付ける →「スヌーズ」／「無効」**

カレンダー通知画面で「スヌーズ」をタップすると、5分後にすべてのカレンダーをスヌーズします。

カレンダーの設定を変更する

カレンダーの表示方法などの詳細を設定します。

1 **カレンダー画面で ▭ →「設定」**

2 **変更したい設定を選択する**

メモを使用する

1 ホーム画面で「アプリ」→「メモ」

2 文章を入力 →「保存」

作成したメモが一覧で表示されます。

- 作成したメモを編集するには一覧画面で編集したメモの をタップします。
- メモを削除するには一覧画面または編集画面で → をタップします。
- メモの背景色を変更するには、一覧画面、または編集画面で → をタップします。

メモのメニュー

一覧画面や作成／編集中の画面で をタップすると、以下の操作メニューが表示されます。

項目	説明
作成	メモを新規作成します。
削除	メモを削除します。
検索	メモを検索します。
送信	メモをBluetoothやEメール、Wi-Fiで送信します。
並べ替え	メモを日付または色で並べ替えます。

項目	説明
SNSログイン	SNSにログインします。
メモを同期	メモをGoogle Docsと同期するか、個別メモに転送します。
PIN認証	PINを使用して、コンテンツのロックと解除を行います。
SNSを更新※	SNSにログインして、SNSを更新します。

※作成／編集中の画面で表示されます。

ボイスレコーダーを使用する

音声を録音する

1 ホーム画面で「アプリ」→「ボイスレコーダー」

2 「録音」

録音が開始されます。

- 録音を一時停止するには「一時停止」、終了するには「停止」をタップします。
- 録音をキャンセルするには「キャンセル」→「はい」をタップします。
- 録音中に ⮌ をタップするとそれまでに録音した内容が保存され、ボイスレコーダーが終了します。

3 「停止」

- 録音が終了し、録音した内容が保存されます

音声を再生する

1 ホーム画面で「アプリ」→「ボイスレコーダー」→「リスト表示」

2 再生したいデータをタップする

再生が開始されます。

- 再生を一時停止するには「一時停止」、続けて再生するには「再生」、終了するには「停止」をタップします。

ボイスレコーダーのメニュー

再生画面や一覧画面で [メニュー] をタップすると、以下の操作メニューが表示されます。

項目		説明
共有		データをBluetooth機能やGmailなどで送信したり、他のアプリケーションでデータ共有したりできます。
削除		データを削除します。
名前を変更		ファイル名を変更します。
設定※	保存先	保存先を選択します。
	標準ファイル名	ファイル名を変更します。
	録音品質	録音の品質を設定します。
	メール添付用	メール添付用にするかどうかを設定します。

※ 一覧画面でのみ表示されます。

電卓を利用する

四則演算（＋、－、×、÷）やパーセント計算、関数計算などができます。

1　ホーム画面で「アプリ」→「電卓」

本端末を横向きにすると、関数計算用のキーボードが表示されます。

本端末の全データや設定をバックアップする

本端末に保存されているすべてのデータや設定をバックアップ／復元できます。

- オンラインストレージサービス（Box.netまたはDropbox）にバックアップするには、各サービスのアカウント登録が必要です。
- データ容量が2Gバイト以上の場合はバックアップできません。音楽や動画など、サイズの大きいデータを保存している場合はご注意ください。
- バックアップ／復元は、他の機能やアプリケーションを終了させてから行ってください。起動中の機能やアプリケーションは、タスクマネージャ（P.105）で確認／終了できます。
- オンラインストレージサービスにシステム設定情報をバックアップする場合、アクセスポイント設定はバックアップできません。

1 **ホーム画面で「アプリ」→「Backup」**

初めて起動したときは使用許諾契約書が表示されるので、内容をよく読み、「同意」をタップします。spritebackup画面が表示されます。

バックアップする

1. spritebackup画面で「バックアップ」→保存先をタップする →「新規作成」→ バックアップファイルの名前を入力 →「次へ」
   既存のバックアップファイルに上書きするには、ファイルをタップする →「変更」をタップします。
2. 項目にチェックを付ける →「次へ」
3. 「OK」

バックアップファイルを本端末に復元する

1. spritebackup画面で「復元」→ 保存先をタップする → バックアップファイルをタップする → 項目にチェックを付ける →「次へ」→「データの復元」
2. 「OK」

スケジュールを設定して自動的にバックアップする

1. spritebackup画面で「スケジュール」→保存先をタップする → バックアップタイミングを設定 →「次へ」→ 項目にチェックを付ける →「次へ」

Backupのメニュー

[メニューキー] をタップすると以下のメニューが表示されます。

項目		説明
設定	オンラインバックアップ	オンラインサービス使用時の設定をします。
	セキュリティ	暗号化に使用するパスワードを設定／変更できます。
	自動バックアップ	保持する最新バックアップデータの数を設定します。
ヘルプ		ヘルプを表示します。
製品情報		製品情報を表示します。

Social Hubを使用する

Social Hubとは、SMSやSNS（Social Network Service）を統合するメッセージングアプリケーションです。
Social HubからSMSの送信、SNSの情報更新ができます。

- ＳＮＳなどのアカウントを追加するには、「アカウントを設定する」（P.220）を行ってください。

1 ホーム画面で「アプリ」→「Social Hub」

2 確認・利用したいアカウントをタップする

アカウントを追加する

1 [メニュー]→「アカウント」→「アカウント追加」→アカウントを選択してログインする

ステータスを更新する

1 [メニュー]→「ステータスの更新」→ステータスを入力→SNSを選択→「更新」

Googleマップを利用する

Googleマップを利用して、現在地や別の場所を検索したり、目的地への道案内情報を取得したりできます。

- Googleマップを利用するには、データ接続可能な状態（3G／GPRS）にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。

位置情報を有効にする

位置情報を利用するアプリケーションを使用するには、あらかじめGPS機能をONにしておく必要があります。また、Wi-Fi／モバイルネットワークやモーションセンサーを利用して、より正確に位置情報を検出できるように設定できます。

1 **ホーム画面で［メニュー］→「設定」→「位置情報サービス」**

2 **検出する方法にチェックを付ける**

項目	説明
Googleの位置情報サービス	Wi-Fi／3Gネットワークで位置情報を特定できます。
GPS衛星	より精度の高い位置情報を検出できます。ただし本端末の電池消費量が大きくなります。

項目	説明
位置情報履歴	位置情報の履歴が表示されます。
センサー補助を使用	モーションセンサーを利用して、歩行時に位置情報の検出精度を高めることができます。
位置情報とGoogle検索	Googleに位置情報データの使用を許可するかどうかを設定します。

GPSの利用にあたって

- GPSシステムのご利用には十分ご注意ください。システムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- GPSは、米国国防総省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出る場合があります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

Googleマップを開く

1 **ホーム画面で「アプリ」→「マップ」**

初めて起動したときは「マップの新機能」画面が表示され、「OK」をタップするとマップが表示されます。

Google Latitudeで所在地を確認する

地図上で友人と位置を確認しあったり、メールを送ったりできます。電話をかけたり、友人の現在地への経路を検索したりすることもできます。

- 位置情報を共有するには、Latitudeに参加して位置情報を共有する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。

Latitudeに参加する／Latitudeを開く

1 **ホーム画面で「アプリ」→「Latitude」**

- 初めて起動したときは「マップの新機能」画面が表示され、「OK」をタップするとマップが表示されます。
- Googleマップで地図を表示中の場合は、[アイコン]→「Latitude」をタップします。

2 **「地図表示」**

お知らせ

- Latitudeの詳細については、Latitudeの画面で「地図表示」→ [アイコン] →「ヘルプ」をタップして、モバイルヘルプをご覧ください。

Googleマップナビを利用する

目的地までの運転経路を検索し、ナビゲーションを利用できます。

1 **ホーム画面で「アプリ」→「ナビ」**

- 初めて起動した場合は、ご利用の注意画面が表示されます。内容をよく読み､「同意する」をタップすると目的地の選択画面が表示されます。

2 **「目的地をキーボードで入力」→「目的地」欄に地名などを入力 → 候補地の一覧から目的地をタップする**

経路が表示されます。

- 目的地の入力画面で 🔍 をタップすると、「目的地」欄に入力した文字で検索します。
- 目的地を音声で入力したり、連絡先に設定されている住所で検索したりすることもできます。

Googleマップで検索する

現在地以外の場所を出発地に設定したり、電車や徒歩でのルート検索を行ったりするには、Googleマップの「経路」機能を利用します。

1 ホーム画面で「アプリ」→「マップ」

2 →「目的地：」欄に地名などを入力する

- をタップすると、到着地を「連絡先」／「地図上の場所」／「マイプレイス」から選択して指定できます。
- 出発地を変更する場合は、「現在地」欄をタップして地名などを入力するか、をタップして「現在地」／「連絡先」／「地図上の場所」／マイプレイスから選択して指定します。

3 移動方法（／／）のアイコンをタップする →「実行」

プレイスを利用する

Googleマップを利用して、現在地周辺のレストランやアトラクションなどを検索できます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「プレイス」

2 検索したいカテゴリ → 確認したい情報をタップする

検索したいカテゴリがない場合は、画面上部のキーワード入力欄に検索したいカテゴリや店名などを入力します。

カテゴリを追加する場合は →「検索を追加」→ カテゴリなどを入力 → をタップします。

YouTubeを利用する

YouTubeは無料のオンライン動画ストリーミングサービスです。動画を再生したり投稿したりすることができます。

動画を再生する

1 **ホーム画面で「アプリ」→「YouTube」**

初めて起動した場合は利用規約画面が表示されます。リンク先の利用規約を確認し、「同意する」をタップするとYouTubeのホーム画面が表示されます。

2 **再生したい動画をタップする**

動画が再生されます。
画面をタップすると一時停止／再生開始の切り替えができます。一時停止中は ▮▮ が表示されます。
画面をダブルタップまたは本端末を横画面にすると、再生画面を拡大できます。拡大時には以下のアイコンが表示されます。

- ：左右にドラッグして巻き戻し／早送りができます。
- HQ（グレー）／ HQ（白）：タップして高画質（HQ）再生のON ／ OFFを設定できます。

動画を投稿する

本端末から自分で撮影した動画を投稿できます。

- YouTubeに動画を投稿するには、Googleアカウントまたは YouTubeアカウントでYouTubeにログインする必要があります。

1 ホーム画面で「アプリ」→「YouTube」→「アカウント」タブ

- YouTubeにログインしていない場合、表示されたログイン画面でいずれかのアカウントをタップするか、「アカウントを追加」→ユーザー名とパスワードを入力→「ログイン」をタップしてください。

動画を撮影する場合

「ホーム」タブ画面で → 動画を撮影 →「保存」をタップし、操作3へ進みます。

2 → ギャラリーで投稿する動画をタップする

- アップロード用のネットワーク設定に関する画面が表示されたら、利用したいネットワークをタップしてください。

3 必要な項目を入力/設定 →「アップロード」

動画がアップロードされます。

ミニダイアリーを利用する

写真付きのダイアリー（日記）を作成できます。

1 **ホーム画面で「アプリ」→「ミニダイアリー」**

初めて起動した場合は、ネットワーク情報画面が表示されます。内容を確認し、「OK」をタップするとミニダイアリーの作成画面が表示されます。

2 **「新規作成」→「画像を追加」→ 写真を追加または撮影する**

3 **をタップしてマップから位置情報を指定する**

4 **「本文を入力」→ 文字を入力する →「完了」**

5 **必要に応じて、画面上部の天気アイコン／日付表示をタップして変更する**

位置情報が付加されている写真の場合、ダイアリーを保存すると「位置情報を追加」欄に位置情報と アイコンが自動的に入力されます。「位置情報を追加」欄をタップしてメモを手動で入力することもできます。

6 **「保存」**

作成したミニダイアリーが一覧表示されます。タップすると詳細を見ることができます。

お知らせ

- ミニダイアリーの作成時に今日の天気アイコンを自動で設定するには、ミニダイアリーの一覧画面で ▭ →「設定」→「自動更新」を選択します。
- ミニダイアリーの削除や写真の変更／削除をするには、ミニダイアリーの詳細画面で ▭ → 操作する項目をタップします。
- ミニダイアリーをソーシャルネットワーキングサービス（SNS）で公開するには、ミニダイアリーの詳細画面で ▭ →「公開」をタップして公開するサービスを選択します。

eBookJapanを利用する

オンラインの電子書籍販売サイト「eBookJapan」にアクセスして、書籍データを購入することができます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「電子書籍」

eBookJapanのユーザーガイドが表示されます。
最終ページの GO アイコンをタップするとブラウザが起動し、「eBookJapan」のサイトが表示されます。
eBookJapanについて詳しくは、ユーザーガイドまたはサイト内のサポートページをご覧ください。

MAGASTOREを利用する

オンラインの電子雑誌販売サイトMAGASTOREにアクセスして、雑誌データを購入することができます。

- MAGASTOREのご利用にはアカウントの登録が必要です。MAGASTOREについて詳しくは、以下のサイトでヘルプをご覧ください。

  http://www.magastore.jp

1 **ホーム画面で「アプリ」→「マガストア」**

2 **購入したい書籍を検索し、タップする**
以降、画面の指示に従って購入操作を行います。

マガストアのメニュー

をタップすると以下のメニューが表示されます。

項目	説明
My本棚	ダウンロード済みの書籍を一覧表示します。
前回誌面	前回読みかけの書籍を表示します。
しおり	閲覧中のページをしおりに登録します。
ホーム	MAGASTOREのトップ画面に戻ります。
設定	ログインまたはアカウントの新規登録ができます。

辞典を利用する

３か国語の辞書（日・英・韓）を利用して語句を検索することができます。
お買い上げ時は以下の辞書が搭載されています。

- 旺文社日-英辞典
- 旺文社英-日辞典
- NEW ACE韓-日辞典
- NEW ACE日-韓辞典

1 ホーム画面で「アプリ」→「辞典」

2 語句を検索してタップする

辞典のメニュー

□ をタップすると以下のメニューが表示されます。

項目	説明
辞書の変更	辞書の種類を切り替えます。
単語帳	登録した単語帳を表示します。
検索履歴	検索の履歴を表示します。
辞書の設定	マーカー色／文字サイズの設定や製品情報の確認ができます。
マーカー※1	語句にマーカーを付加します。
保存※1	語句を単語帳に登録します。
整列※2	語句の表示順を切り替えます。
削除※2	語句を単語帳から削除します。

※1　語句の詳細画面で表示されます。
※2　単語帳画面で表示されます。

オリコンミュージックストアを利用する

ニュースやオリコンランキングなどの情報を見ることができます。

1 **ホーム画面で「アプリ」→「オリコンミュージックストア」**

オリコンスタイルについて、詳細はアプリ内のヘルプをご覧ください。

BookLive!を利用する

オンラインの電子書籍販売サイト「BookLive!」にアクセスして書籍データを購入することができます。

- BookLive!で書籍を購入するには会員登録が必要です。

1 ホーム画面で「アプリ」→「BookLive! for GALAXY」

初めてご利用される際には、アプリケーションのダウンロードとインストールが必要です。

2 「ストア」→「会員登録」画面に従って会員登録を行う

3 「アカウントの設定」タップする

登録したアカウント情報を入力します。

4 「登録」

BookLive!について詳しくは、アプリケーションのヘルプをご覧ください。

Kies airを利用する

Kies airはWi-Fiを使ってパソコンと接続し、ブラウザで管理することができるモバイルアプリケーションです。

1 ホーム画面で「アプリ」→「Kies air」

2 「開始」をタップする

URLが表示されます。

3 他のデバイスからURLにアクセス

Kies airで表示されたURLを他のデバイスで入力してください。

4 「許可」をタップする

ブラウザアクセスした端末に本端末のデータが表示されます。

■ **Kies airは以下のインターネットブラウザに対応しています。他のブラウザでは正しく表示されない場合があります。**

- Internet Explorer 7 ／ 8
- Firefox 3.5 ／ 3.6
- Chrome 9 ／ 10
- Safari 4 ／ 5

設定メニュー

[メニューキー] →「設定」をタップすると以下のメニューが表示されます。

項目	説明
デバイス名称	他のデバイスに表示される名前を設定します。
アクセス要求	Kies airを使用中に、他のデバイスからの認証要求を許可するかどうかを設定します。
端末を公開	ネットワークで自分の本端末を公開するかどうかを設定します。
タイムアウト設定	バッテリーを節約するために自動的にウェブサーバーを終了するまでの時間を設定できます。
ロックするコンテンツ	公開したくないコンテンツをロックすることができます。
設定リセット	標準設定にリセットします。
バージョン	バージョンを確認できます。
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスに関する情報を確認できます。

フォトエディターを利用する

撮影した画像や、端末に保存されている画像を編集することができます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「フォトエディター」

フォトエディターが起動します。

2 「画像を選択」→ 編集する画像を選択

「画像撮影」をタップした場合、カメラアプリが起動し、静止画の撮影が行えます。
撮影後、「保存」をタップするとフォトエディターの編集画面に切り替わります。

3 編集を行う

4 [メニュー] →「保存」→ ファイル名を入力 →「OK」

ダウンロードを利用する

本端末でダウンロードしたデータを確認できます。

1 **ホーム画面で「アプリ」→「ダウンロード」**
「インターネットダウンロード」／「その他のダウンロード」のタブで、ダウンロードしたデータをインストールや削除できます。

タスクを利用する

タスクの登録、管理ができるアプリケーションです。

1 ホーム画面で「アプリ」→「タスク」

2 「タスクを作成」→ 名前、期日、タスク、優先度、通知、メモを入力および設定する→「保存」

作成したタスクが一覧で表示されます。

- 作成したタスクを編集するには編集したいタスクをタップします。
- タスク一覧画面で、タスクのチェックボックスにチェックを付けるとタスクの件名に取り消し線がつきます。

タスクのメニュー

▭ をタップすると以下のメニューが表示されます。

項目	説明
タスクを作成	タスクを新規作成します。
削除	タスクを削除します。
検索	タスクを検索します。
ソート	一覧表示の順番を変更します。
タスクを同期	同期の設定やアカウントを管理できます。

Polaris Officeを利用する

本端末でOffice文書を表示／編集したり、新規に作成したりできます。
ThinkFree Onlineのアカウントをお持ちの場合は、ドキュメントをオンライン上で管理できます。
対応している種類とバージョンは以下のとおりです。

- パスワード付きのファイルは利用できない場合があります。

種類	バージョン
Microsoft Word	Word 97-Word 2010
Microsoft Excel	Excel 97-Excel 2010
Microsoft PowerPoint	PowerPoint 97-PowerPoint 2010
PDF※	V1.0-V1.7

※ 閲覧のみ可能です。

1 ホーム画面で「アプリ」→「Polaris Office」

ドキュメントを新規作成する

1 「マイファイル」タブ画面で [アイコン] → 文書の種類を選択する

2 文書を入力する

3 [メニュー] →「保存」→ ファイル名を入力し、保存場所を選択する

4 「保存」

ドキュメントの編集画面が表示されます。

- [戻る] をタップして、「マイファイル」タブ画面に戻ることができます。

ドキュメントを表示／編集する

1 「マイファイル」タブ画面で表示／編集する文書をタップする

2 [メニュー] →「編集モード」

お知らせ

- 利用できる機能はドキュメントの種類や画面によって異なります。

トルカを利用する

トルカとは、ケータイに取り込むことができる電子カードです。店舗情報やクーポン券などとして、サイトから取得できます。取得したトルカは「トルカ」アプリに保存され、「トルカ」アプリを利用して表示、検索、更新ができます。
トルカの詳細については『ご利用ガイドブック（spモード編）』またはdメニューをご覧下さい。

1 ホーム画面で「アプリ」→「トルカ」
初めてご利用される際には、トルカアプリのダウンロードが必要です。

お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- ｉモード端末向けに提供されているトルカは、取得・表示・更新できない場合があります。
- IP（情報サービス提供者）の設定によっては、以下の機能がご利用になれない場合があります。更新／メールを利用しての送信／microSDカードへの移動、コピー／地図表示
- IPの設定によって、トルカ（詳細）からの地図表示ができるトルカでもトルカ一覧からの地図表示ができない場合があります。
- 重複チェックを「ON」に設定した場合、同じトルカを重複して取得することができません。同じトルカを重複して取得したい時は、「OFF」に設定してください。
- メールを利用してトルカを送信する際は、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。
- ご利用のメールアプリによっては、メールで受信したトルカを保存できない場合があります。
- ご利用のブラウザによっては、トルカを取得できない場合があります。
- トルカをmicroSDカードに移動、コピーする際は、トルカ（詳細）取得前の状態で移動、コピーされます。

卓上時計アプリを使用する

別売品の卓上ホルダＳＣ01に接続すると、本端末を卓上時計として使用できます。
アプリが起動すると、時計と現在地の天気予報が表示されます。

- 卓上時計アプリを終了するには ⊗ をタップします。
- ホーム画面で ▭ を押すと卓上時計アプリが表示されます。

卓上時計のメニュー

▭ →「設定」で以下の操作ができます。

項目		説明
設定	ステータスバーを非表示	ステータスバーの表示／非表示設定します。
	壁紙	壁紙を設定します。
	時間／カレンダー表示	項目名をタップすると、表示方法を設定します。チェックボックスのチェックを外すと、時間／カレンダーを非表示に設定できます。
	Accu Weather	項目名をタップすると自動更新の時間とON ／ OFF、単位の設定ができます。チェックボックスのチェックを外すと、AccuWeatherを非表示に設定できます。

項目		説明
設定	明るさ	画面の明るさを設定します。
	標準設定にリセット	全てのカスタム設定とショートカットを初期化します。
	ドック設定	オーディオ出力モードのON／OFFを設定します。

お知らせ

- ショートカットを追加する場合は［メニュー］→「編集」タップし、⊕をタップすると追加するアプリを選択できます。
- ショートカットを削除する場合は［メニュー］→「編集」タップし、削除するショートカットの⊖をタップするとショートカットを削除できます。
- ショートカットを表示しない場合は［メニュー］→「ショートカットを非表示」タップします。

ビデオマーケット

1 **ホーム画面で「アプリ」→「ビデオマーケット」**

ビデオマーケットのホームページが表示されます。

2 **「ビデオマーケットについて」→「会員登録はこちら」→「アプリダウンロード」→ 画面の指示に従ってビデオマーケット用のプレーヤーをダウンロードする**

ウィジェットを利用する

ホーム画面にウィジェットを表示できます。

ウィジェットを追加する

1 **ホーム画面で ⊟ →「追加」→「ウィジェット」**

ウィジェットの一覧が表示されます。

2 **追加するウィジェットをロングタッチしたままホーム画面にドロップする**

ホーム画面にウィジェットが表示されます。
ホーム画面には以下のウィジェットを追加できます。

アイコン	ウィジェット	説明
	AccuWeather.com	指定した都市の天気を表示します。
	Ap Mobile	ニュースを表示します。
	Buddies now	連絡先を表示します。
	Days	日記を表示します。
	Eメール	Eメールの受信トレイの一部を表示します。
	Gmail	Gmailを表示します。
	Google+の写真	Google+の写真を表示します。

アイコン	ウィジェット	説明
	Google+投稿	Google+投稿を表示します。
	Google検索	クイック検索を表示します。
	Latitude	友人の現在地を表示します。
	Playストア	おすすめのアプリを表示します。
	Social Hub	Social Hubのフィードを表示します。
	Sブックマーク	ブックマークを表示します。
	Webページ	ブックマークに登録されているページを表示できます。
	Yahoo! Finance	株価情報を表示します。
	YouTube	おすすめ動画を表示します。
	dメニューウィジェット	dメニューを表示します。
	iチャネルウィジェット	天気やニュースなど様々な情報を表示します。
	アプリケーションモニター	起動中のアプリ数を表示します。
	今月の予定	カレンダーに登録されている当月の予定を表示します。
	予定リスト	カレンダーに登録されている予定を表示します。
	今日の予定	カレンダーに登録されている当日の予定を表示します。

アイコン	ウィジェット	説明
	ソフトウェア更新	ソフトウェア更新画面を表示します。
	デジタル時計	デジタル時計を表示します。
	デジタル時計	デジタル時計を表示します。
	アナログデュアル時計	アナログ時計を表示します。
	デジタルデュアル時計	デジタル時計を表示します。
	ニュースと天気	ニュースや天気を表示します。
	ピクチャフレーム	写真を表示します。
	フォトフレーム	アルバムを表示します。
	ミニペーパー	付箋を表示します。
	交通状況	現在地から目的地までの交通状況や所要時間を表示します。 ※ 海外の一部の地域でご使用になれます。
	今日の予定	カレンダーに登録されている当日の予定を表示します。
	クラシック時計	アナログ時計を表示します。
	シンプル時計	アナログ時計を表示します。
	ファンキー時計	アナログ時計を表示します。

アイコン	ウィジェット	説明
	モダン時計	アナログ時計を表示します。
	発着信履歴	発着信履歴を表示します。
	省電力モード	Wi-Fi、Bluetooth、GPS、ディスプレイの明るさ、省電力モードなどの設定ボタンを表示します。
	連絡先	電話帳を表示します。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している本端末を電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用いただけるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

■ 対応エリアについて

本端末は3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。

■ 海外で本端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください

- 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
- ドコモの『国際サービスホームページ』
- 「ドコモ海外利用」アプリケーションのヘルプ

お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国、地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

ご利用できるサービス

（○：利用可能　×：利用不可）

主な通信サービス	3G	GSM／GPRS	GSM
電話	○	○	○
SMS	○	○	○
メール※1	○	○	×
ブラウザ※1	○	○	×
GPSの現在地確認※2	○	○	×

※1　ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミング設定をONにしてください。
（→ P.424）

※2　GPS測位（現在地確認）を行うとパケット通信料がかかります。接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

ご利用時の確認

出発前の確認

海外でご利用いただく際は、出発前に日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 料金について

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は、日本国内とは異なります。
- ご利用のアプリケーションによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリケーションの動作については、お客様ご自身でアプリケーション提供元にご確認ください。

事前設定

■ ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス･転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在先でのご利用について

海外に到着後、本端末の電源を入れると、自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■ 接続について

「ネットワークオペレーター」の設定で「利用可能なネットワーク」を「自動選択」に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。
「利用可能なネットワーク」を手動で定額サービスの対象事業者へ接続していただくと、海外でのパケット通信料が一日あたり一定額を上限としてご利用いただけます。なお、ご利用にはパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

■ ディスプレイの表示について

- ステータスバーには利用中のネットワークの種類が表示されます。

アイコン	ネットワークの種類
／	国際ローミング中（電波状態弱／強）
／	GPRS使用可能／通信中
／	3G（パケット）使用可能／通信中
／	HSDPA使用可能／通信中

- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。

■日付と時刻について

「日付と時刻」の「自動」に設定している場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻·時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは、接続している海外通信事業者によって異なります。
- 手動で設定する場合は、「自動」のチェックを外して「日付設定」「タイムゾーンを選択」「時刻設定」をそれぞれ行ってください（P.242）。

■お問い合わせについて

- 本端末やドコモUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- 「モバイルネットワーク」の「ネットワークモード」を「GSM／3G（自動モード）」に設定します（P.422）。
- 「モバイルネットワーク」の「ネットワークオペレーター」を「自動選択」に設定します（P.424）。

滞在先で電話をかける／受ける

滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

1 ホーム画面で「電話」→「キーパッド」タブ

2 ＋（「0」をロングタッチ）→ 国番号 → 地域番号（市外局番）→ 相手の電話番号を入力する

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

3

4 通話が終了したら「通話を終了」

滞在国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 ホーム画面で「電話」→「キーパッド」タブ

2 相手の電話番号を入力する

3

4 通話が終了したら「通話を終了」

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

- 滞在先にかかわらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じように「+」と「81」(日本の国番号)を先頭に付け、先頭の「0」を除いた電話番号を入力して電話をかけてください。

滞在先で電話を受ける

日本国内での操作と同様の操作で電話を受けることができます。

お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。
- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合でも、海外通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合があります。また、相手が利用しているネットワークによっては、相手の発信者番号とは異なる番号が通知される場合があります。
- 海外での利用時には、「着信拒否」が動作しない可能性があります（P.176）。

相手からの電話のかけかた

■ 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■ 日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際アクセス番号-81-90（または80）-XXXX-XXXX

海外のネットワーク接続に関する設定を行う

海外で本端末を使用する場合は、滞在先で接続できる通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。お買い上げ時は、接続できるネットワークを自動的に検出して切り替えるように設定されていますが、手動で設定を変更することもできます。

ネットワークモードを設定する

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「無線とネットワーク」→「その他...」→「モバイルネットワーク」→「ネットワークモード」

2 使用するネットワークモードをタップする

- GSM ／ 3G（自動モード）：3Gネットワークと GSM ／ GPRS ネットワークを自動で選択して使用します。
- GSM のみ：GSM ／ GPRS ネットワークのみを使用します。
- 3Gのみ：3Gネットワークのみを使用します。

接続できる通信事業者を確認して手動で設定する

1 **ホーム画面で ▭ →「設定」→「無線とネットワーク」→「その他...」→「モバイルネットワーク」→「ネットワークオペレーター」**

検索された通信事業者名のリストが表示されます。

- 「ネットワークを検索」をタップして、再検索することもできます。
- 「ネットワークモード」(P.422)の設定により、表示される通信事業者は異なります。

2 **接続する通信事業者名をタップする**

お知らせ

- 接続する通信事業者を手動で設定した場合、本端末がサービスエリア外に移動しても別の接続可能な通信事業者には自動的に接続されません。ただし、FOMAネットワークエリア内に移動した場合は、接続する通信事業者を手動で設定していても自動的にFOMAネットワークに接続されます。
- 接続する通信事業者を手動で設定した場合は、日本に帰国後、「自動選択」に設定することをおすすめします。

接続できる通信事業者を自動的に選択する

1 ホーム画面で ▭ →「設定」→「無線とネットワーク」→「その他...」→「モバイルネットワーク」→「ネットワークオペレーター」→「自動選択」

データローミングを設定する

1 ホーム画面で ▭ →「設定」→「無線とネットワーク」→「その他...」→「モバイルネットワーク」

2 「データローミング」をチェックする

3 「OK」

付録／索引

オプション・関連機器のご紹介

本端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- ジャケット型電池パック SC01
- HDMI変換ケーブル SC01
- 卓上ホルダ SC01
- 電池パック SC03
- リアカバー SC03
- FOMA 充電microUSB変換アダプタ SC01
- FOMA ACアダプタ 01 ／ 02[※1※2]
- FOMA DCアダプタ 01 ／ 02[※1※2]
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01[※1※2]
- FOMA 乾電池アダプタ 01[※1]
- 車内ホルダ 01
- キャリングケースL 01
- キャリングケース 02
- 車載ハンズフリーキット 01[※3]

- ワイヤレスイヤホンセット 02※3
- 骨伝導レシーバマイク 02※3
- FOMA 補助充電アダプタ 02※1

※1 本端末と接続するには、FOMA 充電microUSB変換アダプタ SC01が必要です。
※2 海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。
※3 本端末とBluetooth通信で接続できます。

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（P.448）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

症状	チェックする箇所
本端末の電源が入らない（本端末が使えない）	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。→ P.55 • 電池切れになっていませんか。→ P.59

■ 充電

症状	チェックする箇所
充電ができない	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。 → P.55 • アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。 • 付属のFOMA 充電microUSB変換アダプタ SC01 と本端末が正しくセットされていますか。 • ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのコネクタが本端末または卓上ホルダ（別売）にしっかりと接続されていますか。 → P.62 • 卓上ホルダを使用する場合、本端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。 • PC接続用USBケーブル（試供品）をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。 • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電できなくなる場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■ 端末操作

症状	チェックする箇所
操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、充電しながら通話などを長時間行った場合などには、本端末や電池パック、アダプタ（充電用変換アダプタ含む）が温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

症状	チェックする箇所
電源断・再起動が起きる	• 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
タッチスクリーンをタップしても動作しない	• 画面ロックが設定されていませんか。▭／▯を押して画面ロックを解除してください。→ P.90
タッチスクリーンをタップしたときの画面の反応が遅い	• 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。 • 保護シートが貼られていませんか。保護シートによって動作が認識されにくくなる場合があります。 • ディスプレイの表面に傷が付いたり、破損したりしている場合は、本書裏面の「故障お問い合わせ先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。
ドコモUIMカードが認識されない	• ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→ P.49

症状	チェックする箇所
時計がずれる	• 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 日付と時刻の自動が設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。
端末動作が不安定	• ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。

症状	チェックする箇所
端末動作が不安定	• セーフモードの起動方法 電源がOFFの状態から電源ボタンを押し、Samsungのロゴ画面が表示されている間、[≡]を1秒おきに連続してタップしてください。 ※ セーフモードが起動するとホーム画面の左下端に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、電源を一度OFFにし起動し直してください。 • 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 • お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 • セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。
本端末の動作が遅くなった／プログラムの動作が不安定になった／一部のプログラムを起動できない	• 本端末の端末内部メモリの使用状況を確認し、実行中のプログラムを終了するなどして、メモリの空き容量を確保してください。 → P.105

症状	チェックする箇所
データが正常に表示されない／タッチスクリーンを正しく操作できない	• 「工場出荷状態に初期化」（P.240）をお試しください。
画面を解除できない	• 画面ロックの解除にパターン／PIN／パスワードが設定されていませんか。 → P.235
本端末が応答しない、操作できなくなった	• （電源ボタン）を8～10秒間押してください。自動的に再起動します。再起動しても問題が解決しないときは「工場出荷状態に初期化」（P.240）をお試しください。

■ 通話

症状	チェックする箇所
電話発信ボタンをタップしても発信できない	• ドコモUIMカードが正しく本端末に取り付けられていますか。 → P.49 • 機内モードを設定していませんか。 → P.292
着信音が鳴らない	• マナーモードに設定していませんか。 → P.174 • 「電話着信音」を「消音」にしていませんか。 → P.173 • 「音量」の「着信音」の音量を0にしていませんか。 → P.172 • 「自動着信拒否モード」を「全ての着信」または「着信拒否番号」に設定していませんか。 → P.206 • 機内モードを設定していませんか。 → P.292 • 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていませんか。 → P.193、P.198

症状	チェックする箇所
通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	• 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモUIMカードを取り付け直してください。→P.55、P.49 • 電波の性質により、圏外ではない、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態（）でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • 指定着信拒否など着信制限を設定していませんか。→P.176 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。
ネットワークに接続できない	• 電波の弱い場所で使用していませんか。→P.66

■ 画面

症状	チェックする箇所
ディスプレイが暗い	• 画面の表示が消えるまでの時間を設定していませんか。→ P.213 • ディスプレイの明るさを調節していませんか。→ P.107 • 省電力モードを設定していませんか。 → P.212 • ecoモードまたはecoモード自動起動設定を設定していませんか。 • 「画面」の「省エネモード」にチェックマークが付いていませんか。チェックマークが付いている場合は周囲の明るさによって変わります。 • 電池残量が少なくなっていませんか。 → P.248

■ 音声

症状	チェックする箇所
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	• 受話音量を変更していませんか。 → P.160

■ カメラ

症状	チェックする箇所
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	・カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。 ・人物を撮影するときは、顔検出機能を設定してください。 ・手振れ補正をON にして撮影してください。
カメラを起動しようとするとエラーメッセージが表示される	・電池残量を確認してください。 → P.248 ・メモリの空き容量を確認してください。 ・本端末を再起動してください。

■ ワンセグ

症状	チェックする箇所
ワンセグの視聴ができない	・地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。 ・チャンネル設定をしていますか。

■ 海外利用

症状	チェックする箇所
海外で本端末が使えない	**■ アンテナマークが表示されている場合** ・ WORLD WINGのお申し込みをされていますか。 WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。 **■ 圏外が表示されている場合** ・ 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか。 利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』で確認してください。 ・ ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。 「ネットワークモード」を「GSM ／ 3G（自動モード）」に設定してください。（ → P.422） 「ネットワークオペレーター」を「自動選択」に設定してください。（ → P.424） ・ 本端末の電源をOFFにした後、再びONにすることで回復することがあります。

症状	チェックする箇所
海外でデータ通信ができない	• データローミング設定をONにしてください。（→ P.424）
海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった	• 利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／連絡先の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	• 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■ データ管理

症状	チェックする箇所
データ転送が行われない	• USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
microSDカードに保存したデータが表示されない	• microSDカードを取り付け直してください。 → P.52
画像が表示されない	• 未対応の画像データの場合は ⬜ が表示されます。

■ Bluetooth機能

症状	チェックする箇所
Bluetoothデバイスと接続ができない／サーチしても見つからない	• Bluetoothデバイス（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みのデバイスを削除後、再度登録する場合は、デバイスと本端末の双方で登録されているデバイスを削除してから登録してください。
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない。	• 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
XXXX（XXXX）が予期せず中止しました。※	本端末や機能にエラーが発生したときに表示されます。「強制終了」をタップしてから再度操作してください。	－
機内モードがONです。通話するには、機内モードをOFFにしてください。	ドコモUIMカードが正しく取り付けられていない、または機内モードを設定した状態で電話をかけようとしたときに表示されます。ドコモUIMカードが正しく取り付けられていることを確認するか、機内モードをオフにしてから再度操作してください。	P.49 P.292

※ XXXXには、エラーが発生したアプリケーションや機能の名称などが表示されます。

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※1 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

※2 本端末はケータイデータお預かりサービス（お申し込みが必要なサービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターにバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。
それでも調子がよくないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（ディスプレイ・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ヘッドホン接続端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後４年間を基本としております。
ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。

  次のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - ディスプレイ部やボタン部にシールなどを貼る
  - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど

  改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。

- 本端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。
  キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカー、受話口、カメラ、バイブレータ部分（バックボタン付近）
- 本端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の本端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新について

インターネット上のダウンロードサイトから本端末の修正用ファイルをダウンロードし、ソフトウェアの更新を行います。ソフトウェア更新には、本端末で直接ネットワークに接続して行う方法と、パソコンにインストールした「Samsung Kies」（P.335）を使って行う方法の2種類があります。

ソフトウェア更新についての注意事項

ソフトウェア更新は本端末に保存されているデータを残したまま行うことができますが、お客様の本端末の状態によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。万が一のトラブルに備え、本端末内のお客様情報やデータは、バックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし一部バックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

- ソフトウェア更新の前に以下の準備を行ってください。
  - 本端末で実行中のすべてのプログラムを終了する（P.105）
  - 本端末を充電（P.62）し、電池残量を十分な状態にする
- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗し、操作できなくなることがあります。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、更新ファイルのインストール）には時間がかかる場合があります。

- ソフトウェア更新ファイルのインストール中は、電話の発着信を含めすべての機能を利用できません。
- ソフトウェア更新に失敗するなどして一切の操作ができなくなった場合は、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

本端末だけで更新する

本端末でネットワークに接続して本端末のソフトウェアを更新できます。

1 **Googleアカウントの設定を行う**

2 **ホーム画面で ▤ →「設定」→「端末情報」→「ソフトウェア更新」→「更新」**

初めて利用する場合は、メールアドレスとパスワードを入力してSamsungアカウントの登録が必要です。

3 **以降、画面の指示に従って操作する**

アップデートするファイルが正常にダウンロードされた後、アップデートするように操作を行うと、端末が再起動され、アップデートが開始されます。アップデート中には電話などの機能を使用できません。

お知らせ

- ソフトウェアをダウンロードしたあと、インストール続行の確認画面で「キャンセル」をタップするとインストールの実行を一定時間延期できます。

  延期した場合でも、「アップデートを再開」をタップするとすぐにインストールを開始できます。

主な仕様

■ 本体

品名		SC-02C
サイズ		高さ約126mm× 幅約66mm× 厚さ約8.9mm （最厚部：約10.3mm）
質量		約120g （電池パック装着時）
メモリ		ROM 16GB RAM 1GB
連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約640時間 移動時（自動）：約430時間 移動時（3G固定）：約510時間
	GSM	静止時（自動）：約480時間
連続通話時間	FOMA／3G	約430分
	GSM	約450分
FOMA ACアダプタ（別売）での充電時間		約220分
FOMA DCアダプタ（別売）での充電時間		約220分

画面部分	種類	有機EL
	サイズ	約4.3 inch
	発色数	16,777,216（24bit）色
	ドット数	480×800ドット ワイドVGA
撮像素子	種類	外側：CMOS 内側：CMOS
	サイズ	外側：1／3.2 inch 内側：1／5.0 inch
カメラ有効画素数		外側：約810万画素 内側：約200万画素
記録画素数（最大時）		外側：約800万画素 内側：約190万画素
デジタルズーム		外側：最大約4.0倍（30段階）
音楽再生	Windows Media Audio（WMA）ファイル	連続再生時間約1269分（バックグラウンド再生対応）
	MP3ファイル	連続再生時間約1677分（バックグラウンド再生対応）

ワンセグ連続視聴時間		約270分 （ecoモードoff時） 約300分 （ecoモードon時）
無線LAN		IEEE802.11 a／b／g／n（2.4GHz／5GHz）準拠
Bluetooth機能	対応バージョン※1	Bluetooth標準規格 Ver. 3.0+EDR
	出力	Bluetooth標準規格 Power Class 1
	見通し通信距離※2	約10m以内

Bluetooth機能	対応プロファイル※3	Object Push Profile（OPP） Headset Profile（HSP） Hands-Free Profile（HFP） Advanced Audio Distribution Profile（A2DP） Audio／Video Remote Control Profile（AVRCP） Serial Port Profile（SPP） Phone Book Access Profile（PBAP） Human Interface Device Profile（HID）

※1　本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、BluetoothSIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※2　通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。
※3　Bluetooth通信の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での目安です。

  なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場所）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- インターネット接続を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やインターネット接続をしなくても電子メールを作成したり、アプリケーションを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、本端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。本端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

■ 電池パック

品名	電池パック SC03
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	1650mAh

ファイル形式

本端末で撮影した静止画と動画は以下のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	jpg
動画	MP4	mp4

■ 静止画の撮影枚数（目安）

撮影サイズ	SC-02C（本体）※	microSDカード（2GB）
640x480	最大 約120,000枚	最大 約17,000枚

※ お買い上げ時の保存可能枚数です。

■ 動画の撮影時間（目安）

撮影サイズ	SC-02C （本体）※	microSDカード （2GB）
640x480	最大 約 490分 （1件あたり最大 約60分）	最大 約85分 （1件あたり最大 約60分）

※ お買い上げ時の録画可能時間です。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種［SC-02C］の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.253W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します（※2）。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご覧ください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
SAMSUNGのホームページ
http://www.samsung.com/jp/support/sar/sarMain.do

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

FCC notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

■ Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.
This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF exposure information

Your handset is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.
The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.
The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.29 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.69 W/kg.

Body-worn operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID A3LSWDSC02C.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at http://www.ctia.org/.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.284 W/kg※. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide. In this case, the highest tested SAR value is 0.364 W/kg.
As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

※ The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Declaration of Conformity

We, **Samsung Electronics**
declare under our sole responsibility that the product

GSM WCDMA Wi-Fi Mobile Phone : SC-02C

to which this declaration relates, is in conformity with the following standards and/or other normative documents.

SAFETY	EN 60950-1 : 2006 +A11 : 2009
SAR	EN 50360 : 2001 / AC 2006 EN 62209-1 : 2006
EMC	EN 301 489-01 V1.8.1 (04-2008) EN 301 489-07 V1.3.1 (11-2005) EN 301 489-17 V2.1.1 (05-2009) EN 301 489-24 V1.5.1 (10-2010)
RADIO	EN 301 511 V9.0.2 (03-2003) EN 300 328 V1.7.1 (10-2006) EN 301 908-1 V4.2.1 (03-2010) EN 301 908-2 V4.2.1 (03-2010) EN 300 440-1 V1.5.1 (03-2009) EN 300 440-2 V1.3.1 (03-2009) EN 301 893 V1.5.1 (12-2008)

We hereby declare that [all essential radio test suites have been carried out and that] the above named product is in conformity to all the essential requirements of Directive 1999/5/EC.

The conformity assessment procedure referred to in Article 10 and detailed in Annex[Ⅳ] of Directive 1999/5/EC has been followed with the involvement of the following Notified Body(ies):

BABT, Forsyth House, Churchfield Road,

Walton-on-Thames, Surrey, KT12 2TD, UK※

Identification mark: 0168

The technical documentation kept at :

Samsung Electronics
QA Lab. CE0168

which will be made available upon request.
(Representative in the EU)

Samsung Electronics Euro QA Lab.
Blackbushe Business Park, Saxony Way,
Yateley, Hampshire, GU46 6GG, UK※

2011.05.19
(place and date of issue)

Joong-Hoon Choi/Lab Manager

(name and signature of authorised person)

※ It is not the address of Samsung Service Centre. For the address or the phone number of Samsung Service Centre, see the warranty card or contact the retailer where you purchased your product.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権について

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権について

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉチャネル」「ｉアプリ」「デコメール®」「トルカ」「メロディコール」「声の宅配便」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「mopera」「mopera U」「エリアメール」「spモード」「dメニュー」「パケ・ホーダイ」および「eトリセツ」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- BluetoothおよびBluetoothロゴは、Bluetooth SIG. Inc.の登録商標であり、ライセンスを受けて使用しています。
- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。

- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Gmail」、「Google Calendar」、「Google Maps」、「Google Talk」、「Google Latitude」、「Google+」、「Picasa」および「YouTube」は、Google Inc.の商標または登録商標です。

- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2011 All Rights Reserved.
- Microsoft®、Windows Media®、ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの、米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- DivX®、DivX Certified®、およびこれらの関連ロゴは、Rovi Corporation およびその子会社の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。

  DIVXビデオについて: DivX®は、Rovi Corporationの子会社であるDivX, LLC. が開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、DivXビデオの再生に対応した正規のDivX Certified®（DivX認証）デバイスです。詳細情報およびビデオファイルをDivX形式に変換するためのソフトウェアについては、divx.comをご覧ください。

  DIVXビデオオンデマンドについて:DivXビデオオンデマンド（VOD）コンテンツを再生するには、このDivX Certified®（DivX認証）デバイスを登録する必要があります。登録コードは、デバイスセットアップメニューのDivX VODセクションで確認できます。詳細情報と登録方法については、vod.divx.comをご覧ください。

プレミアムコンテンツを含む最高HD 720pのDivX®ビデオ再生対応のDivX Certified®（DivX認証）取得済み。1080pのDivX®ビデオも再生できる場合があります。

- ロヴィ、Rovi、G ガイド、G-GUIDE、G ガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびG ガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

- 「Twitter」はTwitter, Incの商標または登録商標です。
- 「Facebook」は、Facebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「mixi」は株式会社ミクシィの商標または登録商標です。
- MySpace、および関連ロゴはMySpace, Inc.の登録商標です。
- DLNA、DLNA CERTIFIEDは、Digital Living Network Allianceの商標です。

- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA. LLCにお問い合わせください。

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

spモードから dメニュー ⇒「お客様サポートへ」⇒「各種お申込・お手続き」

パソコンからMy docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種お申込・お手続き

※ spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。
※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID/パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID/パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は本書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ **使用禁止の場所にいる場合**
航空機内、病院内では、必ず本端末の電源を切ってください。

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ **満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合**
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ **運転中の場合**
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ **劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合**
静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ **レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。**

■ **街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。**

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ 公共モード（電源OFF）（P.200）
電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に通話を終了します。

■ バイブレーション（P.173）
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

■ マナーモード（P.174）
ボタン確認音・着信音など本端末から鳴る音を消します。

※ ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス（P.192）、転送でんわサービス（P.196）などのオプションサービスが利用できます。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※ 回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

海外での紛失、盗難、精算などについて〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号	-81-3-6832-6600*（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※ SC-02Cからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号	-8000120-0151*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※ 主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

● **紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。**

海外での故障について〈ネットワークオペレーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号	-81-3-6718-1414*（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※ SC-02Cからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号	-8005931-8600*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※ 主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

● **お客様が購入された本端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。**

総合お問い合わせ先〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合
(局番なしの) **151** (無料)
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9:00 ～ 午後8:00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
(局番なしの) **113** (無料)
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　Samsung Electronics Co.,Ltd.

'12.6（3.1版）